計			

ハ　其ノ他ノ財産

種別	金額又ハ見積價格	備考
貯金及預金		
貸金		
公債、債券、株券		
其ノ他		
計		

ニ　負債

種別	未返濟額	借入年月	返濟期間	負債ノ事由	備考
擔保借入					
無擔保借入					
計					

注意

一　財産及負債ハ家族ノ分ヲモ各々合算スヘシ

二　所有土地ニ付抵當權質權等ヲ設定シアルモノハ設定年月日、負債返濟期限、利率等ヲ備考欄ニ記載スヘシ所有建物ニ付亦同シ

三　貸金中回收ノ見込ナキモノハ計上スヘカラス

四　公債、債券、株券ハ其ノ内譯ヲ備考欄ニ記載スヘシ

五　其ノ他ノ財産調中「其ノ他」ニハ調書中計上ナキ一切ノ財産ノ見積價格ヲ合算計上シ尚其ノ内譯ノ主ナルモノヲ備考欄ニ記載スヘシ

六　負債調中「負債ノ事由」欄ニハ「家屋、土地購入ノ爲若ハ水火災ノ爲借入」等ノ如ク負債ヲ爲スニ至リタル直接ノ原因ヲ記載スヘシ尚擔保借入ハ擔保物件ヲ備考欄ニ記載スヘシ

三　家業等ノ狀況

地目別耕作反別、農業經營狀態、副業ノ有無及定住期間其ノ他規程第五條第一號ノ關係ヲ詳記スヘシ

第四號（第九條參照）

借入證書

一金　　圓也

右今回自作奬勵資金トシテ御貸付相成候ニ付テハ左記事項ヲ履行可仕候

一　新潟縣自作奬勵資金貸付規程ニ基キ發セラル、命令ハ堅ク遵守スルコト

二　昭和　年三月十五日迄ニ据置期間ノ利息ヲ納入告知書ニ指定セラレタル場所ニ納付スルコト

三　借入元金ト利息トヲ併セ計算シタル年賦償還額　圓　錢宛昭和　年以降二十四年間毎年度三月十五日迄ニ前項ノ場所ニ納付スルコト

年　月　日

知事事務取扱　市町村長　何　某　印

宛

第五號（第十四條參照）

自作奬勵資金貸付後ノ成績表

| 貸付 | | |

借受人ノ地積及經營ノ狀況ノ概況	備考

副業奬勵規程

大正十一年四月二十一日縣令第四十六號

第一條　副業ノ振興ヲ計ラムカ爲毎年度豫算ノ範圍內ニ於テ本規定ニ依リ補助金ヲ交付ス

第二條　本規程ニ依リ奬勵スヘキ組合ハ副業品ノ改良統一及其ノ生產品ノ共同販賣ヲナスモノヲ云フ

第三條　補助金ハ前條ノ組合ニ對シ奬勵ノ施設ヲ爲ス郡市以上ヲ區域トスル團體ニ之ヲ交付ス

第四條　補助金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ奬勵ニ關スル規程ヲ定メ知事ノ認可ヲ受ケタル後申請書ニ經費豫算、事業豫定書ヲ添ヘ毎年四月三十日限リ知事ニ提出スヘシ

第五條　補助金ノ交付ヲ受ケタル後前條ノ規程、經費、豫算ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ承認ヲ受クヘシ

第六條　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者ハ毎年七月末日限リ各組合別ニ事業費豫算ヲ調査シ知事ニ報告スヘシ

第七條　補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ第一號樣式ノ業務成績書及第二號樣式ノ經費清算書ヲ毎事業年度終了後二ヶ月以內ニ知事ニ報告スヘシ

第八條　本規程ニヨル補助金ハ他ニ之ヲ流用スルコトヲ得ス

第九條　補助金ノ交付ヲ受ケタル者ニシテ豫算書ニ定メタル補助金ノ交付ヲ當該年度內ニ終了シ得サルトキ若クハ第六條ニヨル組合ノ經費カ豫算額ヨリ甚シク減少シタルトキハ翌年度補助金交付ノ際之ニ相當スル金額ヲ控除スルコトアルヘシ

第十條　補助金ノ交付ヲ受ケタル者第五條第七條第八條ノ規程ニ違反シタルトキハ補助金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

附　則

本規程ハ大正十一年四月ヨリ施行ス

第四條ノ申請期日ハ大正十一年度ニ限リ五月末日迄トス

（第一號樣式）

昭和　年度業務成績書

組合名	所在 町村 大字	區域	組織	組合員數	業種	取扱 品名	數量	價格

備考

一、業種毎ニ又品種毎ニ欄ヲ改メ計ヲ附シ一事業年度內ノ事實ヲ記載スヘシ

二、本表ノ外各組合毎ニ實行シタル事業ノ種類ヲ揭記スヘシ

（第二號樣式）

經費精算書

組合名	業種	支出經費	補助額	備考

備考

一、業種欄ハ事業種別毎ニ分別記載スヘシ

二、備考欄ニハ指定又ハ協定事業並ニ補助金査定理由ヲ記載スヘシ

副業組合帳簿及書類整理

副業組合ノ事務ハ凡ソ左ノ通處理スルコト

第一　副業組合ハ左ノ書類綴ヲ備付之ヲ整理スルコト

一、規約及諸規則綴

二、總會及議決算關係書類綴

三、例規綴

四、往復雜書類綴

第二　副業組合ハ左ノ帳簿ヲ備付之ヲ整理スルコト

一、役員及組合員名簿

二、金錢出納簿

三、販賣簿

四、販賣品受拂簿

五、販賣品明細整理簿

第三　帳簿及文書綴ハ連年襲用スルモ差支ナシ

此場合ニハ口座ヲ設ケ年次ヲ明瞭ナラシムルコト

第四　第一、第二ニ示ス文書綴又ハ帳簿外隨意其他ノ文書綴又ハ帳簿ヲ備付クルコトヲ得

第五　原料ノ購買ヲナスモノニアリテハ原料購買簿、購買品受拂簿、購買品明細整理簿ヲ備付クルコト

前項帳簿ノ樣式ハ販賣品ニ關スル帳簿ノ樣式ニ準スルコト

第六　組合員出資ヲナスモノニアリテハ出資及持分ニ關スル帳簿ヲ備付ケ之ヲ整理スルコト

前項帳簿ノ樣式ハ適宜之ヲ定ムルコト

（第一號樣式）

役職員及組合員名簿

一、役職員

就任年月日	退任年月日	退任事由	役職名	氏名

二、組合員

加入年月日	脫退年月日	脫退事由	住所	氏名

備考

一、本簿ハ事項發生ノ都度記入スルコト

（第二號樣式）

金錢出納簿

年月日	摘要	收入高	支出高	現在高
		円	円	円

備考

一、金錢ノ出納アル毎ニ本帳ニ記入スルコト

二、摘要欄ニハ收入支出ノ事由要領ヲ記載スルコト

三、日々收入支出高ノ計ヲ附シ次月末以降ハ合計累計ヲ附スルコト

（第三號樣式）

販賣簿

年月日	品名	檢查等級	數量	賣却契約	賣却契約者
				價格	
				引渡期日	
				內金 受領高	
				殘金 高	
				受領月日	

備考

一、本簿ハ賣却契約毎ニ記入スルコト

二、品名及檢查等級ノ異ナル毎ニ欄ヲ改メ記入スルコト

三、月末ニ計ヲ附シ次月以後累計ヲ附スルコト

（第四號樣式）

販賣品受拂簿

年月日	受入 人員	受入 檢查等級	受入 數量	拂出 賣却者	拂出 數量	殘數量	備考

備考

一、本簿ハ受入又ハ拂出ノ都度記入スルコト

二、人員欄ニハ販賣品明細整理簿ニヨリ何某外何名ト記入スルコト

三、檢查等級ノ異ナル毎ニ欄ヲ改メ殘數量モ各等級ニ其ノ數量ヲ記入スルコト

四、本簿ハ取扱品毎ニ口座ヲ設ケ整理スルコト

五、返附盜害、其他ノ被害ニヨリ數量ヲ減シタルトキハ拂出欄ニ其ノ數量ヲ記載シ備考欄ニ理由ヲ記入スルコト

六、月末ニ於テ各等級毎ニ計ヲ附シ次月以後累計ヲ附スルコト

（第五號樣式）

販賣品明細整理簿

年月日	品名	檢查等級	數量	組合員名	代金	即時支拂金	殘金	支拂月日
					円	円	円	

備考
一、本簿ハ組合員ヨリ販賣品ノ委託又ハ買收ヲナシタル都度記入スルコト
二、檢査等級ノ異ナル毎ニ欄ヲ改ムルコト
三、必要アル場合ハ備考欄ヲ設ケ必要事項ノ記入ヲナスコト
四、日計ヲ附シ月末ニ計ヲ附シ次月以後累計ヲ附スルコト

農用器機奬勵規程

大正十一年四月十八日縣令第四十四號
大正十四年四月十七日縣令第十二號改正

第一條　優良ナル農用器具機械ノ利用奬勵ノ爲本規程ニ依リ毎年度豫算範圍内ニ於テ奬勵金ヲ交付ス
第二條　奬勵金ハ器機ヲ購入シ使用ヲ爲ス左ノ團體ニ之ヲ交付スル但シ耕具ニ限リ本條ノ團體以外ノ者ニシテ共同購入ヲ爲ス者ニモ交付スルコトヲ得
一、町　村
二、産業組合又ハ市町村農會
三、知事ノ認可ヲ得テ設置シタル農事改良ヲ目的トスル團体
第三條　奬勵金ヲ交付スヘキモノハ知事ノ承認ヲ經タル左ノ各種トス
一、原動機（電動機、石油發動機、動力水車）
二、動力用調製機（米麥脫穀機、脫籾機）
三、其他優良適當ナリト認メタル農用器機
第四條　奬勵金ハ器機購入價格ノ三分ノ一以内トス
第五條　奬勵金ヲ受ケムトスル者ハ第一號樣式ニ依リ其ノ年度二月末日迄ニ申請書ヲ知事ニ差出スヘシ

第六條　奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者ハ器機購入後直ニ第二號樣式ニヨリ支出精算書ヲ添付シ奬勵金ノ請求書ヲ知事ニ差出スヘシ
第七條　奬勵金ヲ受ケタル者ハ奬勵金交付ヲ受ケタル翌年ヨリ三年間毎年五月末日限リ前年度ニ於ケル器機使用ノ成績ヲ第三號樣式ニ依リ知事ニ報告スヘシ但シ耕具ニ付テハ此ノ限リニ在ラス
第八條　奬勵金ヲ受ケタル器機ハ滿五年ヲ經ルニアラサレハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス但シ知事ノ承認ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第九條　知事ハ奬勵金ヲ受ケタル者ノ器機使用ノ狀況ヲ隨時臨檢セシメ又ハ報告ヲ徵スルコトアルヘシ
第十條　本規程ニ定メタルモノノ外知事ニ於テ必要アリト認メタル事項ハ隨時命令スルコトアルヘシ
第十一條　奬勵金ヲ受クル者左ニ該當スルトキハ奬勵金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ交付シタル奬勵金ノ一部又ハ全部ヲ返還セシムルコトアルヘシ
一、本規程又ハ本規定ニ基キテ發シタル命令ニ違背シタルトキ
第十二條　本令ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ所轄郡市町村長ヲ經由スヘシ

附　則

本令ハ公布ノ月ヨリ之ヲ施行ス

（第一號樣式）

農用器機奬勵金交付申請書

新潟縣令第何號ニ依リ別紙計畫書ノ通リ農用器機購入使用致度候條奬勵金御交付相成度此段及申請候也

昭和　年　月　日

申請代表者　氏　　名　㊞

新潟縣知事宛

（別紙）

事業計畫書

一、設置團體名及代表者氏名

二、團體ノ人員數
三、團體米麥栽培地名及其面積（米麥ノ反別ハ各別ニ記スルコト）
四、器機設置ノ場所及作業場並ニ附屬建物ノ坪數
五、器機使用ノ期間
六、器機ノ種類名稱製造所名價格馬力數但シ耕具ハ馬力數ノ記載ヲ要セス
七、器機据付ニ要スル經費見込額
八、器機使用ニ要スル一ケ年間消耗品費額
九、器機使用ノ方法（使用規程又ハ規約其他取扱ニ關スルモノ）
十、器機設置場ノ設備費
十一、其他器機使用ニ至ルマテノ經費總額見積
十二、耕具ノ共同購入ニ在リテハ前各號中第六項以外ノ事項ハ適宜記載スルコト

（第二號樣式）

農用器機奬勵金請求書

一金　　圓也

昭和何年何月何日付新潟縣指令第何號ヲ以テ農用器機奬勵ノ儀御指令相成居候處今般器機全部購入ヲ了シ候ニ付奬勵金御交付相成度別紙支出精算書相添請求候也

年　月　日

何々團體代表者　何　ノ　誰　㊞

新潟縣知事宛

支出精算書

一金　何圓　何製作所製電動機（石油發動機）何馬力　壹臺
一金　何圓　何製脫穀機　壹臺
一金　何圓　同　壹臺

一金　何圓　電氣引込線其他取付費
一金　何圓　何　々
計金　何圓也

（第三號樣式）

農用器機使用報告書

新潟縣令第何號農用器機奬勵規程ニ據リ本組合（又ハ町村市町村農會）ニ於テ設置シタル器機使用成績左ノ通ニ候條同奬勵規程第七條ニヨリ此段及報告候也

年　月　日

團體名
團體代表者　氏　名　㊞

新潟縣知事宛

一、各作業機別作業數量
二、電力又ハ石油代金
三、其他ノ消耗品代金
四、器機修繕ニ要セシ金額
五、器機成績ニツキ各別ニ其良否ヲ詳細ニ記ス
六、器機使用上ノ事故
七、何　々

穀物火力乾燥奬勵規程

昭和四年三月十二日縣令第十一號

第一條　穀物火力乾燥奬勵ノ爲本規程ニ依リ每年度豫算ノ範圍內ニ於テ奬勵金ヲ交付ス

第二條　奬勵金ハ動力機ヲ以テ穀物火力乾燥機ヲ設置シ共同利用ヲ爲ス左ノ團體ニ之ヲ交付ス

一、産業組合
二、市町村農會
三、知事ノ認可ヲ得テ設置シタル農事改良ヲ目的トスル組合

第三條　奬勵金ノ交付額ハ左ノ經費ニ對スル三割以内トス

一、穀物火力乾燥機（運搬、据付竝基礎工事費ヲ含ム）
二、原動機（電動機、石油發動機）
三、傳導裝置

四、乾燥機設置ニ要スル建物（設置ニ要スル面積ニ相當スル部分ニ限ル）

第四條　奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第一號樣式ニ依リ毎年六月末日迄ニ申請書ヲ知事ニ差出スヘシ
但シ團體設立許可ヲ要スルモノハ第二號樣式ニ依ル認可申請書ヲ同時ニ差出スヘシ

第五條　奬勵金ハ同一事項ニ付國庫又ハ縣費ヨリ奬勵金若ハ之ニ準スヘキモノノ交付ヲ受ケタル部分ニ對シテハ之ヲ交付セス

第六條　奬勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者ハ設備完成後直ニ第三號樣式ニ依リ支出精算書ヲ添附シ奬勵金ノ請求書ヲ知事ニ差出スヘシ

第七條　奬勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一、穀物火力乾燥機ノ利用又ハ管理ニ付指示シタルトキハ之ニ從フヘシ
二、奬勵金交付ノ翌年ヨリ三箇年間毎年五月末日迄ニ第四號樣式ニ依リ前年ニ於ケル利用成績及收支決算ヲ知事ニ報告スヘシ
三、奬勵金ノ交付ヲ受ケテ設置シタル穀物火力乾燥ノ裝置ハ設置後五箇年間之ヲ廢棄シ用途ヲ變更シ又ハ他ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ知事ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス
四、奬勵金ノ交付ヲ受ケテ設置シタル穀物火力乾燥裝置ノ滅失シタルトキ又ハ一箇年以上ニ亘リ其ノ利用ヲ休止シ又ハ休止セムトスルトキハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シ知事ニ屆出ツヘシ

第八條　知事ハ奬勵金ノ交付ヲ受ケタル者ノ機械利用ノ狀況ヲ隨時檢査セシメ又ハ書類ノ報告ヲ徵スルコトアルヘシ

第九條　奬勵金ヲ受ケタル者ニシテ左ニ該當スルトキハ奬勵金交付ノ指令ヲ取消シ若ハ變更シ又ハ既ニ交付シタル奬勵金ノ一部若ハ全部ヲ返還セシムルコトアルヘシ

一、經費支出額カ奬勵金交付申請書類ニ記載シタル支出豫算額ニ比シ減シタルトキ
二、事業施行ノ方法適當ナラサルトキ
三、本令又ハ本令ニ基キ發シタル命令ニ違反シタルトキ

第十條　本令ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ所轄支廳長及市町村長ヲ經由スヘシ

（第一號樣式）

穀物火力乾燥機設置奬勵金交付申請書

今般別紙計畫ノ通穀物火力乾燥機ヲ設置使用致度候條奬勵金交付相成度此段申請候也

年　月　日

何郡市　何町村　大字　何
何團體代表者　氏　名　㊞

新潟縣知事宛

（別紙）

事業計畫書

一、設置團體名及事務所ノ所在地
二、團體ノ事業施行ニ關スル規程類
三、團體員數及利用見込員數
四、團體員田畑別耕作面積
五、穀物火力乾燥機設置ノ場所竝建物構造（平屋建、二階建、瓦葺ノ別）及坪數
六、穀物火力乾燥機ノ設置ニ要スル經費豫算（收入支出各別ニ其ノ內譯ヲ詳記シ運搬費ニ付テハ發送地

據付基礎工事ヲ爲ス場合ハ其ノ坪數及一坪當ノ工事費、建物費ニ付テハ其ノ坪數及一坪當ノ費用ヲ附記スルコト）

七、穀物火力乾燥機ノ型式及乾燥塔又ハ乾燥室一箇ノ容量及箇數

八、穀物火力乾燥機ヲ利用シテ一晝夜間及一箇年間ニ乾燥セムトスル主ナル穀物ノ種類別見込數量

九、穀物火力乾燥裝置ニ關連シテ共同利用ニ供スル爲農用器具機械ヲ設置スルトキハ其ノ種類、名稱竝乾燥裝置トノ關係配置ヲ示ス平面圖

十、穀物火力乾燥機ノ共同利用方法竝一箇年間ノ收支豫算

十一、穀物火力乾燥機ノ運轉ニ從事スル技術者ノ員數

（第二號樣式）

農業共同團體設立認可申請書

今般別紙規約（規程）ニ依リ何團體（組合）設立致度候條御認可相成度團體員名簿相添ヘ此段申請候也

年　月　日

何郡市　何町村　大字　何

何團體代表者　何　某　㊞

新潟縣知事宛

（參考）添附書類中團體名簿ニハ各自調印ノコト

（第三號樣式）

穀物火力乾燥機設置奬勵金請求書

一金　圓也

年　月　日附新潟縣指令農第　號ヲ以テ奬勵金交付指令相成候當團體（組合）穀物火力乾燥裝置ノ今般完了候ニ付奬勵金御下付相成度經費決算書相添ヘ此段及請求候也

年　月　日

何郡市　何町村　大字　何

何團體代表者　何　某　㊞

新潟縣知事宛

（第四號樣式）

經費決算書

（奬勵金申請書添附ノ經費豫算ノ決算）

昭和　年穀物火力乾燥事業成績及收支決算報告

昭和　年奬勵金ノ交付ヲ得テ設置候當團體（組合）穀物火力乾燥機ノ利用成績竝收支決算別紙ノ通此段及報告候也

年　月　日

何郡市　何町村　大字　何

何團體代表者　何　某　㊞

新潟縣知事宛

（別紙）

一、利用成績

（一）設備ヲ利用シテ一箇年間ニ乾燥セル穀物ノ種類別數量及月別數量竝利用總日數、利用者員數

（二）設備利用ニ依リ得タル經濟上ノ利益概要

（三）作業中ニ於ケル設備ノ運轉狀況（若シ故障ヲ生シタルコトアル場合ハ其ノ箇所竝其ノ狀況）

（四）乾燥裝置ト連關シテ設備セル農用器具機械ノ利用ニ關シ從來ノ經驗ニ徵シ共同經營改善上特ニ注意スヘキ事項アラハ其ノ事項竝改善方法

（五）設備ノ利用ニ關シ問題ヲ生シタルコトアラハ其ノ顚末

（六）其ノ他事業施行ノ狀況及其ノ成績ニ付參考ト爲ルヘキ事項

二、經費決算

新潟縣自作奬勵資金貸付規程

昭和二年十二月十九日縣令第百九號

第一條　自作農ノ創設又ハ維持ヲ圖ラムカ爲左ノ事業ヲ行フ市町村ニ對シ本規程ニ依リ毎年度豫算ノ範圍內ニ於テ之カ資金ノ貸付ヲ爲ス

一、自作田畑ト爲スヘキ土地ノ購入(創設)資金ノ貸付

二、自作田畑トシテ土地ヲ購入シタルニ因リ生シタル其ノ土地ノ抵當債務ノ借替(維持)資金ノ貸付

第二條　前條ノ資金ハ第五條ニ依リ轉貸ヲ行フノ外他ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第三條　資金ノ貸付ヲ受ケムトスル市町村ハ樣式第一號ニ依ル申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ前年度三月二十日迄ニ知事ニ提出スヘシ

一、左ノ事項ヲ記載シタル事業計畫書

イ、計畫ノ事由(自作及小作ノ現狀竝其ノ變遷、土地分配、小作爭議、永小作ノ狀況等ヲモ記入ノコト)

ロ、計畫ノ大要(貸付方法、貸付利率ヲモ記入スルコト)

ハ、借受人ニ對スル指導監督方法

ニ、樣式第二號ニ依ル貸付豫定調書

二、事業ニ關スル收支豫算書

三、貸付ニ關スル規程

四、起債決議書及起債許可書ノ謄本但シ許可申請中ノモノニ在リテハ其ノ申請年月日及同文書番號ヲ附記スヘシ

第四條　前條ノ申請ヲ爲シタル市町村、資金ノ貸付決定通知ヲ受クル前、前條各號ノ事項ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク之ヲ知事ニ屆出ツヘシ

前項ノ變更ハ知事ノ認可ヲ受クヘシ但シ貸付資金ノ減當額カ借入申請額ニ充タサルカ爲已ムヲ得サル程度ノ事業ノ縮少ニ因ルモノナルトキハ之ヲ知事ニ屆出ツヘシ

第五條　貸付ヲ受ケタル資金ノ轉貸ハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス

一、借受人ハ其ノ市町村ニ於テ自己ノ所有スル家屋ニ居住シ現ニ耕作ニ從事シ着實勤勉且信用アリ將來永ク自作田畑ノ經營ヲ持續スル見込確實ナル者ニシテ本資金ノ貸付ヲ受クルニ非サレハ自作田畑ヲ購入シ又ハ維持シ得サル者ナルコト

二、借受人ノ購入セムトスル土地カ小作地ナル場合ニ於テハ其ノ土地ノ小作人ナルコト但シ購入ニ付其ノ土地ノ小作人ノ同意ヲ得タルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス

三、購入セムトスル土地ノ購入價格カ借受人自作田畑トシテ其ノ土地ノ經營ヲ持續シ得ル爲附錄第一號ニ定ムル算式ニ依ル標準價格及當該地方ノ土地ノ普通價格ヲ超エサルモノナルコト

四、永小作權等ノ賣買ノ慣行アル地方ニ於テハ其ノ土地ノ權利ノ購入價格ヲ加算シタルモノカ前號ノ標準價格及普通價格ヲ超エサルモノナルコト

五、維持セムトスル土地ノ抵當債務額ハ第二號ノ標準價格及普通價格ヲ超エサルモノナルコト

六、購入シ又ハ維持セムトスル土地ハ其ノ上ニ自作ノ障害ト爲ルヘキ權利存在セサルモノナルコト

七、購入シ又ハ維持セムトスル土地ノ購入價額若ハ土地抵當債務額ハ一世帶ニ付四千圓ヲ超エサルモノナルコト但シ現ニ田畑ヲ所有スル者ニ對スル貸付ニ在リテハ其ノ田畑(維持セムトスル田畑ヲ除ク)ノ價額ト購入シ又ハ維持セムトスル土地ノ價額トノ合計額四千圓ヲ超エサルセノナルコトヲ要ス

八、貸付金額ハ四千圓以內ニシ且土地ノ購入價額若ハ土地抵當債務額ノ全額タルコト但シ全額未滿ノ貸付ヲ受ケムトスル者ニ對スル貸付金額ハ其ノ要求額トス

九、貸付利率ハ年三分五厘以下据置期間ハ一年以內トシ償還期間ハ二十四年トスルコト

十、貸付ハ年賦償還ノ方法ニ依リ元金ト利息トヲ併セ計算シ每年度同一ノ金額ヲ償還セシムルコト

十一、借受人前號ニ依ル償還金額ノ外未償還金額ノ一部ヲ償還セムトスルトキハ之ヲ認ムルコト

十二、購入シ又ハ維持シタル土地ノ收穫高不可抗力ニ因リ著シク減少シ又ハ皆無トナリタルトキハ借受人ノ事情ニ應シ爾後ノ償還年金額ヲ增加セシメスシテ償還方法ヲ適當ニ變更スルコト

十三、購入シ又ハ維持シタル土地ノ全部ノ上ニ貸付金ノ擔保トシテ第一抵當權ヲ設定セシメ之カ登記ヲ爲スコト

十四、借受人ハ償還ヲ了リタルトキト雖第九號ノ償還期間內及第十二號ニ依リ變更セラレタル償還期間內ハ市町村ノ承認ヲ得ルニ非サレハ自作ヲ爲サス又ハ第十三號ノ抵當權ヲ除クノ外其ノ土地ノ上ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ得サルモノトセルコト

十五、借受人ハ前號ノ期間內其ノ土地ヲ讓渡スルコトヲ得サルモノトスルコト但シ死亡其ノ他止ムヲ得サル事由ニ依リ當該世帶ニ耕作スヘキ者皆無ニ歸シタル場合其ノ土地ヲ市町村ニ又ハ市町村ノ承認ヲ經テ第三者ニ讓渡ス場合ニ於テハ其ノ讓受人ハ第一號ノ資格ヲ有シ且田畑ヲ所有セス又ハ第七號但書ニ該當スル者ニシテ借受人ノ債務ヲ引受クルモノナルコト此ノ場合ニ於ケル讓渡價額ハ附錄第二號ニ定ムル算式ニ依ル價額ヲ超エサルモノナルコト

十六、前號ノ規程ニ依リ市町村ヲ經テ土地ヲ第三者ニ讓渡シタルトキハ讓渡ノ際借受人ヲシテ未償還金額ニ前號ノ讓渡價額ヲ加算シタル金額(其ノ金額時價ヲ超ユル場合ハ時價)ニ依リ、讓受人ノ支拂フヘキ金額ハ時價ニ依ルコトト

十七、前號ノ讓受人ナキ場合ニ於テ其ノ他ノ者ニ土地ヲ讓渡シ又ハ不正手段ニ因リ資金ノ貸付ヲ受ケタルトキハ貸付金額ヲ返還セシムルコト此ノ場合ニ於ケル讓渡人ノ受クル金額ハ未償還金額ニ對スル年利四分八厘ト貸付利率トノ差率ニ依リテ計算シタル補給利息竝之ニ對スル複利計算ニ依ル法定利息ヲ徵收シ且貸付金ノ未償還金額ヲ一時ニ返還セシメ又ハ左ノ金額ヲ以テ土地ヲ先買シ得ルモノトスルコト

イ、購入價額ノ全額ニ相當スル金額ノ貸付ヲ爲シタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額

ロ、購入價額ノ一部ニ相當スル金額ノ貸付ヲ爲シタル場合又ハ維持ノ爲貸付ヲ爲シタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額ニ貸付當時ニ於ケル其ノ土地ノ價額(購入ノ場合ニ在リテハ購入價額)ト貸付金額トノ差額ヲ加算シタル金額

第六條　前條第十八號ノ違約金ハ市町村ノ收入トシ補給利息竝之ニ對スル法定利息ハ縣ヘ納付スヘシ

第七條　資金ノ配當、土地價格及借受人ノ適否其ノ他重要ナル事項ヲ評定スル爲縣ニ審議機關ヲ設ク

前項ノ機關ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第八條　資金ノ貸付決定通知ヲ受ケタル市町村、第五條ニ依リ轉貸セムトスルトキハ指定期日迄ニ樣式第三號ニ依ル申請書ヲ提出シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第九條　前條ノ認可ヲ受ケタル市町村ハ十日以內ニ樣式第四號ニ依ル借入證書ヲ知事ニ提出シ資金ノ交付ヲ受クヘシ

第十條　資金ノ交付ヲ受ケタル市町村ハ十日以內ニ其ノ貸付ヲ了スヘシ但シ知事ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　前條ノ貸付ヲ了シタル市町村ハ遲滯ナク借受人別貸付月日ヲ知事ニ報告スヘシ

第十二條　市町村ニ對スル貸付金ノ利率及償還方法ハ左記ニ依ル

一、利　率　年三分五厘但シ貸付年度ニ在リテハ貸付年度ノ末日迄

二、据置期間　据置期間ヲ除キ二十四年

三、償還期間　元金ト利息ト併セ計算シタル毎年度同一ノ金額

四、償還金額　毎年度三月十五日

五、償還期日　特別ノ事情アル場合ニ限リ償還期間ヲ短縮シ繰上償還ヲ認ムルコトアルヘシ

第十三條　資金ノ貸付ヲ受ケタル市町村、償還ヲ怠リタルトキハ其ノ金額百圓ニ付一日參錢ノ割合ヲ以テ延滯金ヲ徵收ス

第十四條　資金ノ貸付ヲ受ケタル市町村ハ每年度六月十五日迄ニ前年度事業ニ關スル收支決算書及樣式第五號ニ依ル成績表ヲ知事ニ提出スヘシ

第十五條　資金ノ貸付ヲ受ケタル市町村ハ左ノ場合ニ於テハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

一、第五條第十二號ニ依リ償還方法ヲ變更セムトスルトキ

二、第九條第十四號及第十五號但書ノ承認ヲ爲サムトスルトキ

第十六條　資金ノ貸付ヲ受ケタル市町村、本規程ニ違反シ又ハ事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキハ之カ變更ヲ命シ又ハ資金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

第十七條　資金ノ貸付ヲ受ケタル市町村ハ臺帳ヲ備付ケ左ノ事項ヲ記載シ整理スヘシ

一、借受人住所氏名

二、貸付年月日、貸付金額及利率

三、償還期限、年賦償還額及毎年度償還金受入年月日

四、償還方法ヲ變更シタルトキハ其ノ事項

五、購入シ又ハ維持シタル土地ノ地目別段別

六、其ノ他必要ト認ムル事項

第十八條　本規程、第一條、事業ヲ行フ市町村、其ノ事業ニ附隨シテ第五條ノ資格ヲ有スル者ノ爲ニ必要ナル宅地ノ購入又ハ維持ヲ行フ場合ニ之ヲ準用ス但シ其ノ土地ノ面積ハ現ニ所有スル宅地（維持セムトスル宅地ヲ除ク）ノ面積ヲ併セ五畝以内トシ其ノ價額及貸付金額ハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス

附　則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年八月二十七日新潟縣告示第六百五十四號自作奬勵資金貸付規程ニ依リ資金ノ貸付ヲ爲シタル者ニ對シテハ其ノ償還ヲ終ル迄同規程ヲ適用ス

第三條中三月二十日迄トアルハ昭和二年度ニ限リ昭和三年一月二十日迄トス

大正十五年八月二十七日新潟縣告示第六百五十四號新潟縣自作奬勵資金貸付規程ハ之ヲ廢止ス

附　錄

第一號

第五條第三號ノ算式

$$\text{標準價格} = \frac{\text{小作料金額} - \text{地租及地租附加稅又ハ之ニ準スヘキ地方稅}}{0.06227}$$

備考

一、小作料ハ平年作ニ於ケル實納小作料ニ依ルコト但シ小作料ノ定ナキ土地ニ在リテハ其ノ土地ニ類似スル土地ノ小作料ニ依ルコト

小作地カ平年作ニ於ケル收穫高ノ五割五分以上ナル場合ニ於テハ其ノ五割五分ニ相當スル額ヲ以テ小作料ニ代フルコト

小作料カ平年作ニ於ケル收穫高ノ四割以下ナル場合ニ於テハ農業經營費比較的多カラサルトキ其ノ他特殊ノ事由ナキトキハ收穫高ノ四割迄ノ範圍ニ於テ適宜ノ程度ニ認定シタル額ヲ以テ小作料ニ代フルコトヲ得ルコト

二、小作料及收穫高ヲ價額ニ換算スル場合ニ於テハ其ノ物ノ價額ハ當該地方ニ於ケル最近五年ノ平均價格ヲ用フルコト

三、小作權賣買ノ慣行アル地方ニ於テ土地ノ購入ニ際シ其ノ土地ノ小作權ヲ併セ購入スル場合ニ於テハ小作料ハ小作權ノ賃借料（又小作料）ヲ含ムモノヲ以テスルコト

（第二號）

第五條第十六號ノ算式

$$\text{讓渡價格} = \text{償還濟元金} \times \frac{\text{讓渡當時ノ標準價格}}{\text{購入價額}}$$

備考

一、償還濟元金トハ市町村カ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額

二、標準價格トハ附錄第一號ニ定ムル算式ニ依リ算出シタル價格（其ノ價格時價ヲ超ユル場合ニ於テハ時價）トス

三、維持ノ爲ニ貸付ヲ受ケタル土地ニ在リテハ購入價額ノ代リニ貸付當時ニ於ケル標準價格（標準價格カ其ノ當時ニ於ケル時價ヲ超ユル場合ハ時價）ヲ用フルコト

四、購入價額（維持ノ場合ニ在リテハ前號ノ價格）ノ一部ニ相當スル金額ノ貸付ヲ爲シタル場合ニ於テハ「償還濟元金」ノ代リニ「償還濟元金ニ購入價額（維持ノ場合ニ在リテハ前號ノ價格）ト貸付金額

トノ差額ヲ加算シタル金額」ヲ用フルコト

様式（用紙ハ總テ美濃紙トス）

（第一號）第三號參照

自作奬勵資金借入申請書

一金　　圓也

右新潟縣自作奬勵資金貸付規程ニ依リ御貸付相成度規程第三條ノ書類相添此段申請候也

年　月　日

市町村長　何　某　印

知事　宛

（第二號）第三條第一號參照

自作奬勵資金貸付豫定調書

貸付順位	借受人氏名	購入又ハ維持豫定地							付貸豫定金額	備考
		購入維持別	地目別	段別	價額	段當價格	段當小作料			
		田畑其ノ他計宅地								

計																				
人																				
田畑其ノ他計宅地																				

（注　意）

一、地目ハ現狀ニ依リ之ヲ區別スヘシ以下之ニ倣フ

二、小作料ハ平年作ニ於ケル實納小作料ヲ記載スヘシ但シ小作料ノ定ナキ土地ニ在リテ其ノ土地ニ類似スル土地ノ小作料ヲ記載スヘシ以下之ニ倣フ

三、小作料現物納ナル場合ニ於テハ其ノ物ノ價格ヲ備考欄ニ記載スヘシ以下之ニ倣フ

四、小作料トシテ支拂フ現物ノ價格ハ當該地方ニ於ケル最近五年平均ニ依ルヘシ以下之ニ倣フ

（第三號）第八條參照

自作奬勵資金貸付認可申請書

購入セムトスル土地

借受人	住所	購入前ノ所有地	耕作地目別	段別	債額	段當價額	最高平均	段當地租・段當地租附加税及ノ二作收小作料準スヘキ地方税	貸付セムトスル金額	賣約者	住所	耕地不在所有者	備考
	氏名	地目別	段別	價額							氏名	反別	
田畑其ノ他計宅地													
反													
円													
反													
田畑其ノ他計宅地													
反													
円													
円													
円													
円													
反													

維持

計人	
田畑其ノ他計宅地	

借受人維持セムトスル土地

| | | |

二、性行欄ニハ幼年者ニ付テハ記入スルニ及ハス
三、簡易保險ニ加入セルモノハ種類、毎回保險料、契約年月ヲ備考欄ニ記入スヘシ

二、資産ノ狀況

イ、所有土地

地目	反別	價額	備考
計			

ロ、所有建物

種別	棟數	建坪	見積價格	備考
住家				
附屬建物				
計				

ハ、其ノ他ノ財産

種別	金額又ハ見積價格	備考
貯金及預金		
貸金		

公債、債券、株券		
其ノ他		
計		

ニ、負債

種別	未返濟額	借入年月	返濟期間	負債ノ事由	備考
擔保借入					
無擔保借入					
計					

（注意）

一、財産及負債ハ家族ノ分ヲモ各々合算スヘシ
二、所有土地ニ付抵當權買權等ヲ設定シアルモノハ設定年月日、負債返濟期限、利率等ヲ備考欄ニ記載スヘシ所有建物ニ付亦同シ
三、貸金中回收ノ見込ナキモノハ計上スヘカラス
四、公債、債券、株券ハ其ノ內譯ヲ備考欄ニ記載スヘシ
五、其ノ他ノ財産調中（其ノ他）ニハ調書中計上ナキ一切ノ財産ノ見積價格ヲ合算計上シ尙其ノ內譯ノ主ナルモノヲ備考欄ニ記載スヘシ
六、負債調中「負債ノ事由」欄ニハ「家族、土地購入ノ爲若ハ水火災ノ爲借入」等ノ如ク負債ヲ爲スニ至リタル直接ノ原因ヲ記載スヘシ尙擔保借入ハ擔保物件ヲ備考欄ニ記載スヘシ

三、家業等ノ狀況

地目別耕作反別、農業經營狀態、副業ノ有無及定住期間其ノ他規程第五條第一號ノ關係ヲ詳記スヘシ

第四號（第九條參照）

借入證書

一金　圓也

右今回自作奬勵資金トシテ御貸付相成候ニ付テハ左記事項ヲ履行可仕候

一、新潟縣自作奬勵資金貸付規程及同規程ニ基キ發セラルヽ命令ハ堅ク遵守スルコト

二、昭和　年三月十五日迄ニ據置期間ノ利息ヲ納入告知書ニ指定セラレタル場所ニ納付スルコト

三、借入元金ト利息トヲ併セ計算シタル年賦償還額　圓　錢宛昭和　年以降二十四年間每年度三月十五日迄ニ前項ノ場所ニ納付スルコト

年　月　日

知事宛

市町村長　何　某　印

第五號（第十四條參照）

自作奬勵資金貸付後ノ成績表

貸付借受人

貸付年度別	氏名	償還金滯納金額	處分方法及其ノ後ノ狀況	地目別	段別	處分方法及其ノ後ノ狀況
				田 畑 其ノ他 計 宅地	市町村ノ承認ヲ得スシテ抵當權ヲ設定シタルモノ	
					市町村ノ承認ヲ得スシテ自作ヲ爲ササルモノ	
					市町村ヲ經スシテ土地ヲ讓渡シタルモノ	
					其ノ他	

反

何年度	貸付ノ分	小計	何年度	貸付ノ分	小計
		人			
		円			
		田 畑 其ノ他 計 宅地			田 畑 其ノ他 計 宅地
		反			反
		反			反
		反			反
		反			反

新潟縣繭取引市場取締規則

大正十二年三月十六日新潟縣令第九號
昭和五年四月縣令第二九號改正

第一條　繭ノ取引市場ヲ經營セムトスル者ハ知事ノ免許ヲ受クヘシ

第二條　前條ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ニ定款若ハ規約、業務規程、用地及建物ノ配置圖並市場附近ノ見取圖ヲ添付シ知事ニ差出スヘシ

一、市場ノ名稱及位置
二、市場開設ノ豫定期間
三、取引見込數量
四、一日最多取扱見込口數及數量
五、乾繭設備ノ有無並乾繭設備ヲ有スルモノニ在リテハ其ノ種類及一日本乾燥ノ能力

第三條　業務規程ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一、事務所ノ位置
二、開場時間及立會時刻
三、市場ニ於テ徵收スル料金ノ種類、金額及其ノ徵收方法
四、取引ノ方法
五、違約者處分ノ方法
六、其ノ他業務執行上必要ナル事項

第四條　免許願書ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク知事ニ届出ツヘシ

定款若ハ規約又ハ業務規程ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第五條　市場ヲ開閉セムトスルトキハ豫メ知事ニ届出ツヘシ

第六條　市場經營者ハ帳簿ヲ調製シ每日ノ一賣夛ノ最高、最低及平均價格並各口ノ取扱數量價格及當事者ノ住所氏名ヲ記載スヘシ

借受人ノ土地ノ經營及經濟狀況ノ概況	計	田	畑	其ノ他	計	宅地	備考

前項ノ帳簿ハ一年以上之ヲ保存シ當該官吏、吏員又ハ警察官吏ノ請求アルトキハ之ヲ提示スヘシ

第七條　市場經營者ハ繭ノ計量ニ用ウル風袋ニ其ノ量目ヲ表記スヘシ

第八條　市場經營者ハ立會ノ場合最高入札ヲ公衆ニ提示スヘシ

第九條　市場經營者ハ繭ノ取扱數量若ハ價格ニ付虚僞ノ發表ヲ爲スコトヲ得ス

第十條　市場經營者ハ正當ノ事由ナクシテ市場開設期間中繭ノ取引ヲ拒ムコトヲ得ス

第十一條　市場經營者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五拾圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一、第一條ノ規定ニ違反シ繭ノ取引市場ヲ開設シタルトキ

二、第四條第二項ノ認可ヲ受ケスシテ定款若ハ規約又ハ業務規程ヲ變更シタルトキ

三、第六條第一項ノ規程ニ依ル帳簿ノ記載ヲ怠リ若ハ虚僞記載ヲ爲シ又ハ同條第二項ノ請求ヲ拒ミタルトキ

四、第七條ノ規程ニ依ル量目ノ表記ヲ怠リ又ハ虚僞ノ表記ヲ爲シタルトキ

五、第八條又ハ第九條ノ規程ニ違反シタルトキハ業務ヲ停止シ又ハ免許ヲ取消スコトアルヘシ

第十二條　市場經營者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

一、定款、規約又ハ業務規程ニ違反シタルトキ

二、前條第二號又ハ第四號ニ揭クル行爲ヲ爲シタルトキ

三、第十條ノ規定ニ違反シタルトキ

四、生繭ノ賣買若ハ仲立ヲ業トスル者又ハ其ノ從業者ニシテ自ラ生繭ノ賣買若ハ仲立ヲ爲サントスル者及生糸製造者又ハ其ノ從業者ニシテ生糸製造工場以外ニ於テ自ラ生繭ノ買入ヲ爲サムトスル者ニシテ蠶糸業法第八十五條第一項ノ免許ヲ受ケサル者ヲ情ヲ知リテ入場セシメ立會ニ參加セシメタルトキ

五、其ノ他不正行爲ヲ爲シタルトキ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

產業組合ニ於テ經營スル繭市場ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ本令ニ依リ免許ヲ受ケタルモノト看做ス

新潟縣蠶種繭賣買取締規則

昭和五年四月四日新潟縣令第十九號

第一條　蠶絲業法施行規則第八十五條第一項各號ノ一ニ該當スル者其ノ業務ヲ行ハムトスルトキハ免許證、第二條ノ該當者ニ在リテハ免許證及業務開始届濟證ヲ、第八條ノ該當者ニ在リテハ業務開始届濟證ヲ携帶スヘシ

第二條　蠶絲業法施行規則第八十五條第一項各號ノ一ニ該當スル者ニシテ本縣以外ノ道府縣ニ於テ免許ヲ受ケタルモノ本縣内ニ於テ其ノ業務ヲ行ハムトスルトキハ毎年業務開始前左ノ事項ヲ樣式第一號ニ依リ記載シ知事ニ之ヲ提出シ所定ノ業務開始届濟證ヲ受クヘシ但シ第二號免許證ノ番號ニ付テハ其ノ所轄蠶業取締所ノ證明書ヲ添附スヘシ

一　業種、氏名及住所（從業者ニ在リテハ業主ノ氏名及住所ヲ併記スルコト）
二　免許證ノ番號
三　業務ヲ行ハムトスル期間及區域
四　賣買又ハ仲立ヲ爲サムトスル豫定數量
五　蠶種ノ賣買仲立若ハ行商ヲ爲サムトスル者ハ蠶種保護設備場所ノ所在地

第三條　蠶絲業法施行規則第八十五條第一項各號ノ一ニ該當スル者其ノ業務ヲ行ハムトスルトキハ氏名及住所ヲ記載シタル帳簿ヲ携帶シ賣買又ハ仲立ヲ爲シタルトキハ直ニ左ノ事項ヲ記入スヘシ但シ繭市場ニ於ケル生繭ノ賣買ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

一　賣買又ハ仲立ヲ爲シタル年月日及場所
二　賣買又ハ仲立ヲ爲シタル相手方ノ氏名及住所
三　賣買又ハ仲立ヲ爲シタル蠶種（繭）數量及單價

前項ノ帳簿ハ其ノ閉鎖後一年間之ヲ保存スヘシ

第四條　蠶種ノ賣買若ハ仲立ヲ業トスル者又ハ其ノ從業者ニシテ自ラ蠶種ノ賣買若ハ仲立ヲ爲サムトスル者又ハ蠶種製造者ノ從業者ニシテ蠶種ノ行商ヲ爲サムトスル者ハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一　露店其ノ他蠶種ノ生理ヲ害スル虞アル場所ニ於ケル蠶種ノ賣買又ハ仲立
二　著シク生理ヲ害シタル蠶種ノ賣買又ハ仲立
三　蠶種保護設備ナキ場所ニ於ケル蠶種ノ貯藏
四　蠶種ノ生理ヲ害スル虞アル取扱及運搬

第五條　生繭ノ賣買若ハ仲立ヲ業トスル者又ハ其ノ從業者ニシテ自ラ生繭ノ賣買若ハ仲立ヲ爲サムトスル者又ハ生絲製造者若ハ其ノ從業者ニシテ生絲製造工場以外ニ於テ自ラ生繭ノ買入ヲ爲サムトスル者ハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス但シ第一號ノ行爲ニ在リテハ知事ノ認可ヲ受ケ生絲製造者カ養蠶組合ト協定シ蠶品種ノ統一、飼育法ノ改善、桑園ノ改良等蠶絲業ノ發進改善ニ關シ適當ナル施設ヲ爲シ公正ナル方法ヲ以テ直接繭ノ賣買ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

一　收繭前ノ賣買又ハ仲立
二　日出前又ハ日沒後ニ於ケル繭ノ賣買若ハ仲立又ハ繭ノ受渡
三　正當ノ事由ナキ賣買契約ノ不履行

四　買止又ハ價格引下ノ申合

五　正當ノ事由ナキ現物受渡又ハ代金支拂ノ延期

前項但書ノ認可ヲ受ケムトスル者ハ遲クモ掃立前三十日迄ニ樣式第四號ノ申請書ヲ知事ニ提出スヘシ

前項申請書ノ記載事項ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第一項但書ノ認可ヲ受ケタル者ハ其ノ成績ヲ毎年十一月末日迄ニ知事ニ屆出ツヘシ

第六條　前條第一項但書ニ依リ知事ノ認可ヲ受ケタル者其ノ施設事項ヲ實行セサルトキハ認可ヲ取消スコトアルヘシ

第七條　知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ繭市場開設期間中市場以外ノ場所ニ於テ繭ノ賣買又ハ仲立ヲ爲スコトヲ禁止スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テハ其ノ區域及期間ハ之ヲ告示ス

第八條　第二條ノ規定ハ本縣以外ノ道府縣ニ於テ鑑札ノ交付ヲ受ケタル蠶種製造者ニシテ本縣内ニ於テ其ノ製造シタル蠶種ノ行商ヲ爲サムトスル者ニ付之ヲ準用ス

第九條　第三條及第四條ノ規定ハ蠶種製造者ニシテ其ノ製造シタル蠶種ノ行商ヲ爲サムトスルモノニ付之ヲ準用ス

第十條　蠶種ノ賣買若ハ仲立ヲ業トスル者及其ノ從業者ニシテ蠶種ノ賣買若ハ仲立ヲ爲サムトスルトキ又ハ蠶種製造者及其ノ從業者ニシテ蠶種ノ行商ヲ爲サムトスルトキハ其ノ蠶種臺紙又ハ容器ノ裏面ニ自己ノ氏名住所、冷藏シタル蠶種ニ在リテハ出庫ノ月日、人工孵化種ニ在リテハ其ノ施行月日ヲ記載スヘシ

自己ノ製造ニ係ル蠶種ヲ販賣スル者ニ在リテハ前項ノ住所氏名ハ記載ヲ要セス

第十一條　蠶絲業法施行規則第八十五條各號ノ一ニ該當スル者及蠶種製造者ニシテ蠶種ノ販賣若ハ行商ヲ爲シタルトキハ其ノ賣買若ハ仲立ノ數量ヲ左ノ期間内ニ樣式第五號ニ依リ知事ニ屆出ツヘシ

春蠶繭　八月三十一日迄

夏秋蠶繭　十一月三十日迄

春蠶種　六月三十日迄

夏秋蠶種　十一月三十日迄

第十二條　第二條ノ規定ニ依リ交付ヲ受ケタル業務開始屆濟證ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ毀損又ハ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ業務開始屆濟證ヲ添附シ樣式第三號ニ依リ再交付又ハ書換ヲ申請スヘシ

業務ヲ廢止シ又ハ業務停止若ハ取消ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク業務開始屆濟證ヲ返納スヘシ但シ本人死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戶主、家族又ハ雇主ヨリ之ヲ返納スヘシ

第十三條　免許證、鑑札、業務開始屆濟證及帳簿ハ當該官吏々員ノ請求アリタルトキ

ハ之ヲ提示スヘシ

第十四條　鑛種製造者ニシテ其ノ製造シタル鑛種ノ行商ヲ爲サムトスル者本則ノ規定ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ行商ヲ停止シ、制限シ又ハ禁止スルコトアルヘシ

行商ヲ禁止セラレタル場合ニ於テハ鑑札ハ之ヲ返納スヘシ

第十五條　本則ニ依リ知事ニ提出スヘキ書類ハ所轄鑛業取締所ヲ經由スヘシ但シ本縣內ニ住所ヲ有セサル者ニ在リテハ本縣鑛業取締所ヲ經由スヘシ

第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス

一　第一條、第二條、第三條、第四條、第五條、第十條、第十一條又ハ第十三條ノ規定ニ違反シタル者

二　第八條ノ規定ニ依リ準用セラルル、第二條ノ規定ニ違反シタル者

三　第九條ノ規定ニ依リ準用セラルル、第三條又ハ第四條ノ規定ニ違反シタル者

四　第十二條ノ再交付又ハ書換ヲ申請セスシテ引續キ業務ヲ行ヒタル者

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ニ依リ下付シタル繭賣買業者若ハ鑛種賣買業者ノ免許證ハ昭和五年五月末日迄ニ之ヲ返納スヘシ但シ本人死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戶主、家族又ハ雇主ヨリ之ヲ返納スヘシ

大正十二年縣令第八號新潟縣繭賣買業者取締規則ハ之ヲ廢止ス

昭和四年縣令第三十二號新潟縣鑛種賣買業者取締規則ハ之ヲ廢止ス

樣式第一號

業務開始届

免許證番號（鑑札番號）	第　　號
業務ヲ行ハムトスル期間	自　年　月　日 至　年　月　日
業務ヲ行ハムトスル區域	郡（市）
賣買若ハ仲立又ハ行商ノ豫定數量	
鑛種保護設備場所	

右之通業務開始致度候間屆濟證御交付相成度此段及御屆候也

年　月　日

住所
業種　氏名　㊞

右雇主
住所
氏名（名稱）

知事宛

備考

賣買若ハ仲立又ハ行商ノ豫定數量ハ繭ノ賣買若ハ仲立ニ在リテハ春夏秋蠶繭別豫定貫數、蠶種ノ賣買若ハ仲立又ハ行商ニ在リテハ春夏秋蠶種別豫定枚數又ハ重量ヲ記載スヘシ

蠶種ノ保護設備場所所在地ヲ記載シ且其ノ場所カ他人ノ所有ニ係ルトキハ其ノ使用ニ關シ異議ナキ旨ノ契約書ヲ添附スヘシ

業種ハ「蠶種賣買」、「生繭賣買」、「蠶種行商」、「生繭買入」等ト記載スヘシ

様式第二號

第　號	
業務期間	自　年　月　日 至　年　月　日
業務開始届濟證（縣印）	
住所 業種 氏名 年月日生	
（右雇主 住所 氏名（名稱））	

縦九糎
横七糎

様式第三號

業務開始届濟證再交付（書換）申請書

業種

届濟證番號

届出者

住所

氏名

再下付ノ事由又ハ書換事項

右届濟證再交付（書換）相成度新潟縣蠶種繭賣買取締規則第十二條ニ依リ此段申請候也

年　月　日

右

知事宛

住所

氏名　㊞

備考

業種ハ「蠶種賣買」、「生繭賣買」、「蠶種行商」、「生繭買入」等ト記載スヘシ

様式第四號

申請書

一　養蠶組合ノ所在地及組合名
二　組合員數
三　賣買蠶繭見込額　春
　　夏秋
四　飼育蠶品種名
五　施設ノ概要
　1　蠶種
　2　飼育法
　3　桑園
　4　其ノ他
　5　繭價決定方法

右新潟縣蠶種繭賣買取締規則第五條第二項ニ依リ此段及認可申請候也

年　月　日

住所
生絲製造業　氏　名　㊞

住所

知事宛

養蠶組合代表者　氏　名　㊞

備考
記載事項簡單ナラサルトキハ別紙ニ記載スヘシ
様式第五號

蠶種（繭）取扱届

賣買、仲立ノ別　數量
販賣　瓦（貫、匁）
買入　瓦（貫、匁）
仲立　瓦（貫、匁）

右及届出候也

年　月　日

住所
業種　氏　名　㊞

知事宛

備考

業種ハ「蠶種賣買」、「蠶種行商」、「生繭賣買」、「生繭買入」等ト記載スヘシ

林業共同施設奬勵補助規程

昭和二年二月十一日新潟縣令第七號

林業共同施設奬勵補助規程左之通定ム

第一條　林業ノ共同施設ヲ奬勵スル爲本規程ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條　補助金ハ左ニ揭クル經費ニ對シ其ノ四分ノ一以内ヲ交付ス

一　森林組合、町村ノ林產物搬出ノ用ニ供スル林道ノ新設增設又ハ改設ニ要スル經費但シ林產物搬出ノ用ニ供スル動力ノ設備ニ要スル費用竝借地料地上物件移轉補償金等ヲ除ク

二　產業組合、市町村若クハ之ニ準スヘキ者又ハ森林組合ノ木炭生產者ノ爲ニ施設スル木炭倉庫及木炭檢查ニ付同業組合又ハ其ノ聯合會ノ木炭生產者ノ爲ニ施設スル木炭倉庫ノ新築、增築又ハ改築ニ要スル經費但シ土地購入費、借地料、地上物件移轉補償金等ヲ除ク

第三條　補助金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第一號樣式ノ申請書ニ左ノ書類ヲ添付シ每年四月二十日迄ニ知事ニ提出スヘシ

一　第二條第一號ノ場合ニ在リテハ第二號樣式ノ事業豫定書竝工事設計書及位置圖

（一）　工事設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

（イ）　林道ハ設定區域、延長、幅員、最大勾配、最小半徑及工事施行期間等

（ロ）　工事費算出ノ基礎

（ハ）　工事施行箇所ノ實測平面圖、橫斷面圖、縱斷面圖

（ニ）　其ノ他參考トナルヘキ事項

輕易ナル工事ニ付テハ（ハ）ノ縱斷、橫斷面圖ヲ省略スルコトヲ得

（二）　位置面ニハ陸地測量部發行五萬分ノ一圖ニ利用區域内ノ森林竝林道ノ豫定位置ヲ明示スヘシ

工事二年以上ニ亘ルモノニ在リテハ位置圖ニ工事年度區分ヲ明示シ且別ニ年度割施行計畫書ヲ添付スヘシ

二　第二條第二號ノ場合ニ在リテハ第三號樣式ノ事業豫定書竝工事設計書

（一）　工事設計書ニハ工事費算出ノ基礎其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ記載スヘシ

（二）　圖面ハ平面圖ニシテ縮尺五十分ノ一尺乃至百分ノ一尺トス

三　關係議會ノ決議錄寫

第四條　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル後事業豫定書又ハ工事設計書ニ記載シタル事項

ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ但シ輕微ナル事項ハ此限ニ在ラス

第五條　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者工事ニ著手セムトスルトキハ著手十日前著手届ヲ又工事竣功シタルトキハ第四號樣式ノ竣功届ニ經費精算書ヲ添ヘ遲滯ナク知事ニ提出スヘシ

第六條　工事中又ハ竣功檢査ノ際工事施行方法又ハ設計書ニ違ヒ若ハ工事不完全ナリト認ムルトキハ期日ヲ定メ全部又ハ一部ノ改設、改築ヲ爲サシムルコトアルヘシ

前項ノ改設又ハ改築ニ要スル費用ニ對シテハ補助金ヲ交付セス

第七條　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者ハ當該官吏々員ノ行フ事業ノ監督若ハ事業ノ成績及會計ノ檢査ヲ拒ムコトヲ得ス

第八條　補助金ノ交付ヲ受ケテ施行シタル工事ハ知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ五ケ年間其ノ用途ヲ變更シ又ハ設備ヲ處分スルコトヲ得ス

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ補助金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ

一　申請書其ノ他關係書類ニ虚僞ノ記載ヲ爲シ若ハ不正ノ行爲アリタルトキ

二　本規程又ハ補助金交付ノ條件ニ違背シタルトキ

三　第六條第一項ノ指定期間内ニ工事竣功ノ見込ナシト認メタルトキ又ハ竣功セサルトキ

第十一條　本規程ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ市町村役場竝其ノ所轄支廳ヲ經由スヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三條中每年四月二十日迄トアルハ昭和二年度ニ限リ昭和二年四月末日迄トス

第一號樣式

昭和何年度林業共同施設奬勵補助申請

事業種別	工事施行箇所	工種又ハ構造	延長(又ハ面積)棟數	幅員又ハ建坪	經費	備考
林道新設	何郡何村地内	車道		米	円	第何號事業豫定書何々號工事設計書
木炭倉庫新設	何郡何村大字何々地内	木造平屋建亞鉛板葺		棟	平方米 円	

右工事施行致度ニ付相當補助相成度縣令第何號林業共同施設奬勵補助規程ニ依リ左記關係書類相添此段申請候也

年　月　日

何郡何村
何々組合
組合長(理事)　何　某　印

知事宛

記

一 事業豫定書　自第何號至第何號　何通
一 工事設計書　同　何通
　同　何枚
一 圖面
一 決議錄寫

注意

工事施行箇所ノ下段第二條第一號ノミノ場合ハ工種、延長(又ハ面積)幅員ノミヲ第二條第二號ノミノ場合ハ構造棟數建坪ノミヲ記載スヘシ以下之ニ同シ

第二號樣式

林道新設(增設又ハ改設)事業豫定書

工事施行者	何郡何村何々組合
工事施行箇所	何郡何村大字何地內
工種	
延長(又ハ面積)	何米(又ハ平方メートル)
幅員	何メートル
利用區域內林產物年搬出見込數量	(用材ハ立方メートル)(薪材ハ層積立方米)(木炭ハキログラム)
工事施行期間	昭和何年何月何日着手 昭和何年何月何日竣功
經費	何圓

注意

一 豫定書ハ一計畫毎ニ作製スヘシ以下之ニ同シ
二 工種トハ軌道、車道、牛馬道等ノ區分ヲ謂フ
三 工種二種以上ナルトキハ其ノ種類毎ニ延長、幅員及經費ヲ記載スヘシ
四 林產物搬出見込數量ヲ揭記スルコト但シ單位ハ用材ニアリテハ立方メートル、薪材ニ在リテハ層積立方メートル木炭ニ在リテハキログラムヲ用フヘシ
五 經費中ニ用地費ヲ含ムトキハ別ニ之ヲ記載スヘシ
六 金額ハ圓位未滿ヲ四捨五入スヘシ
七 幅員ハ單位以下一位ニ止メ一位未滿ハ之ヲ切捨ツヘシ以下之ニ同シ
八 增設又ハ改設ノ場合ハ現在ノモノヲ事業豫定書及關係圖面ニ朱書スヘシ
九 數量ノ單位ハ當分ノ內メートル法ニ依ラサルコトヲ得

第三號樣式

木炭倉庫新築(増築又ハ改築)事業豫定書

工事施行者	何郡何村何々組合
工事施行箇所	何郡何村大字何字何々地内
構造	木造平屋建(木羽板、アタン葺等)
棟數	何棟
建坪	平方米
收容量	正味何キログラム
利用區域内木炭生產數量	何キログラム
工事施行期間	昭和何年何月何日着手 昭和何年何月何日竣功
經費	何圓

注意

一、建坪ハ單位以下一位ニ止メ切捨ツヘシ

二、第二號樣式六及九ヲ準用ス

第四號樣式

林業共同施設奬勵補助工事竣功届

事業種別	工事施行箇所	工種又ハ構造	延長又ハ構造ハ建坪豫定額	經費精算額	竣功年月日	備考
林道新設	何郡何村地内	車道	米	円	何年何月何日	何年何月何日着手 何年何月何日竣功
木炭倉庫新設	何郡何村大字何字何々地内	木造平屋建アタン葺	棟 平方米	円	同	同

右工事何年何月何日附新潟縣指令第何號ニ依リ聽届相成候處今般竣功致候ニ付經費精算書添附此段及御届候也

年　月　日

何郡何村
何々組合
組合長(理事)　何　某　印

知事　宛

注意

一　經費精算書ハ事業別、一計畫毎ニ作製シ工事材料、人夫等種目別ニ明示スヘシ但シ第二條第一號ノ場合ニシテ經費中ニ用地費ヲ含ムトキハ別ニ之ヲ記載スヘシ

縣稅賦課規則抄

昭和二年三月十五日縣令第十三號

營業稅

第十六條　左ニ揭クル營業ノ純益ニハ營業稅ヲ課セス
（一號、三號略）
二、產業組合又ハ漁業組合ノ爲ス營業

家屋稅

第四十四條　左ニ揭クル家屋ニハ家屋稅ヲ賦課セス
（自一號至四號略）
五、農業倉庫業法ニ依リ經營スル倉庫但シ賃借ニ係ルモノハ此ノ限ニ在ラス
六、產業組合ノ直接其ノ業務ニ使用スル家屋但シ賃借ニ係ルモノ及住宅ニ供用スルモノハ此ノ限ニ在ラス
（以下略）

新潟縣米穀檢查規則抄

大正十五年七月三十一日縣令第六七號

第一章　總則

第一條　本縣內ニ於テ生產シタル米穀ヲ受渡シ又ハ本縣外ニ移出セムトスル者ハ本則ニ依リ之カ檢查ヲ受クヘシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス
一　四斗（七十二立）未滿ノ端米
二　徵發若ハ強制執行ニ依リ受渡スルモノ又ハ國有ニ屬スルモノ
三　學術研究若ハ試驗ノ用ニ供スルモノ
四　自家消費ノ爲他人ニ委託加工スルモノ
五　博覽會、共進會又ハ品評會等ニ出品スル米穀ニシテ檢查吏員ノ承認ヲ得タルモノ
六　特殊ノ事由アル米穀ニシテ穀物檢查所長ニ於テ檢查免除ヲ爲シタルモノ

本縣內ニ於テ受渡シ又ハ本縣外ニ移出スル米穀ニシテ本縣外ニ於テ生產シタルコトヲ確認シ得サルモノハ本縣內ニ於テ生產シタルモノト看做ス

第二條　檢查ハ生產檢查、移出檢查ノ二種トス但シ農業倉庫入庫米ニ對シテハ入庫檢查ヲ、縣內受渡米ニシテ特ニ移出檢查等級區分ノ必要アリト認ムルモノニ對シテハ等級檢查ヲ行フコトアルヘシ

入庫檢查ヲ受クル米穀ニ在リテハ生產檢查ヲ省略スルコトヲ得

移出檢查、入庫檢查又ハ等級檢查ヲ受ケタル米穀ハ生產檢查濟ノモノト看做ス

第三條　檢查ノ米穀ノ左ノ事項ニ就キ之ヲ行フ

品質、乾燥、調製、粒形、容量、重量、包裝、精米ニ在リテハ以上ノ外精白ノ程度

第四條　檢查ヲ受クヘキ米穀ノ容量及包裝ハ左ノ各號ニ依ルヘシ但シ特別ノ事由アルモノニシテ知事ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

一　容量ハ四斗（七十二立一六）トスルコト但シ六十瓩ト爲スコトヲ得

二　包裝ハ生產檢查、入庫檢查又ハ等級檢查ヲ受クルモノニ在リテハ二重俵又ハ單俵、移出檢查ヲ受クルモノニ在リテハ左ニ依ルコト但シ精米ニハ叺ヲ使用スルコトヲ得

（一）　內俵又ハ單俵ハ乾燥セル選藁ヲ用ヰ四箇所編ミトシ長サ四尺乃至四尺三寸（一米二乃至一米三）、編ミ目ノ間隔中央七寸（二十一糎）左右各六寸五分（十九糎七）兩端六寸（十八糎二）、重量ハ四百匁乃至五百匁乃至千八百七十五瓦）トスルコト外俵ハ乾燥セル選藁ヲ用ヰ四箇所編ミトシ長サ三尺七寸乃至四尺（一米一二乃至一米二）、編ミ目ノ間隔中央七寸（二十一糎二）、重量ハ五百五十匁乃至六百五十匁（二千六十三瓦乃至二千四百三十八瓦）トスルコト

（二）　外俵ハ乾燥セル選藁ヲ用ヰ四箇所編ミトシ長サ四尺乃至四尺三寸（一米二乃至一米三）、編ミ目ノ間隔中央七寸（二十一糎）左右各六寸五分（十九糎七）兩端六寸（十八糎二）、重量ハ四百匁乃至五百匁乃至千五百瓦乃至千八百七十五瓦）トスルコト外俵ニ莚ヲ用ウル場合ハ其ノ莚ニ密ニ織リ上ケ長サ四尺三寸（一米三）、巾三尺二寸（九十七糎）、重量ハ三百匁乃至四百匁（千百二十五瓦乃至千五百瓦）トスルコト

（三）俵ハ乾燥セル藁ヲ用キ直徑九寸乃至一尺（二十七糎乃至三十糎）ニ編ミ重量ハ八十匁乃至百匁（三百瓦乃至三百七十五瓦）トスルコト

（四）繩ハ總テ打柔ケタル藁ヲ以テ綯ヒ小口繩及横繩ハ周リ八分乃至一寸（二糎四乃至三糎）、縦繩ハ一寸乃至一寸二分（三糎乃至三糎六）トシ外俵ニ用ウル繩ハ總テ摺掛ケトスルコト

（五）小口縢リ内俵ハ三封掬ヒ八箇所掛ケ、外俵ハ三封掬ヒ九箇所掛ケトシ脫粒ノ虞レナキ樣緊括シ其ノ結ヒ目ニ卷封ヲ施シ得ヘキ部分ヲ設クルコト

（六）横繩ハ五箇所各二廻リ平結トスルコト但シ二重俵裝ノ場合ニ限リ内俵ヲ各一廻リ三箇所掛ケ捻リ込ミト爲スコトヲ得

（七）縦繩ハ一筋ヲ以テ四方掛ケトシ兩端横繩ニハ蛙股ニ其ノ他ノ各檣繩ニハ下ヨリ引掛ケ緊括スルコト但シ生産檢査又ハ入庫檢査ヲ受クル單俵ニハ縦繩ヲ用ササルモ妨ケナシ

船舶ニ依リ移出スルモノノ縦繩ハ二筋ヲ以テ四方掛ケトシ兩端ノ横繩ニハ蛙股ニ其ノ他ノ各横繩ニハ上ヨリ引掛ケトスルコトヲ得

糙米ノ包裝ニ叺ヲ用ウル場合ハ左ノ方法ニ依ルコト

（一）藁ハ良質ナルモノヲ用キ織方ハ兩端ノ耳繩ヲ除キ十六目以上トシ密ニ織リ上ケ其ノ重量ハ四百五十匁（千六百八十八瓦）以上トスルコト

（二）繩ハ俵ノ横繩ト同樣ノモノヲ用キ横繩ハ二廻リ三箇所掛ケトシ兩耳繩ノ端ハ中央ニ於テ結合シ縦繩ハ一筋ニテ二箇所掛ケトシ其ノ方法ハ俵ノ例ニ依ルコト

第五條　檢査ハ檢査吏員之ヲ行フ

本則ニ於テ檢査吏員ト稱スルハ穀物檢査ニ關スル事務ニ從事スル地方農林技師、農林技手、移出檢査員及生産檢査員ヲ謂フ

檢査吏員ハ自己ノ利害ニ直接關係アル米穀ノ檢査ヲ爲スコトヲ得ス

檢査吏員其ノ職務ヲヲ行フトキハ左ノ証票ヲ携帶スヘシ

証　票（雜形）

一寸五分（四糎五）

第　號
穀物檢査吏員之証
職氏名

同上裏面

新潟縣

第六條　檢査ハ日出前及日沒後ハ之ヲ行ハス但シ檢査吏員ニ於テ特別ノ必要アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　檢査ノ等級ハ別ニ定ムル標準米ニ照シテ之ヲ決定ス

第八條　檢査吏員檢査ヲ行フニ際シ容量又ハ包裝ノ規定ニ適合セサルモノアリタルトキハ其ノ米穀ノ檢査ハ之ヲ中止ス

前項ニ依リ檢査ヲ中止シタルトキハ其ノ當日ヨリ起算シ十四日以内ニ容量又ハ包裝ヲ正シテ檢査ヲ受クルニ非サレハ既ニ爲シタル其ノ檢査申告ハ効力ヲ失フモノトス

第九條　檢査濟ノ米穀ト雖檢査吏員ニ於テ必要アリト認メタルトキハ再檢査ヲ行フコトアルヘシ

前項ノ檢査ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十條　檢査等級ノ決定ニ對シ異議アル者ハ其ノ檢査ノ結了シタル當日ヨリ起算シ十日以内ニ再檢査ヲ請求スルコトヲ得

第十一條　檢査申告者若ハ其ノ代理人ハ檢査ニ立會ヒ檢査上ニ就キ檢査吏員ノ指揮ニ從フヘシ

第十二條　檢査濟ノ米穀ト雖左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ更ニ檢査ヲ受クルニ非サレハ之ヲ本縣内ニ於テ受渡シ又ハ本縣外ニ移出スルコトヲ得ス

一　包裝ヲ毀損シ又ハ解包シタルモノ

二　檢査証印又ハ等級印ノ不明瞭トナリタルモノ

三　卷封又ハ票箋ノ毀損若ハ亡失シタルモノ
四　腐敗、變質、減量シ又ハ蟲害、鼠害ヲ受ケタル事實ノ明瞭ナルモノ

第十三條　檢査ノ爲ニ生シタル損害ハ縣ニ於テ賠償ノ責ニ任セス

第十四條　檢査ヲ受クヘキ米穀ノ包裝ニ色繩ヲ使用セムトスル者ハ左ノ區別ニ依ルヘシ但シ糎玄米品種別ノ色繩ニ限リ糠物檢査所長ノ指示ヲ受クルコトヲ要ス

今摺玄米（糎糯共）　横繩中央ニ赤色一箇所
糎精米　横繩交互ニ赤色二箇所
糎玄米　横繩中央ニ青色一箇所
糯精米　横繩交互ニ青色二箇所
糎玄米品種別　縦繩又ハ小口縢繩ニ黒、赤、青又ハ紫色ノ繩ヲ用ウルコト

第十五條　米穀ノ包裝ニハ本則ニ定ムル檢査証印、卷封又ハ檢査等級印ニ類似ノ商標、荷印其ノ他ノ表示ノ記載又ハ添附ヲ爲サムトスル者ハ第一號樣式ノ願書ニ檢査濟米穀ノ包裝面ニ商標、荷印其ノ他ノ表示ノ記載又ハ添附ヲ爲スコトヲ得ス

其ノ目的、表示方法、肉色及實形圖ヲ記載シタル書類ヲ添附シ穀物檢査所長ノ許可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

穀物檢査所長ニ於テ必要アリト認メタル場合ハ前項ノ許可ヲ取消シ又ハ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第二章　生產檢査及入庫檢査

第十六條　生產檢査ハ本縣内ニ於テ受渡セムトスル玄米ニ就キ現品所在地ニ於テ之ヲ行ヒ上、中、並上、並、格外ノ五等級ニ區別ス

第十七條　入庫檢査ハ農業倉庫業者ノ希望ニ依リ寄託ヲ受クル玄米ニ就キ入庫ノ際其ノ倉庫ニ於テ之ヲ行ヒ一等、二等、三等、四等、等外ノ五等級ニ區別ス

第十七條ノ二　天災其ノ他避クヘカラサル事由ニ因リ甚タシク米穀ノ品質ヲ損シタリト認ムル場合ニ於テハ第十六條及第十七條ニ規定セル等級ノ外更ニ一等級ヲ增設シ生產檢査ニハ並ノ次ニ並ト、入庫檢査ニハ四等ノ次ニ五等ヲ加フルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ豫メ之ヲ告示ス

第十八條　生產檢査又ハ入庫檢査ヲ受ケムトスル者ハ毎包裝ニ左ノ票箋ヲ着ケ口頭又ハ書面ヲ以テ現品所在地、數量、受檢希望日時等ヲ具シ管轄檢査吏員ニ申告スヘシ

用紙ハ强靱ナルモノ

糎米用ハ上部約五分（一糎五）ヲ青色トスルコト

銘柄又ハ品種名及調製所名又ハ同記號ニ限リ裏面ニ記載スルコトヲ得

今摺米ニハ㊎ノ記號ヲ表面ニ記載スルコトヲ得

第十九條　生產檢査ヲ行ヒタルトキハ票箋ニ檢査証印ヲ押捺シ尙包裝ノ兩端小口縢リノ結止ニ卷封ヲ施シ之ニ檢査証印ヲ押捺ス

入庫檢査ヲ行ヒタルモノニハ前項ノ外更ニ票箋ノ右肩ニ檢査等級印ヲ押捺ス

第三章　移出檢査及等級檢査

第二十條　移出檢査ハ本縣外ニ移出スル玄米及精米ニ就キ檢査所所在地又ハ指定ノ地ニ於テ之ヲ行ヒ一等、二等、三等、四等及等外ノ五等級ニ區別ス

等級檢査ハ本縣内ニ於ケル取引所受渡米、軍隊納入米其ノ他穀物檢査所長ニ於テ必要アリト認メタル受渡米ニ就キ希望ニ依リ檢査所所在地又ハ前項ニ依ル指定ノ地ニ於テ之ヲ行ヒ一等、二等、三等、四等及等外ノ五等級ニ區別ス

第二十條ノ二　第十七條ノ二ニ依リ等級增設ノ場合ハ前條玄米ノ等級ニ限リ四等ノ次ニ五等ヲ加ヘ六等級ニ區別ス

第二十一條　移出檢査又ハ等級檢査ヲ受ケムトスル者ハ毎包裝ニ左ノ票箋ヲ着ケ種別、數量、受檢場所、移送先、受檢希望月日等ヲ具シ第二號樣式ニ依ル書面ヲ以テ管轄檢査所又ハ檢査吏員ニ申告スヘシ

用紙ハ强靱ナルモノ

糎米用ハ上部約五分（一糎五）ヲ青色トスルコト

生產檢査又ハ入庫檢査ヲ受ケサルモノニ在リテハ生產檢査票箋ノ例ニ倣ヒ品種名ヲ記入スルコト

精米ニ在リテハ裏面ニ加工精米所名又ハ同記號ヲ記載スルコトヲ得

移出檢査又ハ等級檢査申告者ハ左ノ中札ニ第二十三條ノ檢査証印ノ押捺ヲ受ケ毎包裝内ニ挿入スヘシ

第二十二條　移出檢査又ハ等級檢査ヲ受ケムトスル者ハ別ニ定ムル規則ニ依リ檢査手數料ヲ納付スヘシ

第二十三條　移出檢査又ハ等級檢査ヲ行ヒタルトキハ票箋及中札ニ檢査証印ヲ押捺シ包裝面ニ檢査等級印ヲ押捺ス

生産檢査又ハ入庫檢査ヲ受ケサル米穀ノ移出檢査又ハ等級檢査ヲ行ヒタル場合ハ第十九條ノ卷封ヲ爲ス

第二十四條　移出檢査ヲ受ケ三十日ヲ經過シタル米穀ハ更ニ檢査ヲ受クルニ非サレハ本縣外ニ之ヲ移出スルコトヲ得ス但シ十一月一日ヨリ翌年四月末日迄ノ間ニ移出檢査ヲ受ケ其ノ期間内ニ移出スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四章　取締

第二十五條　未檢査ノ米穀ヲ持寄リ集合檢査ヲ受ケムトスル者ハ豫メ檢査吏員ノ承認ヲ受クヘシ但シ必要アルトキハ其ノ承認ヲ取消スコトアルヘシ

第二十五條ノ二　本縣外ニ於テ生産シタル米穀ニシテ檢査免除ノ表示ヲ必要トスルモノ及第一條第一項第六號ニ依リ檢査ノ免除ヲ爲シタル米穀ニ對シテハ其ノ包裝面ニ左ノ記號ヲ押捺ス

檢査免除記號

㊇　徑三寸三分(十糎)　肉色　綠

第二十六條　檢査濟ノ米穀ヲ降雨降雪中又ハ炎天中ニ運搬シ若ハ之ヲ屋外ニ置クトキハ濕氣又ハ炎熱ノ被害ヲ豫防スルニ必要ナル設備ヲ爲スヘシ

第二十七條　檢査濟ノ米穀ヲ解包シタルトキハ其ノ卷封及票箋ヲ破棄スヘシ

第二十八條　第二十三條ノ檢査等級印ヲ押捺シアル包裝材料ハ之ヲ米穀ノ包裝ニ再用スルコトヲ得ス但シ檢査吏員ノ承認ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條　檢査吏員又ハ警察官吏ニ於テ本則違反ノ事實アリト認メタルトキハ米穀ノ運搬停止若ハ保管ヲ命シ又ハ關係資料ノ提供ヲ命スルコトアルヘシ

前項ノ命令ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第五章　罰則

第三十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

一　第一條、第九條第二項、第十二條、第十五條第一項第二項、第二十一條第二項、第二十四條、第二十五條、第二十六條、第二十七條、第二十八條又ハ第二十九條第二項ニ違反シタル者

二　檢査ヲ免ルル目的ヲ以テ不正ノ行爲ヲ爲シタル者

三　猥リニ檢査濟米穀ノ卷封又ハ票箋ヲ破棄シ又ハ檢査証印若ハ檢査等級印ヲ抹消シタル者

四　檢査濟米穀ニ濕氣ヲ施シ若ハ他ノ米穀其ノ他ノ物質ヲ混シ又ハ容量ヲ抽出減量シタル者

五　他人ヲ欺罔スル目的ヲ以テ不正ノ手段ヲ施シタル米穀ノ檢査ヲ受ケ又ハ受ケムトシタル者

六　本則ニ定ムル卷封又ハ票箋ヲ不正ニ使用シタル者

第三十一條　前條ノ規定ハ法人ニ在リテハ其ノ代表者、未成年者又ハ禁治産者ニ在リテハ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ其ノ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

本則ニ依ル義務者ハ其ノ家族、代理人、戸主、雇人又ハ其ノ他ノ從業者カ本則ニ違反シタルトキト雖自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

附則

第三十二條　本則ハ大正十五年九月一日ヨリ施行ス

第三十三條　大正五年新潟縣令第三號米穀檢査規則ニ依リ檢査ヲ受ケタル米穀ハ本則ニ依リ檢査ヲ受ケタルモノト看做ス

第三十四條　本則第十九條ニ定ムル卷封及第二十三條ニ定ムル檢査等級印ハ當分ノ間改正前ノモノヲ使用スルコトアルヘシ

附則　(昭和五年四月縣令第二十五號ノ分)

第十八條及第二十一條ニ定ムル粳米ノ票箋ニ限リ當分ノ間從前ノ規定ニ依ルモノヲ使用スルコトヲ得

第十九條ニ定ムル卷封用紙ハ當分ノ間改正前ノモノヲモ使用スルコトアルヘシ

米穀檢查標準米查定規則

大正五年四月一日新潟縣告示第一四二號

第一條　米穀檢查標準米ハ本則ニ依リ之ヲ査定ス
標準米ハ標準米査定會ノ意見ヲ聽キ知事之ヲ定ム
當該年産標準米ノ決定前必要アリト認ムル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ラス前年産標準米ノ程度ニ準據シテ參考標準米ヲ定ムルコトアルヘシ

第二條　標準米査定會ハ會長一名委員五十名以内ヲ以テ組織シ毎年一回穀物檢查所内ニ於テ之ヲ開ク

第三條　會長ハ穀檢查所長ヲ以テ之ニ充テ委員ハ知事之ヲ命シ又ハ囑託ス
標準米査定會ニ書記ヲ置キ穀物檢查所主事補ヲ以テ之ニ充ツ

第四條　標準米ハ各等共其ノ最ト位ヲ以テ標準トス

第五條　査定會ニ付スヘキ米ハ左ノ標準ニ依リ穀物檢查所ニ於テ之ヲ蒐集ス
一、玄　米　各支所區域毎ニ作付ノ最モ多キモノ二十種以内
二、精　米　適當ノ地ヲ指定シ一箇所十種以内

第六條　標準米ハ品質、乾燥、調製、粒形及精白ノ程度ヲ査定ス
査定ノ方法ハ査定會ノ議定スル所ニ依ル

(四)　定款及定款例其ノ他

(四) 定款及定款例其ノ他

産業組合中央會定款

（明治四十三年一月制定、大正五年五月、大正六年九月大正九年五月、大正十年六月、大正十二年五月改正）

第一章 總則

第一條　本會ハ産業組合及産業組合聯合會ノ普及、發達及聯絡ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條　本會ハ産業組合中央會ト稱ス

第三條　本會ハ主タル事務所ヲ東京市牛込區揚場町二十一番地ノ二號ニ置ク

第二章 會員

第四條　本會ノ會員ハ正會員及贊助會員ノ二種トス

正會員ハ産業組合及産業組合聯合會トス

贊助會員ハ本會ノ趣旨ヲ贊成シテ入會シタルモノトス

第五條　本會ノ會員タラムトスルモノハ會費ヲ添ヘ其ノ旨事務所ニ申込ムヘシ

第六條　會員ノ會費年額左ノ如シ

正會員｛聯合會　拾八圓
　　｛組合　六圓

贊助會員　二圓四十錢

會員ハ少クトモ一箇年分ノ會費ヲ前納スルモノトス但別ニ定ムル所ニ依リ分納スルヲ妨ケス

贊助會員ハ一時金二十四圓ヲ納メタルトキハ爾後ノ會費ヲ納ムルコトヲ要セス

第七條　會員ハ左ノ事由ニ因リ脫退ス

一　解散

二　死亡

三　除　名

前項第一號ノ場合ニ於テハ精算人、第二號ノ場合ニ於テハ相續人ヨリ其ノ旨届出ツヘシ

第八條　會員脫退セムトスルトキハ其ノ事由ヲ記シ三箇月前ニ其ノ旨届出ツヘシ

第九條　會員ニシテ本會ノ目的ニ反スル行爲アルトキ又ハ會費ヲ滯納シタルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス但臨機急施ヲ要スル場合ニハ參事ニ諮リ理事之ヲ專行シ次期ノ總會ニ報告スヘシ

第十條　前三條ノ場合ニ於テモ既納ノ會費ハ之ヲ返付セス

第十一條　本會ハ理事會ノ決議ヲ經テ學識名望アル者又ハ本會ニ對シ功勞アル者ヲ名譽會員ニ推薦スルコトヲ得

第十一條ノ二　本會ハ總會ノ決議ヲ經テ產業組合ノ發達ニ對シ偉大ノ功勞アル者ヲ名譽會頭ニ推薦スル事ヲ得

第三章　資　產

第十二條　本會ノ資產ハ左ノ收入ヨリ成ル

一　會員ノ會費

二　有志家又ハ會員ノ寄附又ハ遺贈ニ係ル金錢及物品

三　本會ノ事業又ハ所有財產ヨリ生スル收入

四　國又ハ公共團體等ノ補助金又ハ交付金

五　其他ノ雜收入

第十三條　本會ニ基本財產ヲ置ク

基本財產ノ積立及管理ノ方法ハ總會ノ承認ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第十四條　本會カ寄附金ヲ受ケタルトキハ用途ヲ指定シアルモノノ外之ヲ基本財產ニ組入ルルモノトス

第十五條　本會解散ノ場合ニ於ケル殘餘財產ノ處分ハ總會ニ於テ之ヲ決スヘシ

第四章　役　員

第十六條　本會ニ理事九名監事三名ヲ置ク

理事ハ會頭一名副會頭二名ヲ互選ス

第十七條　會頭ハ本會ヲ總理ス

副會頭ハ會頭ヲ補佐シ會頭事故アルトキハ之ヲ代理ス

第十八條　理事ノ任期ハ三箇年トス監事ノ任期ハ二箇年トス但再選ヲ妨ケス

補闕選擧ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第十九條　辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ待ツコト能ハサル合場ニ限リ臨時總會ニ於テ補闕選擧ヲ行フヘシ

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選擧ヲ行フヘシ

第二十條　理事及監事ハ名譽職トス但總會ノ決議ニ依リ理事ノ一部ヲ有給ト爲スコトヲ得

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十一條　本會ニ參事二十名以內ヲ置ク

參事ハ會員中ヨリ會頭之ヲ囑託シ其ノ任期ハ三ケ年トシ會務ニ參與ス

第二十二條　本會ニ主事、主事補及書記若干名ヲ置キ理事之ヲ選任ス

主事ハ理事ノ命ヲ承ケテ會務ヲ處理シ主事補ハ理事及主事ノ命ヲ承ケテ會務ニ從事シ書記ハ主事及主事補ノ命ヲ承ケテ庶務ニ從事ス

第二十三條　參事ハ名譽職トシ主事、主事補及書記ハ有給トス

第二十四條　本會ニ講師若干名ヲ置キ會頭之ヲ囑託ス

講師ハ名譽職トシ會頭ノ依囑ヲ承ケテ調査指導ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十五條　本會ニ顧問若干名ヲ置キ理事會ノ決議ヲ經テ會頭之ヲ囑託シ其ノ任期ハ一箇年トス

顧問ハ本會ノ事業ヲ援助シ會頭ノ諮問アルトキハ之ニ對フルモノトス

第五章　總　會

第二十六條　本會ノ總會ヲ組織スル代表者ハ其ノ選擧區域每ニ議決權五百以內ニ付各一人ヲ選擧シ五百以上五百ヲ加フル每ニ一人ヲ加フ

前項ノ選擧ニ於テ多數ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者ト爲ス同數ノ場合ニハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條　會員ノ議決權ハ聯合會ニ在リテハ五箇、組合ニ在リテハ二箇、贊助會員ニ在リテハ一箇トス

第二十八條　代表者ノ選擧ハ理事ノ指定シタル會員ニ於テ之ヲ管理シ別ニ定ムル方法ニ從ヒ之ヲ行フ

管理者ハ選擧ノ狀況ヲ記錄シ之ヲ理事ニ報告スヘシ

第二十九條　代表者ノ任期ハ二箇年トス但再選ヲ妨ケス

代表者ニ闕員ヲ生シタルトキハ遲滯ナク補闕選擧ヲ行フモノトス

第十八條第二項第三項及第二十條第二項ノ規定ハ代表者ニ之ヲ準用ス

第三十條　總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回四月又ハ五月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一　理事カ必要ト認メタルトキ

二　監事カ産業組合法第九十二條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三　代表者ノ五分ノ一又ハ總議決權五分ノ一以上ニ當ル會員ヨリ會議ノ目的及招集ノ事由ヲ示シテ請求シタルトキ

第三十一條　總會ノ招集ハ少クトモ十日前ニ書面ヲ以テ代表者ニ之ヲ通知スヘシ

前項ノ通知書ニハ會議ノ目的タル事項ヲ示シ招集者之ニ記名スヘシ

第三十二條　代表者ノ議決權ハ平等トス

第三十三條　總會ノ決議ハ出席シタル代表者ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但理事及監事ノ選任解任及定款ノ變更ノ決議ハ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第三十四條　總會ニ於テハ第三十一條第二項ニ依リ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノミ決議ヲ爲スモノトス但出席代表者ノ三分ノ二以上ノ同意アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條　本會ト或代表者トノ關係ニ付キ決議ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ代表者ハ議決權ヲ有セス

第三十六條　總會ノ議長ハ會頭又ハ副會頭之ニ當ル會頭副會頭共ニ事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル

第三十七條　總會ノ決議錄ハ理事之ヲ作リ議長、監事及代表者又ハ會員二名之ニ記名捺印スヘシ

第三十八條　總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十九條　解散ノ決議ヲ爲サムトスルトキハ會員ノ總會ヲ招集ス

代表者ヲ以テ組織スル總會ニ關スル規定ハ前項ノ總會ニ之ヲ準用ス但其ノ決議ハ議決權二分ノ一以上ニ當ル會員出席シ議決權ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

會員ハ他ノ會員ヲ代理人トシテ議決權ヲ行フコトヲ得

前項ノ代理人ハ二十人以上ヲ代理スルコトヲ得ス

第六章　代議員會

第四十條　總會ハ代表者中ヨリ代議員十名ヲ選擧ス

代議員ノ任期ハ代表者ノ任期ニ從フ但再選ヲ妨ケス

代議員ニ議員ヲ生シタルトキハ次ノ總會ニ於テ補闕選擧ヲ行フ

第十八條第二項第三項及第二十條第二項ノ規定ハ代議員ニ之ヲ準用ス

第四十一條　代議員ハ本會ノ豫算ヲ議決ス

臨時急施ヲ要スル事項ニ付テハ會頭ハ前項ノ規定ニ拘ラス理事會ノ決議ヲ經テ專決處分ヲ爲スコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ次ノ代議員會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第四十二條　代議員會ハ會頭之ヲ招集ス

第四十三條　代議員會ノ決議ハ出席シタル代議員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第四十四條　第三十六條及第三十七條ノ規定ハ代議員會ニ之ヲ準用ス

第七章　事業

第四十五條　本會ニ於テ行フ事業左ノ如シ

第一部

一　産業組合及産業組合聯合會ノ設立ヲ奬勵斜旋スルコト

二　組合及聯合會ニ關シ指導ヲ爲スコト

三　組合及聯合會ニ關シ表彰ヲ行フコト

四　組合及聯合會相互ノ聯絡ヲ圖リ事業執行上ノ便宜ヲ與フルコト
五　組合及聯合會ニ關スル講習講話等ヲ行フコト
六　組合及聯合會ニ關スル調査ヲ行フコト
七　會員ノ質問ニ應スルコト
八　會報ヲ發行スルコト
九　組合及聯合會ニ關スル書籍ヲ發行スルコト
十　前各號ノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項

第二部

一　肥料其ノ他理事ニ於テ定メタル物ヲ購買シテ之ヲ會員タル組合又ハ聯合會ニ賣却スルコト
二　生產品陳列所其ノ他理事ニ於テ定メタル物ヲ備ヘ之ヲ會員タル組合又ハ聯合會ニ使用セシムルコト
本會ハ官廳又ハ公共團體等ヨリ事業ノ囑託ヲ受ケタルトキハ理事ニ於テ之ヲ處理ス但次期ノ總會ニ報告スヘシ

第四十六條　前條第二部ノ事業施行方法ハ定款ニ規定アルモノノ外總會ノ承認ヲ經テ別ニ之ヲ定ム
第四十七條　理事ハ第二部ノ事業執行ニ關シテハ必要ニ應シ之ニ關係アル組合及聯合會ノミノ特別會議ヲ招集シ意見ヲ徵スルコトヲ得
特別會議ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第八章　支會

第四十八條　本會ハ事業執行上ノ便ヲ圖ル爲メ本定款ノ規定ニ依リ道府縣每ニ支會ヲ設クルコトヲ得
第四十九條　支會ハ其ノ道府縣每ニ議決權二分ノ一以上ニ當ル會員ノ同意アルニ非サレハ之ヲ設置セス
支會ノ設置區域內ニ於ケル會員ハ本定款ノ外支會會則ヲ遵守スヘシ
第五十條　支會ヲ設置セムトスルトキハ會員中ヨリ發起人ヲ指定シ其發起人ナシテ會則ヲ定メ同意者名簿ヲ添ヘ本會ノ承認ヲ受クシム
第五十一條　支會ハ產業組合中央會何々支會ト稱ス
第五十二條　支會ニハ左ノ役員ヲ置ク

一　會長　一名
二　副會長　一名又ハ二名
三　其ノ他支會會則ヲ以テ定ムル役員

會長及副會長ハ本會ノ承認ヲ受クヘシ
第十七條ノ規定ハ會長及副會長ニ之ヲ準用ス
第五十三條　本會ハ何時ニテモ支會役員ノ改選ヲ命スルコトヲ得但次ノ總會ニ之ヲ報告スヘシ
第五十四條　支會ハ本會ヨリ交付スル經費ノ外會則ヲ定ムル所ニヨリ特ニ其ノ區域內ニ於ケル會員ヨリ會費ヲ徵スルコトヲ得
第五十五條　支會ハ每年豫算ヲ作リ本會ノ承認ヲ受クヘシ
支會ハ每年會計年度終了後速ニ前年度ノ決算及會務ノ狀況ヲ本會ニ報告スヘシ
第五十六條　支會ハ本會ノ指揮ヲ拒ムコトヲ得ス
支會カ前項ノ規定ニ違背シタルトキハ本會ハ經費ノ交付ヲ停止シ又ハ支會ノ廢止ヲ行フコトヲ得

第九章　會計

第五十七條　本會ノ會計年度ハ每年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス
第五十八條　本會ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一　會員名簿
二　出納帳
三　財產臺帳
四　其ノ他必要ナル帳簿

第五十九條　會計ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第十章　附則

第六十條　本會ハ大日本產業組合中央會ノ一切ノ權利ノ讓受ニ關シ必要ナル契約ヲ締結スルコトヲ得
第六十一條　大日本產業組合中央會ノ支會ニシテ其ノ總會ノ決議ヲ經タル會則ヲ添ヘ本會ノ承認ヲ受ケタルトキハ本定款第四十九條第一項及第五十條ノ規定ニ依ラスシテ本會ノ支會ト爲スモノトス

第六十二條　大日本産業組合中央會ノ會費ヲ一時金ヲ以テ納付セシ者ニシテ本會々員タル者ハ第六條ノ會費ヲ納ムルコトヲ要セス

第六十三條　本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但第三回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス（理事監事氏名略）

産業組合中央金庫定款

大正十二年七月十六日許可
大正十三年七月五日改正
大正十五年七月六日改正

第一章　總則

第一條　當金庫ハ大正十二年法律第四十二號産業組合中央金庫法ニ依リ設立シ産業組合中央金庫ト稱ス

第二條　當金庫ハ産業組合中央金庫法ニ依リ左ノ業務ヲ行フヲ以テ目的トス

一　所屬産業組合聯合會又ハ所屬産業組合ニ對シ擔保ヲ徵セスシテ五箇年以内ノ定期償還貸付ヲ爲スコト

二　所屬産業組合聯合會又ハ所屬産業組合ニ對シ手形ノ割引又當座預金貸越ヲ爲スコト

三　所屬産業組合聯合會又ハ所屬産業組合ノ爲ニ爲替業務ヲ爲スコト

四　産業組合聯合會、産業組合、公共團体其ノ他營利ヲ目的トセサル法人ヨリ預リ金ヲ爲スコト

五　其ノ他法律ニ依リ規定セラレタル當金庫ノ業務ヲ爲スコト

當金庫ハ必要アリト認メタル場合ニ於テハ擔保ヲ徵シテ前項第一號及第一號ノ業務ヲ爲スコトヲ得

第三條　當金庫ノ組織ハ有限責任トス

第四條　當金庫ハ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク

當金庫ハ從タル事務所ヲ大阪市ニ置ク

當金庫ハ業務ノ都合ニ依リ各地方便宜ノ地ニ出張所ヲ置キ又ハ産業組合聯合會ヲシテ業務ノ代理ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　當金庫ノ出資者ハ政府、産業組合聯合會又ハ産業組合ニ限ルモノトス

第六條　當金庫ノ存立期間ハ設立許可ノ日ヨリ五十箇年トス

第七條　當金庫ノ公告ハ官報及産業組合中央會ノ發行スル會報ヲ以テ之ヲ爲ス

第八條　當金庫ノ財産ニ付出資者ノ有スル持分ハ其ノ拂込濟出資額ニ應スルモノトス

第九條　所屬産業組合聯合會及所屬産業組合ハ其ノ名稱又ハ事務所ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ當金庫ニ通知スルコトヲ要ス

第二章　出資及積立金

第十條　當金庫ノ資本金ハ三千七十萬圓トシ之ヲ三十萬七千口ニ分チ一口ノ金額ヲ百圓トス

第十一條　政府ハ千五百萬圓ヲ當金庫ニ出資シ設立當初ニ於テ五百萬圓ヲ拂込ミ爾後毎年五百萬圓宛拂込ムモノトス

第十二條　所屬産業組合聯合會及所屬産業組合ノ出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付二十圓トス

第一回後ノ出資拂込ハ理事長ノ定ムル期日及方法ニ依リ第一回ノ拂込後十箇年間ニ之ヲ爲スヘキモノトス

出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ配當スヘキ剩餘金ハ之ヲ其ノ拂込ニ充ツルモノトス

第十三條　前條ノ規定ハ增資ノ場合ニ於ケル出資拂込ニ付キ之ヲ準用ス

第十四條　出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後日歩四錢ノ遲延利息ヲ徵集ス

第十五條　當金庫ハ毎事業年度ノ剩餘金ノ十分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十六條　加入金及增口金ハ之ヲ準備金ニ組入ルルモノトス

第十七條　當金庫ハ剩餘金ヨリ特別積立金及退職給與基金ヲ積立ツルコトヲ得

第十八條　準備金及特別積立金ハ損失塡補ニ充ツルモノトス但シ特別積立金ハ總代會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ使用スルコトヲ得

第三章　役員

十九條　當金庫ニ理事長、副理事長各一名理事三名以上五名以下監事三名ヲ置ク

理事長、副理事長及理事ノ任期ハ五箇年監事ノ任期ハ三箇年トシ主務大臣之ヲ任命スルモノトス

第二十條　理事長ハ當金庫ノ事務ヲ總理シ當金庫ヲ代表ス

副理事長ハ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキ其ノ職務ヲ行フ

副理事長及理事ハ理事長ヲ補助シ理事長ノ定ムル所ニ從ヒ當金庫業務ヲ掌理ス

監事ハ產業組合中央金庫ノ業務ヲ監査ス

第二十一條　理事長、副理事長、理事及監事ノ報酬ハ總代會ニ於テ之ヲ定ム

第二十二條　當金庫ニ評議員二十名以內ヲ置キ主務大臣之ヲ任命スルモノトス

評議員ハ名譽職トシ其ノ任期ハ三箇年トス

評議員ハ當金庫ノ業務經營ニ關スル重要ナル事項ニ就キ理事長ノ諮問ニ應シ意見ヲ開陳スルモノトス

評議員ニ諮問スヘキ事項左ノ如シ

一　定款ノ變更

二　事業執行ニ關スル規則及其ノ他諸規則ノ制定及其ノ變更

三　出資拂込ノ時期及方法

四　產業債券ノ發行、償還ニ關スル事項

五　貸付及手形割引ニ關スル方針

六　預リ金、貸付金ノ利率及手形割引ノ歩合

七　擔保ノ種類

八　剩餘金ノ處分

九　其ノ他理事長ニ於テ必要ト認ムル事項

第二十三條　當金庫ノ使用人ハ理事長之ヲ任免ス

第四章　總代會及總會

第二十四條　當金庫ハ產業組合中央金庫法第七條及產業組合法第三十八條ノ二ニ依リ總代會ヲ設ク

第二十五條　總代ハ道府縣毎ニ出資者之ヲ互選ス

前項ニ依リ選出スヘキ總代ノ員數ハ出資者百迄ニ付キ一トシ百ヲ加フル毎ニ一ヲ加フ

出資者ノ增減アリタル場合ニ於テモ現在總代ノ任期滿了ニ至ル迄ハ其ノ員數ハ之ヲ變更セス

總代ノ選擧ハ單記無記名トシ其選出區域ニ於ケル出資者中ヨリ其ノ出資者數ヲ其ノ區域ニ於テ選出スヘキ總代ノ數ヲ以テ除シテ得タル數ノ三分ノ一以上ノ得票アリタル者ヲ當選者トス但シ當選者ノ數カ選出スヘキ總代ノ員數ヲ超過シタルトキハ其ノ得票數ノ多キ者ヨリ順次之ヲ定メ得票同數ノ者ニ付テハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第二十六條　總代ノ選擧ハ道府縣毎ニ理事長ノ指定シタル所屬產業組合聯合會又ハ所屬產業組合ノ理事ヲシテ管理シ所屬產業組合聯合會若ハ所屬產業組合ノ理事之ヲ管理者ノ指定シタル二人以上ノ立會人ノ立會ヲ以テ之ヲ行フ

第二十七條　總代選擧ノ方法ハ管理者ノ定ムル所ニ依ル

管理者ハ總代選擧ノ狀況ヲ記錄シ之ヲ理事長ニ報告スルコトヲ要ス

第二十八條　總代ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨クス

總代ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十九條　總代ニ缺員ヲ生シタルトキハ遲滯ナク補缺選擧ヲ爲スコトヲ要ス

補缺選擧ニ依リ就職シタル總代ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第三十條　通常總代會ハ每年四月又ハ五月之ヲ開ク臨時總代會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一　理事長カ必要ト認メタルトキ

二　監事カ產業組合中央金庫法第七條及產業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三　產業組合中央金庫法第七條及產業組合法第二十三條ニ依リ招集ノ請求アリタルトキ

第三十一條　總代會ノ招集ハ少クトモ三週間前ニ書面ヲ以テ總代ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者ノ氏名ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十二條　總代ハ總代會ノ當日會議ヲ開ク前ニ出席者名簿ニ記名捺印シ代理ノ委任ヲ受ケタルモノハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第三十三條　總代會ノ決議ハ出席シタル總代ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

定款變更ノ決議ハ總代ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十四條　總代會ニ於テハ豫メ通知ヲ爲シタル事項ノ外決議ヲ爲スコトヲ得ス但シ急速ヲ要スル輕微ノ事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條　總代會ノ議長ハ理事長ヲ以テ之ニ當ル理事長事故アルトキハ副理事長之ニ代ル理事長、副理事長共ニ事故アルトキハ總代會ニ於テ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム第三十條第三號ニ依ル總代會ニ付キ亦同シ

監事ノ招集シタル總代會ノ議長ハ總代會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

第三十六條　總代ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得但シ總代ニ非サレハ代理人タルコトヲ得ス

總代ハ三以上ノ總代ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第三十七條　議長ハ總代會ノ決議錄ヲ作リ開會ノ日時、場所、會議ノ顚末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議錄ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十八條　總代會ノ議事ニ關スル細則ハ總代會ニ於テ之ヲ定ム

第三十九條　解散ノ決議ヲ爲サムトスルトキハ總會ヲ招集スル前項ノ決議ハ出資者ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ爲ス

出席者ハ十以上ノ出資者ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

總代會ニ關スル規定ハ總會ヲ準用ス

第五章　事業ノ執行

第四十條　當金庫ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第四十一條　所屬產業組合カ定期償還貸付ヲ受ケムトスルトキハ借入金額、用途辨濟期限及所要時期ヲ定メ其ノ旨ヲ當金庫ニ申出ツルコトヲ要ス

第四十二條　前條ノ申出アリタルトキハ信用程度表ニ依リ信用ヲ査定シ又ハ事業及財產ノ實況ヲ調査シタル上貸付ノ諾否、金額及其ノ條件ヲ定ムルモノトス

第四十三條　當金庫ハ所屬產業組合聯合會又ハ所屬產業組合ヨリ當座預金貸越契約ノ申出アリタルトキハ極度金額ヲ定メ之ヲ締結スルモノトス

前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條　貸付金ノ辨濟ヲ怠リタルトキハ期日後日歩四錢以內ノ遲延利息ヲ徵收ス但シ其ノ割合ハ貸付ノ際契約ヲ以テ之ヲ定ム

天災又ハ避クヘカラサル事故ニ依リ辨濟スルコト能ハサルトキハ約定利息ト同率ノ遲延利息ヲ徵スルモノトス

第四十五條　當金庫ハ貸付ヲ爲シタル所屬產業組合聯合會又ハ所屬產業組合カ貸付契約ニ違背シタルトキハ償還期限前ト雖貸付金ノ償還ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十六條　貸付金ノ利率ハ主務大臣ノ認可ヲ經タル最高歩合ノ範圍內ニ於テ理事長之ヲ定ム

手形割引ノ歩合ハ理事長之ヲ定ム

第四十七條　當金庫ノ業務ノ代理ヲ委任スヘキ產業組合聯合會ハ所屬信用組合聯合會ニ限ルモノトス

當金庫カ前項ノ委任ヲ爲ス場合ニ於テハ信用組合聯合會ノ事業及財產ノ實況ヲ調査スルコトヲ要ス

第四十八條　當金庫ハ信用組合聯合會ヲシテ貸付又ハ割引ヲ代理セシムル場合ニ於テハ其ノ信用組合聯合會ヲシテ債務ノ保證ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十九條　預リ金ノ利率ハ理事長之ヲ定ム

第五十條　業務上ノ餘裕金ハ左ノ方法ニ依ルノ外之ヲ運用セサルモノトス

一　國債又ハ公債ノ買入、大藏省預金部若ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル銀行ヘノ預金又ハ郵便貯金ト爲スコト

二　產業組合聯合會又ハ產業組合ニ對シ短期貸付ヲ爲スコト

三　其ノ他法律ニ依リ規定セラレタル方法

第四十二條ノ規定ハ前項第二號ノ貸付ニ付キ之ヲ準用ス

第五十一條　事業執行ニ關スル諸規則ハ理事長之ヲ定ム

第六章　產業債券

第五十二條　當金庫ノ發行スル產業債券ハ券面金額ヲ五十圓以上トシ無記名利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名トナスコトヲ得

第五十三條　產業債券ノ發行高ハ拂込出資金額ノ十倍ヲ限リトス但シ貸付金現在高、割引手形現在高及其ノ所有ニ係ル有價證券現在高ヲ超過スルコトヲ得ス

產業債券借換ノ爲一時低利ノ產業債券ヲ發行スル場合ハ前項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ產業債券ヲ發行シタルトキハ發行後一箇月以內ニ抽籤ヲ以テ其ノ發行券面金額ニ相當スル舊產業債券ヲ償還スルモノトス

第五十四條　產業債券ノ償還期限ハ其ノ發行後二十箇年以內トス

第五十五條　產業債券ノ償還又ハ賣出ノ方法ニ依ル產業債券ノ發行ニ關シ必要ナル事項ハ豫メ之ヲ公告ス

第五十六條　無記名產業債券ヲ記名トナシ又ハ記名產業債券ヲ無記名トナスニハ其ノ請求書ニ債券ヲ添ヘ當金庫ニ差出スコトヲ要ス

記名產業債券ノ名義書換ヲ爲スニハ讓渡人及讓受人雙方ノ記名捺印セル請求書ニ債券ヲ添ヘ當金庫ニ差出スコトヲ要ス

相續、遺贈、競賣等ニ因リ記名產業債券ヲ取得シタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルトキハ其ノ取得ヲ證スル書面ヲ添ヘ名義書換ヲ當金庫ニ請求スルコトヲ要ス

無記名產業債券ヲ記名トナス旨ノ請求アリタルトキハ當金庫ハ之ニ記名紙ヲ貼付シ其ノ手續ヲ了シタル上理事長證印シテ請求者ニ還付ス

前項ノ規定ハ記名產業債券ノ名義書換ニ付キ之ヲ準用ス

記名產業債券ヲ無記名トナス旨ノ請求アリタルトキハ當金庫ハ之ト同一番號ノ無記名新債券ヲ交付スルモノトス

第五十七條　當金庫ハ無記名產業債券又ハ利札ヲ滅失、紛失シ若ハ盜取セラレタル者アル場合ニ於テ公示催告手續ニ依リ除權判決ヲ受ケタル後ニ非サレハ代債券ヲ交付セサルモノトス但シ滅失ノ場合ニ於テハ其ノ證跡判明ナルモノニ付テハ特ニ第五十九條ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第五十八條　記名產業債券災害ニ罹リ滅失シタルトキハ所有者ハ其ノ事由、金額及番號ヲ詳記シ二名以上ノ保證人ヲ立テ當金庫ニ届出テ代債券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ當金庫ハ其ノ證跡判明ナルモノニ限リ代債券ヲ交付ス其ノ證跡判明ナラルモノニ付テハ紛失ノ例ニ依ル

第五十九條　記名產業債券ヲ紛失シ又ハ盜取セラレタルトキハ所有者ハ其ノ事由、金額及番號ヲ詳記シ其ノ旨ヲ當金庫ニ届出テ代債券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ當金庫ハ直ニ請求者ノ費用ヲ以テ其ノ旨ヲ公告シ一箇月以內ニ其ノ產業債券ヲ發見シタル旨ノ届出ナキトキハ二名以上ノ保證人ヲ立テシメ代債券ヲ交付ス

第六十條　滅失、紛失又ハ盜取ノ届出アリタル記名產業債券ニ關シ異議ノ申立ヲ爲ス者アルトキハ當金庫ハ管轄裁判所ノ判決確定ノ後ニ非サレハ代債券ヲ交付セス

第六十一條　產業債券汚染又ハ毀損シタルトキハ所有者ハ其ノ事由ヲ詳記シ其ノ債券ヲ添ヘ當金庫ニ差出シ代債券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ受ケ其ノ債券ヲ審査シ眞正ナリト認ムルトキハ當金庫ハ代債券ヲ交付ス其ノ眞正ナルコトヲ鑑別シ難キモノハ紛失ノ例ニ依ル

第六十二條　記名產業債券ヲ無記名ニ、無記名產業債券ヲ記名ニ書換ヲ爲ス場合又ハ滅失シ、紛失シ、盜取セラレ若ハ汚染毀損シタル等ノ爲代債券ヲ交付スル場合ニ於テハ請求者ヨリ債券一通ニ付三十錢ノ手數料ヲ徵收ス

記名產業債券ノ名義書換ヲ爲ス場合ニ於テハ請求人ヨリ債券一通ニ付十五錢ノ手數料ヲ徵收ス

第七章　剩餘金處分及損失塡補

第六十三條　剩餘金ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ處分スルモノトス

剩餘金ハ先ツ其ノ十分ノ一以上ヲ準備金トシテ引去リ尙殘餘アルトキハ配當金、特別配當金、役員賞與金、特別積立金、退職給與基金又ハ繰越金トシテ爲スモノトス

第六十四條　剩餘金ノ配當ハ拂込濟出資額ニ應シ其ノ率ハ年六分以下トス但シ準備金ノ額カ出資總額ノ四分ノ一ニ達シタルトキハ年八分迄之ヲ增加スルコトヲ得

剩餘金ノ特別配當ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル事業年度內ニ於テ當金庫ヨリ所屬產業組合聯合會及所屬產業

組合ニ支拂ヒタル預リ金ノ利息及所屬産業組合聯合會竝所屬産業組合カ當金庫ニ支拂ヒタル利息及割引料ヲ標準トシテ之ヲ定ムルモノトス

配當又ハ特別配當ハ一圓未滿ノ金額ニ對シテハ之ヲ爲ササルモノトス

役員賞與金ハ剩餘金ノ十分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第六十五條　政府ノ出資ニ對シテハ前條ノ規定ニ拘ラス創立初期ヨリ十五箇年間ハ剩餘金ノ配當ヲ爲ササルモノトス

第六十六條　損失ノ塡補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第八章　加入、增口、持分讓渡及脫退

第六十七條　新ニ當金庫ニ加入シ又ハ增口セムトスル産業組合聯合會又ハ産業組合ハ每年二月末日迄ニ其ノ出資口數ヲ理事長ニ申出ルコトヲ要ス

前項ノ申出口數相當數ニ達シタルトキハ理事長ハ增加スヘキ資本金額ヲ豫定シ增資案ヲ通常總代會ニ提出スルモノトス

第六十八條　增資ノ決議アリタルトキハ政府ノ認可ヲ經テ産業組合聯合會又ハ産業組合ヨリ申込書ヲ徵シ其ノ引受口數ヲ定メ加入金、增口金及出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後出資者名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入及增口ノ効力ハ加入金、增口金及出資第一回ノ拂込ノ完了ト同時ニ發生スルモノトス申込書ニハ其ノ引受ケヘキ出資口數、申込書ノ名稱及住所ヲ記載スルコトヲ要ス

第六十九條　持分ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テハ讓渡者及讓受者ノ連署ヲ以テ理事長ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ直ニ出資者名簿ノ記載ヲ更正スルコトヲ要ス

第七十條　所屬産業組合聯合會又ハ所屬産業組合ハ持分ノ讓渡ニ依リテノミ脫退スルコトヲ得

第九章　雜則

第七十一條　當金庫ノ業務取扱時間ハ每日午前九時ヨリ午後三時迄トス但シ業務ノ都合ニ依リ其ノ時間ヲ延長スルコトアルヘシ

休業日ハ大祭日、祝日及日曜日トシ必要ナル場合ニ於テハ豫メ公告ノ上臨時休業ヲ爲スコトアルヘシ

附則

第七十二條　當金庫設立初度ノ理事長、副理事長、理事及監事ノ報酬ハ設立委員之ヲ定ム

第七十三條　當金庫設立初度ノ總代ハ創立總會終了ノ日ヨリ二箇月內ニ之ヲ選擧シ大正十四年三月之ヲ改選ス

第七十四條　理事長ハ前條總代選擧終了ノ日ヨリ一箇月內ニ第一回總代會招集ノ手續ヲ爲スヘシ

第七十五條　當金庫ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用ノ限度ハ二萬圓トス

産業組合中央會新潟縣支會會則

第一章　總則

第一條　本會ハ産業組合中央會ノ趣旨ニ依リ新潟縣ニ於ケル産業組合ノ普及發達及聯絡ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條　本會ハ産業組合中央會新潟縣支會ト稱ス

第三條　本會ハ事務所ヲ新潟縣廳內ニ置ク

第四條　本會々則ヲ變更セントスルトキハ總會ノ決議ヲ經テ産業組合中央會々頭ノ承認ヲ受クルモノトス

第二章　會員

第五條　本會ハ新潟縣ニ於ケル産業組合中央會々員ヲ以テ組織ス

第六條　會員ニシテ本會ノ目的ニ反スル行爲アルトキ又ハ會費ヲ滯納シタルトキハ總會ノ決議ヲ經テ産業組合中央會ニ除名ノ申告ヲ爲スモノトス

第三章　役員

第七條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會　長　一　名
副會長　一　名
理　事　若干名
參　事　若干名

第八條　會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第九條　理事ハ會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ處理ス

第十條　參事ハ會長ノ諮問ニ應シ及會務執行ノ狀況ヲ監査シ又ハ總會ニ於テ委任セラレタル事項ヲ議決スルモノトス

第十一條　會長副會長理事及參事ハ總會ニ於テ會員中ヨリ之ヲ選擧ス但シ理事及參事ニシテ執務上必要アリト認メタル場合ハ役員會ノ決議ヲ以テ推薦委囑スルコトヲ得

第十二條　本會ニ主事主事補及書記若干名ヲ置キ會長之ヲ任免ス

第十三條　主事主事補ハ會長又ハ理事ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ執行シ書記ハ庶務ニ從事ス

第十四條　本會ハ必要ニ應シ地方委員若干名ヲ置キ會長之ヲ囑託ス

地方委員ハ會長ノ指定ニ依リ會務ヲ處理スルモノトス

第十五條　本會役員ノ任期ハ二ケ年トス但シ再選ヲ妨ケス

第十六條　本會ノ役員ハ名譽職トシ職員ハ有給トナスコトヲ得

第十七條　本會ニ講師若干名ヲ置キ會長之ヲ囑託ス、講師ハ會長ノ依囑ヲ承ケテ調査指導ニ關スル事務ヲ掌ル

第十八條　本會ハ總會ノ推薦ニ依リ顧問ヲ置クコトヲ得、顧問ハ本會ノ事業ヲ援助シ會長ノ諮問アルトキハ之レニ對スルモノトス

第四章　會　議

第十九條　產業組合中央會定款第二十七條ノ規定ハ會員ノ議決權ニ之ヲ準用ス

第十九條ノ二　本會ノ總會ハ代表者ヲ以テ組織ス代表者ハ各郡市毎ニ議決權三十以内ニ付各一人ヲ選擧シ三十迄ヲ加フル毎ニ一人ヲ加フ

前項ノ選擧ニ於テ多數ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス同數者アリタル場合ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

代表者ノ議決權ハ平等トス

第十九條ノ三　代表者ノ選擧ハ會長ノ指定シタル期間内ニ於テ管理人之ヲ執行ス

前項管理人ハ其郡市部會長トス部會設置ナキ郡市ノ管理人ハ會員中ヨリ會長之ヲ指定ス

管理人ハ選擧執行後直チニ執行月日及當選人名ヲ會長ニ報告スルモノトス

第十九條ノ四　代表者ノ任期及補缺選擧ニ付テハ產業組合中央會定款第二十九條ヲ準用ス

第二十條　總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ每年一回之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、會長ニ於テ必要ト認メタルトキ

二、總會議決權五分ノ一以上ノ同意ヲ意テ會議ノ目的及招集ノ事由ヲ示シ請求シタルトキ

第二十一條　總會ハ本會則ニ定ムルモノヽ外經費ノ豫算其他重要ナル事項ヲ議決ス

第二十二條　總會及參事會ハ會長之ヲ招集ス參事會ハ參事三分ノ一以上ヨリ請求アリタルトキハ會長之ヲ招集スルニトヲ要ス

第二十三條　總會及參事會ノ議長ハ會長又ハ副會長之ニ當ル會長副會長並ニ事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但シ會議ニ於テ必要ト認ムルトキハ互選ヲ以テ議長ヲ定ムルコトヲ得

第二十四條　會議ハ出席シタル代表者ノ議決權ノ過半數ヲ以テ議長ノ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第五章　事　業

第二十五條　本會ハ總會ノ外組合相互ノ聯絡ヲ計リ經驗ヲ交換シ其他事業上ノ便宜ヲ圖ルカ爲メニ總組合又ハ各種組合ヲ以テ協議會ヲ設クルコトヲ得

組合協議會ハ意見アレハ之ヲ本會又ハ產業組合中央會ニ建議スルコトヲ得

第二十六條　本會ハ產業組合中央會ノ指揮ヲ受ケ左ノ事業ヲ行フモノトス

一、産業組合及産業組合聯合會ノ設立ヲ奬勵斡旋スルコト
二、組合及聯合會ニ關シ指導ヲ爲スコト
三、組合及聯合會相互ノ聯絡ヲ圖リ事業執行上ノ便宜ヲ與フルコト
四、組合及聯合會ニ關スル講習講話等ヲ行フコト
五、組合及聯合會ニ關スル調査並ニ必要ニ應シ物資ノ仲介斡旋ヲナスコト
六、會員ノ質問ニ應答スルコト
七、前各號ノ外本會ノ目的ニ關シ必要ナル事項及中央會ヨリ指示セラレタル事項

第二十七條　本會ハ官廳又ハ公共團体等ヨリ特ニ事業ノ囑託アリタルトキハ産業組合中央會ノ承認ヲ經テ會長之ヲ處理ス

第六章　會計

第二十八條　本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル
第二十九條　本會ノ經費ハ産業組合中央會ノ交付金及第三十條ニ規定シタル徴收金其他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ
第三十條　本會ハ總會ノ決議ニヨリ事業ニ對シ手數料歩合金等ヲ徴スルコトヲ得
第三十一條　本會ノ經費ニ不足ヲ生シ第二十九條ノ收入ヲ以テ支辨スルコト能ハサルトキハ總會ノ決議ヲ經テ特ニ會員ヨリ之ヲ徴收スルコトヲ得

第七章　部會

第三十二條　本會ハ事業執行上ノ便ヲ圖ル爲メ本會則ノ規定ニ依リ郡市ニ部會ヲ設クルコトヲ得
第三十三條　部會ハ其設置區域内議決權二分ノ一以上ニ當ル會員ノ同意アルニアラサレハ之ヲ設置セス部會設置區域内ニ於ケル會員ハ本會則ノ外部會々則ヲ遵守スヘシ
第三十四條　部會ヲ設置セントスルトキハ發起人ハ會則ヲ定メ同意者名簿ヲ添ヘ本會ノ承認ヲ受クルヲ要ス
第三十五條　部會ハ産業組合何々郡部會ト稱スヘシ
第三十六條　部會ヲ設置シタルトキハ其區域内ニアル會員ハ部會々員タルノ義務ヲ有ス

第三十七條　部會ハ其役員ノ氏名ヲ本會ニ報告スヘシ異同アリタルトキ亦同シ
第三十八條　部會ハ會務ノ狀況ヲ毎年度事業終了後速カニ本會ニ報告スヘシ

有限責任全國購買組合聯合會定款

（昭和五年九月改正）

第一章　總則

第一條　本會ハ所屬聯合會及所屬組合ノ購買スル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生産シテ所屬聯合會及所屬組合ニ賣却スルヲ以テ目的トス
第二條　本會ハ有限責任全國購買組合聯合會ト稱ス
第三條　本會ノ組織ハ有限責任トス
第四條　本會ハ全國ヲ以テ區域トス
第五條　本會ハ主タル事務所ヲ東京府東京市牛込區揚場町二十一番地ニ從タル事務所ヲ大阪府大阪市北區宗是町一番地ニ置ク
第六條　聯合會原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ屆出ハ毎年七月三十一日ニ取纏メテ其ノ後二週間内ニ之ヲ爲ス
第七條　産業組合法第四十條第二項ニ依ル公告ハ本會ノ掲示場ニ掲示シ且官報、時事新報、中外商業新報、大阪朝日新聞及大阪毎日新聞ニ掲載シテ之ヲ爲ス
第八條　本會ハ購買事業ヲ營ム産業組合聯合會及所屬組合ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム
第九條　本會ノ財產ニ對スル所屬聯合會及所屬組合ノ出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス
一　準備金ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ年度毎ニ算定加算ス但シ總代會ノ決議ニ
二　特別積立金ニ對シテハ本會ヨリ購買シタル物ノ價額ニ應シ年度毎ニ算定加算ス
三　依リ購買シタル物ノ價額ニ對スル持分算定ノ率ハ物ノ種類ニ依リ之ヲ異ニスルコトヲ得

三ノ二　別途積立金ニ對シテハ本會解散當時ノ所屬聯合會及所屬組合ニ限リ持分ヲ有シ其算定ハ拂込濟累計額ニ應スルモノトス

四　其ノ他ノ財産ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ之ヲ算定ス

五　本會ニ損失アリ其ノ未タ塡補ヲ爲ササル前持分ヲ拂戻ストキハ特別積立金ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ其ノ特別積立金ヲ以テ足ラサルトキハ準備金ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス第十八條ノ規定ニ依リ特別積立金ヲ臨時ノ支出ニ處分シタル場合亦同シ

本會ニ損失アリタルトキハ之ヲ塡補シタル財産ノ科目ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス

本會財産カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス

第十條　所屬聯合會及所屬組合ハ左ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ本會ニ通知スルコトヲ要ス但シ第四號及第五號ノ事項ハ每事業年度末每ニ之ヲ報告スヘシ

一　名稱
二　事務所
三　出資一口ノ金額
四　出資ノ總口數
五　拂込ミタル出資ノ總金額

第二章　出資及積立金

第十一條　出資一口ノ金額ハ金五百圓トス

所屬聯合會及所屬組合ハ五十口迄ノ出資ヲ爲スコトヲ得

第十二條　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金百圓トス

第十三條　第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外每年十二月末日迄ニ出資一口ニ付金百圓ヲ拂込ムヘキ金額ノ千分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵收ス

第十四條　出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十五條　本會ハ出資總額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十六條　加入金、增口金、過怠金及第六十三條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲サヽル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ルモノトス

第十七條　本會ハ剩餘金ヨリ特別積立金及別途積立金ヲ積立ツルコトヲ得

第十八條　準備金及特別積立金ハ損失塡補ニ充ツルモノトス但シ特別積立金ハ總代會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十八條ノ二　別途積立金ハ賸買物品ノ相場ノ暴落又ハ不可抗力ニ因ル災害ノ爲多額ノ損失アリタル場合ニ際シ之カ塡補ニ充ツルモノトス

第十九條　準備金、特別積立金及別途積立金ハ產業組合中央金庫又ハ總代會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券、地方債證券、貯蓄債券、勸業債券、產業債券、日本興業銀行ノ債券、北海道拓殖銀行ノ債券若ハ農工債券其ノ他總代會ノ決議ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得ス但シ總代會ノ承認ヲ經タル社債券ヲ買入ルヽノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得

第三章　機關

第二十條　本會ニ理事十二名監事五名ヲ置ク

理事ハ會長一名、專務理事四名ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長事故アルトキハ專務理事ノ互選ニヨリ其ノ一名之ニ代リ會長及專務理事共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

專務理事ハ會長ヲ補佐シ會務ヲ掌理ス

第二十一條　理事ノ任期ハ三箇年監事ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

會長及專務理事ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補闕選擧ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ノ任期ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

增員ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ノ任期ハ現任理事又ハ監事ノ任期ニ從フ

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十二條　辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總代會ノ時期迄猶豫スルコ

ト能ハサル場合ニ限リ臨時總代會ヲ招集シ補闕選擧ヲ爲スモノトス

總代會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選擧ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條　理事及監事ハ名譽職トス但シ會長及專務理事ハ之ヲ有給トス

理事及監事ニハ總代會ノ決議ニ依リ報酬手當又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得

第二十四條　本會ハ產業組合法第三十八條ノ二ニ依リ總代會ヲ設ク

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十五條　總代ハ北海道、府縣每ニ所屬聯合會及所屬組合ヲ通シ其ノ數五十迄一ヲ選擧シ五十以上ハ五十每ニ一ヲ加フ所屬聯合會及所屬組合ノ增減ニ依リ總代選出數ニ異動ヲ生スヘキ場合ニ於テモ現在總代ノ任期滿了ニ至ルマテ選擧ヲ行ハス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限リニ在ラス

總代ハ其ノ選出區域內ニ於ケル所屬聯合會及所屬組合ニ於テ三分ノ一以上ノ同意ヲ以テ之ヲ互選ス若シ三分ノ一ノ以上同意ナキトキハ十五日以內ニ更ニ互選シ多數ノ同意ヲ得タルモノヲ以テ之ヲ決ス

本會ノ理事、監事及職員ハ總代タルコトヲ得ス

第二十六條　總代ノ選擧ハ北海道、府縣每ニ理事ノ指定シタル一人又數人ノ所屬聯合會若ハ所屬組合ノ理事之ヲ管理シ所屬聯合會若クハ所屬組合ノ理事中ヨリ管理者ノ指定シタル二人以上ノ立會人ノ立會ヲ以テ之ヲ行フ

第二十七條　總代選擧ノ方法ハ管理者ノ定ムル所ニ依ル

管理者ハ總代選擧ノ狀況ヲ記錄シ之ヲ理事ニ報告スヘシ

第二十八條　總代ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

辭任其他ノ事由ニ依リ總代ニ闕員ヲ生シタルトキハ遲滯ナク補闕選擧ヲ爲スモノトス

第二十一條第三項及第四項及第二十三條第三項ノ規定ハ總代ニ之ヲ準用ス

第二十九條　總代ハ其ノ選出區域內ニ於ケル所屬聯合會及所屬組合三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ何時ニテモ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十二條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十條　通常總代會ハ每年一回九月又ハ十月之ヲ開ク

臨時總代會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一　理事カ必要ト認メタルトキ

二　監事カ產業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三　理事ノ缺ケタルトキ

四　產業組合法第二十三條ニ依リ總代會招集ノ請求アリタルトキ

第三十一條　總代會ノ招集ハ少ナクトモ三十日前ニ書面ヲ以テ總代ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第三十二條　所屬聯合會及所屬組合ハ總代ノ選擧及總代ニ出席セシムル爲理事ノ互選ニ依リ代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ屆出ツルコトヲ要ス

所屬聯合會及所屬組合ハ前項ノ代表者ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク之ヲ本會ニ屆出ツルコトヲ要ス

第三十三條　總代會ハ總代ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス若シ半數ニ充タルトキハ四十日以內ニ更ニ招集シ出席シタル總代ノ過半數ヲ以テ開會ス

總代會ノ決議ハ出席シタル總代ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

理事若ハ監事ノ選任又ハ解任、定款ノ變更、所屬聯合會又ハ所屬組合ノ除名ノ決議ハ總代ノ半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

總代會ニ於テハ急速輕微ノ事項ニ限リ豫メ通知ナキモノト雖モ其ノ決議ヲ爲スコトヲ得

第三十四條　總代會ノ議長ハ會長之ニ當ル會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル監事ノ招集シタル總代會ノ議長ハ總代會テ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總代會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ムルコトヲ得

第三十五條　總代ハ會長之ニ當ル會議ノ顚末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十六條　總代會ニ於テハ決議錄ヲ作リ開會ノ時期、場所、會議ノ顚末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議錄ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十七條　總代會ノ議事ニ關スル細則ハ總代會ニ於テ之ヲ定ム

第三十八條　解散又ハ合併ノ決議ヲ爲サムトスルトキハ總會ヲ招集ス
前項ノ決議ハ總所屬聯合會及總所屬組合ノ半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス但シ合併ニ因リテ組織變更ト同一ノ結果ヲ生スヘキ場合ハ總所屬聯合會及屬所屬組合ノ同意アルコトヲ要ス
總代會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用ス

第三十九條　所屬聯合會及所屬組合ハ十以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコト得ス

第四十條　本會ハ總代會ノ推薦ヲ經テ學識經驗アルモノヲ顧問ト爲スコトヲ得
顧問ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ本會ノ事業ニ付理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第四十一條　本會ニ主事、主事補及書記若干名ヲ置キ會長之ヲ任免ス
主事ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ會務ヲ處理シ主事補及書記ハ理事、監事及主事ノ指揮ヲ承ケ會務ニ從事ス

第四十二條　本會ニ技師及技手若干名ヲ置キ會長之ヲ任免ス
技師及技手ハ理事及主事ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス

第四章　事業ノ執行

第四十三條　本會ノ事業年度ハ八月一日ニ始マリ翌年七月三十一日ニ終ルモノトス

第四十四條　本會ニ於テ賣却スル物ノ種類左ノ如シ
一　肥料、農具、種苗、飼料
二　穀物、穀粉、味噌、醬油、砂糖、菓子、酒類、清涼飲料類、罐詰、麪類、乾物類、茶
三　莫大小類、タオル、足袋、綿絲、織物、綿、油、和洋紙、文房具類、石鹸、靴、履物類、疊表類、藁品、雜貨類、薪炭
四　其ノ他總代會ノ決議ヲ經タル物

第四十五條　本會ニ於テ爲ス加工品又ハ生產左ノ如シ
一　肥料ノ製造及配合、農具ノ製作、メリヤス、タオル足袋ノ製作、石鹸ノ製造文房具類ノ製作、靴及履物ノ製作
二　精穀及製粉、味噌ノ醸造、菓子ノ製造、清涼飲料類ノ製造、罐詰類ノ製造、麪類ノ製造、藁品ノ製造

三　種苗ノ生產、茶ノ生產
四　其ノ他總代會ノ決議ヲ經タル物

第四十六條　理事ハ所屬聯合會及所屬組合ノ需要ヲ調査シ又ハ其ノ註文ニ應シ賣却スヘキ物及其ノ材料ヲ便宜買入レ又ハ生產スルモノトス

第四十七條　購買申込多數ノ場合ニ於ケル賣却ノ順位又ハ數量ハ申込者ノ購買必要程度等ヲ參酌シテ理事之ヲ定ム

第四十八條　所屬聯合會及所屬組合ニ賣却スル物ノ代價ハ理事之ヲ定ム

第四十九條　理事ハ必要アリト認ムルトキハ時期ヲ指定シテ所屬聯合會及所屬組合ニ註文物ノ見積代金ノ一部ヲ提供セシムルコトヲ得

第五十條　所屬聯合會及所屬組合カ本會ヨリ購買物引渡シノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス
前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ別ニ定ムル期間內ニ引取ラサルトキハ購買物代價ノ五分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵收ス但シ理事ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ過怠金ノ徵收ヲ免除又ハ輕減スルコトヲ得

第五十一條　所屬聯合會及所屬組合ハ購買物引取ト同時ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ理事ニ於テ止ムコトヲ得サル事由アリト認ムルトキハ代金支拂ノ延期ヲ承諾スルコトヲ得
前項但書ノ場合ニ於テハ百圓ニ付日步四錢以內ニ於テ理事之ヲ定メタル利息ヲ徵收ス

第五十二條　理事ハ必要ト認ムルトキハ所屬聯合會及所屬組合ヲシテ保證人ヲ立テシメ又ハ擔保ヲ供セシムルモノトス

第五十三條　本會ニ餘裕金アルトキハ產業組合中央金庫又ハ總代會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入ルルモノトス

第五十四條　事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章　剩餘金處分竝損失塡補

第五十五條　剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルトキハ特別積立金、配當金、特別配當金、役員賞與金、別途積立金又ハ繰越金ト爲スモノトス

第五十六條　剩餘金ノ配當ハ其剩餘金ヲ生シタル年度ノ終リニ於ケル所屬聯合會及所屬組合ノ拂込出資額ニ應シ其ノ率ハ年六分以下トス

剩餘金ノ特別配當ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル事業年度內ニ於テ所屬聯合會及所屬組合カ本會ヨリ購買シタル物ノ價額ニ應スルモノトス但シ總代會ノ決議ニ依リ購買シタル物ノ價額ニ對スル配當ノ率ハ物ノ種類ニ依リ之ヲ異ニスルコトヲ得

前二項ノ配當ハ十圓未滿ノ金額ニ對シテハ之ヲ爲ササルモノトス

第五十七條　第十八條ノ二ノ規定ニヨリ別途積立金ヲ以テ塡補シタル損失ノ殘額及其他ノ損失ハ先ツ特別積立金ヲ以テ次ニ準備金ヲ以テス但シ總代會ノ決議ニヨリ特別積立金及準備金ヲ以テスルコトヲ得

第六章　加入增口及脫退

第五十八條　本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ加入金壹圓及左ニ揭ル書類ヲ添付シテ理事ニ差出スコトヲ要ス但シ第一年及第二年度ニ於テハ加入金ヲ徵セス

一、定款ノ謄本

二、最近作製シタル貸借對照表

三、產業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議錄ノ謄本申込書ニハ設立許可ノ年月日竝理事ノ氏名、住所ヲ附記スルコトヲ要ス

理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬聯合會及所屬組合名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入ノ効力ハ第六十條ノ場合ヲ除クノ外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第五十九條　所屬聯合會及所屬組合カ出資ノ增口ヲ爲サムトスルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス此場合ニ於テ徵收スヘキ增口金ハ前條ノ加入金ト同額トス

第六十條　持分ヲ讓受ケムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス

持分ヲ讓受ケムトスル者カ所屬聯合會又ハ所屬組合ニ非サルトキハ出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外第五十八條ノ規定ヲ準用ス

第六十一條　所屬聯合會及所屬組合カ脫退セムトスルトキハ其ノ事業年度末十箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第六十二條　所屬聯合會及所屬組合ハ左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總代會ノ決議ニ依リテ之ヲ除名ス

一、出資ノ拂込、過怠金ノ納付又ハ購買代金ノ支拂ヲ怠リ二箇月內ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ

二、本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ

三、信用ヲ失ヒタルトキ

第六十三條　所屬聯合會及所屬組合脫退ノ場合ニ於テハ其ノ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス但シ除名ニ因ル場合ニ於テハ其ノ拂込濟出資額ノ半額ヲ解散、所屬聯合會及所屬組合タル資格ノ喪失、其ノ他總代會ニ於テ止ムコトヲ得サルト認メタル事由ニ因ル場合ニ於テハ其ノ持分ノ全額ヲ拂戻スモノトス

第七章　解散

第六十四條　本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ總會ノ決議ニ依リ所屬聯合會及所屬組合ノ理事中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第八章　附則

第六十五條　本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ第一回通常總代會ニ於テ之ヲ改選ス

第六十六條　昭和五年九月定款第十三條變更前ニ加入シタルモノノ第一回後ノ出資拂込方法ハ加入後三事業年度ヲ經過シタル年ヨリ每年十二月末日迄ニ出資一口ニ付金百圓以內ヲ拂込ムモノトス但シ持分ヲ讓受ケテ加入シタルモノ又ハ增口シタルモノニ付テハ其出資第一回拂込ノ日ヨリ起算ス

前項ノ金額ハ理事之ヲ定ム

有限責任新潟縣信用組合聯合會定款

大正十年九月五日設立許可
大正十二年四月二十六日變更認可
大正十三年五月十五日變更認可
昭和三年五月二十五日變更認可
昭和五年六月十三日變更認可

第一章　總則

第一條　本會ハ左ノ事業ヲ營ムヲ以テ目的トス
一、所屬組合及所屬聯合會ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二、產業組合中央金庫法ニ依リ產業組合中央金庫ノ業務ヲ代理スルコト
三、產業組合中央金庫株式會社日本勸業銀行ニ對シ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ債務ノ保証ヲ爲スコト
四、前號ニ依リ債務ノ保証ヲ爲シタルトキハ產業組合中央金庫又ハ株式會社日本勸業銀行ノ委任ヲ受ケ債權ノ取立ヲ爲スコト

第二條　本會ハ有限責任新潟縣信用組合聯合會ト稱ス

第三條　本會ノ組織ハ有限責任トス

第四條　本會ノ區域ハ新潟縣一圓トス

第五條　本會ノ事務所ハ左ノ場所ニ置ク但シ必要ニ應シ總代會ノ決議ヲ經テ出張所ヲ設クルコトヲ得
第一事務所　新潟市東中通二番町二百七十八番地二
第二事務所　長岡市坂ノ上町二丁目七百三十五番地三
第三事務所　高田市四會所通町十一番地

第六條　所屬組合又ハ所屬聯合會ハ本會ノ區域內ニ主タル事務所ヲ有スル者ニ限ル

第七條　本會ノ財產ニ付所屬組合及所屬聯合會ノ有スル持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム
一、出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ之ヲ算定ス
二、準備金特別積立金ニ對シテハ拂込濟出資額ニ應シ年度每ニ之ヲ算定加算ス
三、其ノ他ノ財產ニ對シテハ本會解散當時ノ所屬組合及所屬聯合會ニ限リ持分ヲ有シ其ノ割合ハ拂込濟出資額ニ應スルモノトス

本會ニ損失アリタルトキハ之ヲ塡補シタル本會財產ノ科目ニ對スル前年度末ニ於ケル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス第十七條ノ規定ニ依リ臨時ノ支出ニ處分シタル場合亦同シ

本會財產カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス

第一項第二號ノ持分計算ニ付テハ圓位未滿ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス

第八條　產業組合法第九條第一項第一號乃至第五號及第十二號ノ事項竝理事監事ノ氏名住所ニ變更アリタルトキハ所屬組合又ハ所屬聯合會ハ遲滯ナク本會ニ通知スルコトヲ要ス

第九條　所屬組合又ハ所屬聯合會カ左ノ事項ニ付總會ノ決議若ハ承認ヲ經タルトキハ遲滯ナク之ヲ報告スルコトヲ要ス
一、一事業年度ニ於ケル借入最高金額
一、財產目錄、貸借對照表、事業報告書、剩餘金處分按
一、財產目錄、貸借對照表、事業報告書、剩餘金處分按
第十條　產業組合法ニ基ク公告ハ所轄裁判所ノ公告スル新聞ニ揭載スルモノトス

第二章　出資及積立金

第十一條　出資一口ノ金額ハ金參百圓トス

第十一條ノ二　所屬組合又ハ所屬聯合會ハ出資五十口迄所有スルコトヲ得

第十二條　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金六拾圓トス第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外每年一回宛拂込ミ五箇年ヲ以テ全額ヲ拂込ムモノトス
前項拂込ノ金額及方法ハ理事之ヲ定メ少クトモ拂込期日二十日前ニ書面ヲ以テ所屬組合及所屬聯合會ニ通知スルモノトス

第十三條　出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ二百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵收ス

第十四條　本會ハ出資總額ト同額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルコト

モノトス

第十五條　加入金、增口金、過怠金及第五十五條ノ規定ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額及脫退者ノ請求權ヲ失ヒタル持分ノ之ヲ準備金ニ組入ルヽモノトス

第十六條　本會ハ剩餘金ヨリ特別積立金役職員退職給與積立金又ハ記念積立金ヲ積立ツルコトヲ得

第十七條　特別積立金ハ損失ノ塡補ニ充ツルノ外總代會ノ決議ニ依リ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

記念積立金ハ總代會ノ決議ヲ經テ產業組合奬勵施設又ハ社會事業ニ支出スルモノトス

第十八條　準備金特別積立金役職員退職給與積立金及記念積立金ハ產業組合中央金庫若ハ總代會ノ承認ヲ經タル銀行信託會社ニ預入レ又ハ之ヲ以テ左ノ有價證券ヲ買入ルヽ外ノ他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總代會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

一、國庫證券
一、地方債證券
一、貯蓄債券
一、勸業債券
一、農工債券
一、產業債券

其ノ他總代會ノ承認ヲ經タル社債券

前項ノ信託ノ種類ニ付テハ特定又ハ指定セス預ケ入レ期間ヲ二ケ年トス

第三章　機關

第十九條　本會ニ理事九名監事五名ヲ置ク

理事ハ會長一名專務理事二名ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

專務理事ハ會長ヲ補佐シ常務ヲ司掌ス

第二十條　理事及監事ノ任期ハ三箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

補闕選擧ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十一條　辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總代會ヲ俟ツコト能ハサル場合ニ於テハ臨時總代會ニ於テ補闕選擧ヲナスモノトス

總代會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ決議シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選擧ヲ爲スコトヲ要ス

第二十二條　所屬組合及所屬聯合會ハ理事ノ互選ニ依リ代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ屆出ツルコトヲ要ス

其ノ代表者ニ變更アリタル場合亦同シ

第二十三條　本會ハ產業組合法第三十八條ノ二ニ依リ總代會ヲ設ク

第二十四條　總代ハ左ノ選擧區毎ニ所屬組合及所屬聯合會ノ數十以內ニ付各一人ヲ代表者中ヨリ選擧シ十一以上五ヲ加フル每ニ一人ヲ加フ

北蒲原郡	中蒲原郡	西蒲原郡 新潟市	
北魚沼郡	南魚沼郡	中魚沼郡	
岩船郡	佐渡郡	長岡市	
南蒲原郡	東蒲原郡	三島郡	古志郡
刈羽郡	東頸城郡	中頸城郡 高田市	西頸城郡

前項ノ選擧ニ於テ多數ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者ト爲ス同數ノ場合ニハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

本會ノ理事及監事ハ總代タルコトヲ得ス

所屬組合又ハ所屬聯合會ノ增加ニ依リ增員シタル總代ノ任期ハ現任總代ノ任期ニ依ル

第二十五條　總代ノ選擧ハ代表者中ヨリ理事ノ指定シタル管理者ニ於テ之ヲ管理シ別ニ定ムル方法ニ從ヒ之ヲ行フ管理者ハ選擧ノ狀況ヲ記錄シ之ヲ理事ニ報告スヘシ

第二十六條　總代ノ任期ハ三箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

辭任其ノ他ノ事由ニ依リ總代ニ闕員ヲ生シタルトキハ遲滯ナク補闕選擧ヲ爲スモノトス

第二十條第三項第四項及第三十七條ノ規定ハ總代ニ之ヲ準用ス

第二十七條　總代ハ其ノ選出區域內ニ於ケル所屬組合及所屬聯合會三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ何時ニテモ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十一條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十八條　總代會ハ通常總代會及臨時總代會ノ二種トス

通常總代會ハ毎年一回四月之ヲ開ク

臨時總代會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、理事カ必要ト認メタルトキ

二、監事カ財產ノ狀況又ハ業務執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總代會ニ報告ス

ル爲必要ト認メタルトキ

三、總代又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其ノ招集ノ事由ヲ記載シタル書面

ヲ提出シテ總代會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第二十九條　總代會ノ招集ハ少クトモ七日前ニ書面ヲ於テ總代ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第三十條　總代會ハ總代ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於ケル決議ハ出席シタル總代ノ選半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ定款ノ變更、理事、監事ノ選任

及解任若ハ除名ノ決議ハ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

總代會ニ於テハ豫メ通知ヲ爲シタル事項ノ外緊急輕微ノ事項ニ限リ出席總代ノ過半數ノ同意ヲ得テ議題

ニ供シ議決ヲ爲スコトヲ得

第三十一條　總代會ノ議長ハ第二十八條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外會長之ニ當ル會長事故アルトキハ

理事ノ互選ニ依ル

第二十八條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總代會ノ議長ハ總代會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其多數ナル場合

ニ於テハ其互選ニ依ル總代會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席總代中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第三十二條　總代ハ三人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得

第三十三條　總代會ニ於テハ決議錄ヲ作リ會議ノ顚末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議錄ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十四條　總代會ノ議事ニ關スル細則ハ總代會ニ於テ之ヲ定ム

第三十五條　左記ノ場合ニハ總會ヲ招集ス

一、所屬組合及所屬聯合會ノ數カ壹百以內トナリタルトキ

二、解散又ハ合併ノ決議ヲ爲サムトスルトキ

總代會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用ス但シ前項第二號ノ場合ニ於テ所屬組合及所屬聯合會ノ

代表者半數以上出席シ其四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

第三十六條　理事ハ毎事業年度ノ始メ及必要ト認ムル場合ニ於テ決議シタル範圍內ニ於テ其ノ貸付ク

成シ總代會ニ於テ決議シタル範圍內ニ於テ其ノ貸付クヘキ最高金額ヲ定ムルコトヲ要ス

信用程度表ハ理事之ヲ保管シ監事ノ外閱覽スルコトヲ得サルモノトス

第三十七條　理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

理事及監事ニハ總代會ノ決議ニ依リ報酬又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得

第三十八條　本會ハ總代會ノ推薦ニ依リ顧問及相談役ヲ置クコトヲ得

顧問ハ本會ノ事業ニ付意見ヲ開陳シ本會ノ事業ヲ援助スルモノトス

相談役ハ會長ノ諮問ニ答ヘ意見ヲ開陳スルモノトス

第三十九條　本會ニ主事及書記ヲ置キ理事之ヲ任免ス

主事及書記ハ理事、監事ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第四章　事業ノ執行

第四十條　本會ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第四十一條　所屬組合又ハ所屬聯合會ニ對スル貸付ニ付テハ信用程度表ニ依リ其ノ信用ヲ査定シ貸付ク

キ金額及其方法ヲ定ムルモノトス

第四十二條　貸付金ノ辨濟期限ハ一箇年內ニ於テ之ヲ定ム但シ左ノ事業資金ニ要スル貸付ニ付テハ十箇年

以內ニ於テ年賦又ハ濟崩シ償還ノ方法ニ依リ其ノ期限ヲ定ムルコトヲ得

一、不動產購入資金開墾又ハ土地改良資金ニ要スル資金

一、建築資金又ハ產業用資金ニ要スル資金

一、殖林事業又ハ畑作資金ニ要スル資金
一、舊債償還等回收長年月ヲ要ルモノト認ムル資金
前項但書ノ場合ニ於テハ相當ノ擔保ヲ徵シ又ハ本會ニ於テ指定スル保證人ヲ立テシムルコトヲ要ス

第四十三條　貸付金ノ辨濟ニ付テノ遲延利息ハ百圓ニ付日歩金四錢トス
第四十四條　本會ニ於テ取扱フ貯金ハ一回金拾圓以上トス但シ特別ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
貯金ハ預入レノ翌日ヨリ起算シ拂戻ノ前日迄ノ日數ヲ計算シテ利息ヲ付スルモノトス
貯金ノ利息ハ理事ニ於テ別ニ定メタルモノヲ除クノ外毎年九月末及三月末ノ兩度ニ之ヲ元本ニ組入ルヽモノトス

第四十五條　貸付金及貯金ノ利率ハ左ノ制限内ニ於テ理事之ヲ定ム
一、貸付金ニ付テハ八分以下
一、貯金ニ付テハ年一割以下

第四十五條ノ二　産業組合中央金庫ノ業務ノ代理ニ關シ必要ナル事項ハ理事之ヲ定ム
第四十五條ノ三　所屬組合又ハ所聯合會カ産業組合中央金庫又ハ株式會社日本勸業銀行ヨリ借入金ヲ爲サムトスル場合ニ於テ本會ニ債務ノ保證ヲ請求セムトスルトキハ豫メ借入金額用途利率償還ノ方法及其他ノ條件ヲ記載シタル書面ヲ本會ニ提出スルコトヲ要ス
前項ノ請求アリタルトキハ理事ハ遲滯ナク信用程度ヲ調査シ其ノ諾否ヲ所屬組合又ハ所屬聯合會ニ通知スルコトヲ要ス

第四十五條ノ四　本會カ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ爲ス債務保證ノ限度ハ總代會ニ於テ之ヲ定ム
第四十五條ノ五　本會カ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ産業組合中央金庫又ハ株式會社日本勸業銀行ニ對シ債務ノ保証ヲ爲シタルトキハ保証金額ノ千分ノ十以内ニ於テ理事ノ定メタル手數料ヲ徵收スルモノトス

第四十六條　本會ノ餘裕金ハ産業組合中央金庫郵便局又ハ總會代ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入ルヽモノトス
但シ餘裕金ノ一部ヲ以テ第十八條ノ規定ニ依ル有價証券ヲ購入スルコトヲ得
前項但書ノ場合ニ於テハ監事ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

第四十七條　事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章　剩餘金處分及損失塡補

第四十八條　剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ尚殘餘アルトキハ配當金、特別積立金役職員退職給與積立金記念積立金役職員ノ報酬賞與又ハ繰越金ト爲スモノトス
配當金ハ拂込濟出資額ニ應シ其ノ率ハ年六分以下トス
前項ノ配當金ノ計算ニ付テハ圓位未滿ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス
第四十九條　損失ノ塡補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章　加入及脫退

第五十條　本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ左ニ揭クル書類ヲ添付シテ理事ニ差出スコトヲ要ス
一、定款ノ謄本
二、最近ニ作成シタル貸借對照表
三、産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議錄ノ謄本
申込書ニハ設立許可ノ年月日竝理事、監事ノ氏名、住所ヲ記載スルコトヲ要ス
理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ加入金及出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬組合及所屬聯合會名簿ニ記載スルコトヲ要ス

前項ノ加入金ハ申込ノ月次ニ應シ理事之ヲ定ム

第五十一條　持分ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テハ事理ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受ケムトスルモノカ所屬組合又ハ所屬聯合會ニ非サルトキハ加入金及出資ノ拂込ヲ爲サシメルノ外前條ノ規定ヲ準用ス

第五十二條　所屬組合又ハ所屬聯合會カ出資口數ヲ增加セムトスルトキハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス
前項ノ場合ニ於テハ增加口數ニ應シ加入金ト同額ノ增口金ヲ差出スモノトス但シ讓受ニ依ル增口ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條　所屬組合又ハ所屬聯合會カ脫退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末六箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第五十四條　所屬組合又ハ所屬聯合會カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總代會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一、出資ノ拂込、過怠金ノ納付、貸付金ノ辨償又ハ利息ノ支拂ヲ怠リ期限後一箇月以内ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ

二、本會ノ事業ヲ妨クル所爲アリタルトキ

三、信用ヲ失ヒタルトキ

第五十五條　所屬組合又ハ所屬聯合會脫退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス但シ滿期解散又ハ合併ノ目的ヲ以テ解散スル爲ニ脫退シタルモノト認メタル事由ニ依リ脫退シタル組合又ハ聯合會ニ對シテハ總代會ニ於テ止ムコトヲ得サル前條ノ規定ニ依リ除名セラレタル組合又ハ聯合會ニ對スル持分ノ拂戻ハ總代會ノ決議ニ依リ其ノ拂込濟出資額ノ半額迄減スルコトヲ得

第七章　解散

第五十六條　本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人トナル

第八章　附則

第五十七條　定款變更ニ依リ新ニ就任シタル理事ノ任期ハ現任理事ノ任期ニ依ルモノトシ監事及總代ノ任期ハ現任者ヨリ之ヲ施行スルモノトス

有限責任新潟縣販賣購買利用組合聯合會定款

大正十年四月十四日許可
大正十一年六月十九日改正
大正十一年十月十日改正
大正十二年十二月廿八日改正
大正十四年三月廿六日改正
大正十五年十一月廿日改正
昭和二年九月三十日改正
昭和三年十月五日改正

第一章　總則

第一條　本會ハ左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス

一、所屬組合ノ販賣スル物ヲ買取リ若ハ其ノ委託ヲ受ケ之ニ加工シ又ハ加工セスシテ販賣スルコト

二、所屬組合ノ購買スル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ所屬組合ニ賣却スルコト

三、所屬組合ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト

四、農業倉庫業法ニ依リ聯合農業倉庫ヲ經營スルコト

第二條　本會ハ有限責任新潟縣販賣購買利用組合聯合會ト稱ス

第三條　本會ノ組織ハ有限責任トス

第四條　本會ノ區域ハ新潟縣一圓トス

第五條　本會ハ主タル事務所ヲ新潟縣長岡市城內町二丁目七百五十番地ノ一（聯合農業倉庫本庫第一號）ニ置キ從タル事務所ヲ左記ニ置ク

長岡市城內町二丁目八百七番地ノ一（聯合農業倉庫本庫第二號）
新潟市東仲通リ一番町八十八番地（聯合農業倉庫新潟支庫兼新潟事務所）
高田市桶屋町二十五番地（聯合農業倉庫高田支庫兼高田事務所）
東京府豐多摩郡千駄ヶ谷町大字千駄ヶ谷字厩通リ九百八十二番地（昭和四年八月變更）
本會ハ必要ニ應シ樞要地ニ出張所ヲ設クルコトヲ得

第六條　所屬組合ハ本會ノ區域內ニ主タル事務所ヲ有スルモノニ限ル

第七條　本會ノ財產ニ對スル所屬組合ノ持分ハ其ノ拂込濟出資額ニ應スルモノトス但シ各種設備減價償却積立金、職員給與基金ハ持分ニ算入セス

第八條　所屬組合カ左ノ事項ニ變更アリタルトキ又ハ總會ノ決議若ハ承認ヲ經タルトキハ遲滯ナク本會ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

一、定款

二、出資ノ總口數及拂込タル出資ノ總額

三、理事、監事ノ住所氏名

四、財產目錄、貸借對照表、事業報告書、剩餘金處分案

第九條　產業組合法ニ基ク公告ハ所轄裁判所ノ指定スル新聞紙ニ揭載スルモノトス

第二章　出資及積立金

第十條　出資一口ノ金額ハ金五百圓トス

第十一條　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金壹百圓トス

第十二條　第一回後ノ出資拂込ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外毎年一回宛拂込ミ五箇年ヲ以テ全額ヲ拂込ムモノトス

前項拂込ノ金額及方法ハ理事之ヲ定メ少クトモ拂込期日二十日前ニ書面ヲ以テ所屬組合ニ通知スルモノトス

第十三條　出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付拂込ムヘキ金額ノ二百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵收ス

第十四條　本會ハ出資總額ト同額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金ニ積立ツルモノトス

第十五條　加入金、增口金、過怠金及第五十八條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲サヽル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ルヽモノトス

第十六條　剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ殘餘アルトキハ特別積立金及職員給與基金ヲ積立ツルコトヲ得

本會ハ聯合農業倉庫ノ建築、改築若ハ條繕又ハ買入費用其他各種ノ設備ニ對シ公共團体等ヨリ受ケタル補助金額ハ其儘之ヲ各種設備減價償却積立金ト爲スモノトス

第十七條　特別積立金ハ損失塡補ニ充ツルノ外總會ノ決議ニ依ル臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

職員給與基金ハ本會職員ニシテ退職死亡其他ノ場合ニ於テ支拂ヲ要スル場合ノ支出ニ充當スルモノトス但シ支出方法ハ理事之ヲ定ム

第十八條　準備金、特別積立金及各種設備減價償却積立金、職員給與基金ハ信用組合聯合會又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入レ若ハ之ヲ以テ左ノ有價證券ヲ買入ルヽノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總會ノ決議ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

一、國庫證券

一、地方債證券

一、勸業債券

其ノ他總會ノ承認ヲ經タル社債券

第三章　機關

第十九條　本會ニ理事十一名、監事七名ヲ置ク

理事ハ會長一名、常務理事一名ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長事故アルトキハ常務理事之ニ代リ常務理事事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其代表者一名ヲ定ム

第二十條　理事ノ任期ハ三箇年、監事ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

會長及常務理事ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍ホ其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十一條　辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ俟ツニト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ招集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十二條　總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ每年一回年度經過後二箇月以內ニ之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、理事カ必要ト認メタルトキ

二、監事カ財產ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不正ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スルタメ必要ト認メタルトキ

三、所屬組合ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其ノ招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第二十三條　總會ノ招集ハ少クトモ七日前ニ書面ヲ以テ所屬組合ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十四條　所屬組合ハ本會ノ總會ニ出席セシムルタメ理事ノ互選ニ依リ代表者副代表者各一名ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス其ノ代表者副代表者ニ變更アリタル場合亦同シ

副代　者ハ代表者カ本會ノ總會ニ出席スルコト能ハサル場合ニ於テ之ニ代ルモノトス

第二十五條　總會ハ所屬組合ノ代表者半數以上出席スルニ非ラサレハ開會スルコトヲ得ス若シ半數ニ充タサルトキハ十日以内ニ更ニ招集シ出席シタル代表者ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於ケル決議ハ出席シタル代表者ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

定款ノ變更、理事、監事ノ選任及解任、除名、解散及組織ノ變更ヲ來サール合併ノ決議ハ所屬組合ノ代表者半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス但シ定數ノ同意ヲ得サルトキハ之ヲ再議ニ附シ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第二十六條　總會ハ第二十二條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ豫メ通知ヲ爲シタル事項ノ外特ニ急速ヲ要シ又ハ輕微ノ事項ニ限リ議題ニ供シ議決ヲ爲スコトヲ得但シ再度招集ノ總會ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條　總會ノ議長ハ第二十二條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外會長之ニ當ル會長事故アルトキハ常務理事之ニ代リ仍ホ常務理事事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

第二十八條　總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十九條　理事及事監ハ名譽職トス但シ總會ノ決議ニ依リ報酬又ハ手當ヲ支給スルコトヲ得

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第三十條　理事ハ總會ノ決議ヲ經テ學識經驗ヲ有スル者又ハ特別ノ技能アル者ニ顧問又ハ協議員ヲ委囑スルコトヲ得

顧問、協議員ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ組合ノ事業ニ付意見ヲ開陳スルモノトス

第三十一條　本會ニ主事、書記及技術員ヲ置キ會長之ヲ任免ス

主事及書記ハ理事、監事ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

技術員ハ理事ノ指揮ヲ受ケ技術ニ關スル事務ニ從事ス

第四章　事業ノ執行

第一節　通則

第三十二條　本會ノ事業年度ハ毎年七月一日ニ始マリ翌年六月三十日ニ終ル

第三十三條　本會ノ餘裕金ハ信用組合聯合會又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ之ヲ預ケ入ルヽモノトス

第三十四條　理事、監事ハ何時ニテモ所屬組合ノ事業ノ狀況ヲ調査シ又ハ帳簿ノ閲覽ヲ爲スコトヲ得

第三十五條　事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第二節　販賣之部

第三十六條　本會ニ於テ販賣スル物左ノ如シ

一、米、繭、果實、蔬菜、木炭、藁工品、種苗、家畜

二、其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物

第三十七條　本會ニ於テ加工スヘキ物及其ノ方法左ノ如シ

一、米ノ精白

二、其ノ他總會ニ於テ決議シタル物及方法

第三十八條　所屬組合ヨリ物ノ引渡ヲ受ケタルトキハ理事ハ其ノ品等及數量ヲ査定シ之ヲ所屬組合ニ通知スルコトヲ要ス品等査定ノ標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三十九條　所屬組合ハ本會ニ物ヲ引渡シタルトキハ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得ス

第四十條　所屬組合ハ本會ニ物ヲ引渡シタルトキハ代價又ハ時期ヲ指定スルコトヲ得

分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ利息ヲ付スルモノトス其ノ利率ハ百圓ニ付日歩四錢以内ニ於テ理事之ヲ定ム

第四十一條　販賣シタル物ノ代價ハ其ノ數量及品等ニ應シ遲滯ナク之ヲ所屬組合ニ拂渡スモノトス

假渡金及其ノ利息、販賣歩合金並ニ第四十三條ノ規定ニ依ル手數料ハ代金拂渡ノ時差引計算スルモノトス

第四十二條　本會ハ所屬組合ノ委託物ニ付拂渡ス ヘキ代金又ハ取扱ヒタル數量ニ應シ總會ノ定メタル歩合金ヲ徴收ス

第四十三條　受託物中本會ニ於テ調製倭裝其ノ他特殊ノ勞費ヲ加ヘタルモノニ付テハ其手數料ヲ徴收ス

前項ノ手數料ハ理事之ヲ定ム

第四十四條　受託物受取後ノ危險ハ本會ノ負擔トス但シ變質、鼠喰、虫害、其ノ他不可抗力ノ損害ハ此ノ限リニ在ラス

第三節　購買之部

第四十五條　本會ニ於テ購買スル物左ノ如シ

一、肥料、種苗、農具、家畜、蠶具、藥品、飼料

二、米、食鹽、油類、綿絲、綿、眞棉、砂糖、木炭、酒類、醬油、麺類、茶、傘類、下駄類、莫大小類

三、其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物

第四十六條　本會ニ於テ生産又ハ加工スル物及其ノ方法左ノ如シ

一、肥料ノ生産

二、肥料ノ調合及加工

三、其ノ他總會ニ於テ決議シタル物及方法

第五十七條　理事ハ所屬組合ノ需要ヲ調査シ又ハ其注文ニ應シ取扱物ヲ便宜購買スルモノトス

第四十八條　所屬組合ニ賣却スル物ノ代價ハ市價ヲ標準トシテ理事之ヲ定ム

理事ハ必要ト認ムルトキハ時期ヲ指定シテ所屬組合ニ注文物ノ見積代金ノ一部ヲ提供セシムルコトヲ得

第四十九條　所屬組合カ本會ヨリ物引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス

所屬組合カ物ノ引取ヲ遲延シ又ハ之ヲ引取ラサル爲ニ生シタル損害ハ其所屬組合ノ負擔トス

第五十條　所屬組合ハ物引取ト同時ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ止ムコトヲ得サル事由アルトキハ代金支拂ノ延期ヲ承諾スルコトヲ得

前項但書ノ場合ハ利息ヲ付スルモノトス其ノ利率ハ百圓ニ付日歩四錢以内ニ於テ理事之ヲ定ム

第四節　利用之部

第五十條ノ二　本會ニ於テ設備スルモノ左ノ如シ

一、倉庫及附屬設備

二、運輸及附屬設備

三、産業用機械機具

四、其ノ他總會ノ決議ヲ經タルモノ

第五十條ノ三　設備利用ニ關スル方法ハ理事之ヲ定ム

第五節　聯合農業倉庫之部

定五十條ノ四　第一條第四號ノ業務ハ別ニ定ムル所ノ聯合農業倉庫業務規定ニ依リ之ヲ行フ

前項ノ規定ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第五章　剰餘金處分及損失塡補

第五十一條　剰餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後特別積立金、職員給與基金、配當金、特別配當金、役員ノ報酬、役職員ノ賞與、後年度繰越金等ニ處分スルモノトス

配當金ハ所屬組合ノ拂込濟出資額ニ應シ其ノ率ハ年六分以下トス

特別配當金ニ對シテハ其ノ年度ニ於テ所屬組合カ本會ヲ經テ販賣シ並ニ本會ヨリ購買シタル物ノ價額及本會ニ支拂ヒタル利用料ノ額ヲ合算シタル金額ニ應スルモノトス但シ總會ノ決議ニ依リ販賣購買シタル物ノ價額並ニ利用料ニ對スル配當ノ率ハ物及設備ノ種類ニ依リ之ヲ異ニスルコトヲ得

第五十二條　損失ノ塡補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章　加入及脫退

第五十三條　本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ加入金及左ニ揭クル書類ヲ添付シテ理事ニ差出スコトヲ要ス

一、定款

二、最近試算表
三、産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議錄ノ抄本
申込書ニハ設立許可ノ年月日並理事、監事ノ氏名住所ヲ付記スルコトヲ要ス
理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬組合
名簿ニ記載スルコトヲ要ス
加入金ノ額ハ第一年度ハ理事之ヲ定メ爾後ハ毎年通常總會ニ於テ之ヲ定ム
第五十四條　持分ヲ讓渡セムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス
持分ヲ讓受ケムトスル者カ所屬組合ニ非サルトキハ加入金及出資拂込ヲナサシメサルノ外前條ノ規定ヲ
準用ス
第五十五條　所屬組合カ增口ヲナサムトスルトキハ第五十三條ノ規定ヲ準用ス
增口金ノ額ハ加入金ノ額ニ同シ
第五十六條　所屬組合カ脫退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末六箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告ス
ルコトヲ要ス
第五十七條　所屬組合カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス
一、出資ノ拂込、過怠金ノ納付、利息又ハ購買物代金手數料並利用料ノ支拂ヲ怠リ期限後一箇月以內ニ
其ノ義務ヲ履行セサルトキ
二、本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ
三、信用ヲ失ヒタルトキ
第五十八條　所屬組合脫退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス但シ總會ニ於
テ止ムコトヲ得サル事由アリト認メタルトキハ持分ノ全部ヲ拂戻スルモトス
前條ノ規定ニ依リ除名セラレタル組合ニ對スル持分ノ拂戻ハ其拂込濟出資額ノ半額トス

第七章　散　解

第五十九條　本會解散シタルトキハ理事其ノ精算人ト爲ル

第八章　附　則

第六十條　區域擴張後第一回ノ臨時總會ニ於テ現ニ其ノ職ニ在ル理事及監事ハ之ヲ解任ス新ニ就任シタル
理事及監事ノ任期ハ前任者ノ殘任期トス
第六十一條　昭和二年九月十四日開催ノ通常總會ニ於テ改選シ新ニ就任シタル理事ノ監事ハ任期ハ昭和五
年七月三十一日監事ハ昭和四年七月三十一日ヲ以テ滿期トス

有限責任何々信用販賣購買利用組合定款

（用紙ハ美濃紙罫紙）

（農務局調査）

第一章　總　則

第一條　本組合ハ左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス
一、組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二、組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者、公
共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三、加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
四、組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スル
コト
五、組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ
之ヲ生產シテ組合員ニ賣却スルコト
六、組合員ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト

七、農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト
前項第六號ノ設備中電氣設備、水道、浴場、種畜及乾繭裝置ハ組合員ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限リ組合員タルコトヲ得サル者ニモ之ヲ利用セシムルコトヲ得

第二條　本組合ハ有限責任何々信用販賣購買利用組合ト稱ス

第三條　本組合ノ組織ハ有限責任トス

第四條　本組合ノ區域ハ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第五條　本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村ニ設置シ且獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限ル加入豫約者ノ資格亦同シ

第七條　組合員又ハ加入豫約者ハ本組合ト同一ノ目的ヲ有スル他ノ產業組合ニ加入シ又ハ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス但シ理事ノ承諾ヲ經タル場合ハ此ノ限リニ在ラス

第八條　組合原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ屆出ハ毎年十二月三十一日ニ取纏メ其ノ後二週間內ニ之ヲ爲ス

第九條　產業組合法ニ依ル公告ハ本組合ノ揭示場ニ揭示シ且何新聞ニ揭載シテ之ヲ爲ス

第十條　本組合ノ財產ニ對スル組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

一、出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス

二、準備金ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

三、其ノ他ノ財產ニ對シテハ本組合解散當時ノ組合員ニ限リ持分ヲ有シ其ノ割合ハ平等トス

本組合ニ損失アリ準備金ヲ以テ塡補シタルトキハ之ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス

本組合財產カ出資總額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス

第一項第二號ノ持分計算ニ付テハ圓位未滿ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス

第二章　出資及積立金

第十一條　出資一口ノ金額ハ金參拾圓トス

第十二條　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金參圓以上トス

第十三條　第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年一月末七月末迄ニ金參圓以上宛拂込ムモノトス

第十四條　出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ二百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵收スルモノトス

第十五條　本組合ハ出資總額ト同額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十六條　加入金、增口金、過怠金及拂戻ヲ爲ササル持分額ハ之ヲ準備金ニ組入ルル

モノトス

第十七條　本組合ハ剰餘金ヨリ特別積立金ヲ積立ツルコトヲ得
本組合ハ農業倉庫ノ新築、增築、改築、移築又ハ買入レノ費用ニ對シ補助金ヲ受ケタルトキハ之ヲ農業倉庫減價償却積立金トシテ積立ツルモノトス
本組合ハ職員退職給與積立金ヲ積立ツルコトヲ得

第十八條　準備金及特別積立金ハ損失ノ塡補ニ充ツルモノトス但シ特別積立金ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得
農業倉庫減價償却積立金ハ農業倉庫ノ減價償却ニ充ツルモノトス
職員退職給與積立金ハ總會ノ承認ヲ經テ職員ノ退職給與金ニ充ツルモノトス

第三章　機關

第十九條　本組合ニ理事五名、監事三名ヲ置ク
理事ハ組合長一名、專務理事一名ヲ互選ス
第二十條　組合長ハ事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス、組合長事故アルトキハ專務理事之ニ代リ組合長及專務理事共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ一名之ニ代ル
專務理事ハ組合長ヲ補佐シ組合事務ヲ掌理ス
第二十一條　理事ノ任期ハ三箇年トシ、監事ノ任期ハ三箇年トス但シ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍在任スルモノトス

組合長及專務理事ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ
補缺選擧ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス
第二十二條　辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ缺員ヲ生シタルトキハ通常總會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ招集シ補缺選擧ヲ爲スモノトス
總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ決議シタルトキハ同時ニ其ノ補缺選擧ヲ爲スコトヲ要ス
第二十三條　理事及監事ハ名譽職トス但シ專務理事ハ之ヲ有給トス
理事及監事ニハ總會ノ決議ニ依リ報酬手當又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得
第二十四條　通常總會ハ每年一回一月之ヲ開ク
臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク
一、理事カ必要ト認メタルトキ
二、監事カ財產ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之カ總會ニ報告スル爲メ必要ト認メタルトキ
三、理事ノ缺ケタルトキ
四、總組合員ノ五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ組合員ヨリ總會招集ノ請求アリタルトキ

第二十五條　總會ノ招集ノ會日ヨリ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ各組合員ニ對シテ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ其ノ會議ノ目的タル事項ヲ記載シ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十六條　總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

總會ノ決議ハ出席シタル組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ理事若ハ監事ノ選任又ハ解任、定款ノ變更、組合員ノ除名、解散及組織變更ノ件ハサル合併ノ決議ハ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

總會ニ於テハ豫メ通知ヲ爲シタル事項ノ外特ニ急速ヲ要シ且輕微ノ事項ニ限リ議題ニ供シ議決ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ムルコトヲ得

第二十八條　組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第二十九條　總會ニ於テハ決議錄ヲ作リ開會ノ時期、場所、總組合員數出席者ノ員數及會議ノ顚末ヲ記載スルコトヲ要ス

決議錄ニハ議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十條　總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十一條　本組合ニ信用評定委員何名ヲ置キ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

信用評定委員ノ任期ハ一箇年トス

第三十二條　信用評定委員ハ總會ノ決議ニ依リ何時ニテモ解任スルコトヲ得

信用評定委員ノ選任及解任ニ關シテハ理事及監事ノ例ニ依ル

第三十三條　信用評定委員ハ一月定會ヲ開キ組合員各自ノ信用ヲ評定シ信用程度表ヲ作成ス

信用程度表ハ組合長之ヲ保管ス

第三十四條　第二十三條ノ規定ハ信用評定委員ニ之ヲ準用ス

第三十五條　本組合ニ世話係何名ヲ置キ組合員中ヨリ組合長之ヲ囑託ス

世話係ハ理事ノ指揮ヲ承ケ事業執行上ノ補佐ヲ爲スモノトス

第三十六條　本組合ニ事務員何名ヲ置キ組合長之ヲ任免ス

事務員ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第三十七條　本組合ニ技術員何名ヲ置キ組合長之ヲ任免ス

技術員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ取扱物件ノ檢査其ノ他ノ技術ニ從事ス

第三十八條　組合長ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ技能アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得

協議員ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ組合ノ事業ニ付理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第四章　事業ノ執行

第一節　通則

第三十九條　本組合ノ事業年度ハ曆年ニ依ル

第四十條　本組合ノ餘裕金ハ產業組合中央金庫有限責任新潟縣信用組合聯合會、郵便局若ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券、地方債證券、復興貯蓄債券、產業債券、勸業債券、興業債券、北海道拓殖債券若ハ農工債券ヲ買入ルノ外他ニ之ヲ運用スルコトヲ得ス但シ所有シ得ヘキ有價證券ノ額ハ國債證券及地方債證券ヲ除キ準備金其ノ他ノ積立金ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十一條　事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第二節　信用

第四十二條　貸付ハ資金ノ用途及信用程度ヲ考査シ其ノ金額及貸付ノ方法ヲ定ムルモノトス

第四十三條　理事貸付ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ保証人ヲ立テシメ又ハ擔保ヲ供セシムルモノトス

第四十四條　貸付金ノ辨濟期限ハ一箇年內ニ於テ之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ三箇年內ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

土地、倉庫、機械、器具、工場、家屋其ノ他ノ設備ニ要スル固定資金及舊債償還資金ニ限リ特別ノ事由アルトキハ十箇年內ノ割賦償還ノ方法ニ依リ貸付スルコトヲ得

第四十五條　聯合農業倉庫証券又ハ農業倉庫証券ヲ擔保トスル貸付ハ証券記載物品ノ時價ノ十分ノ八以內トシ其ノ貸付期限ハ寄託物ノ保管期限ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十六條　貸付金ノ辨濟ニ付テノ遲延利息ハ貸付金ノ利率ニ依ル

第四十七條　理事ハ貸付金使用ノ實況ヲ監査シ貸付ノ目的ニ反スルモノアリト認ムルトキハ期限前ト雖辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十八條　貯金ノ取扱ハ一回金拾錢以上トス

加入豫約者ノ貯金ハ一人ニ付出資一口ノ金額及加入金額ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十九條　貯金ノ利息ハ理事ニ於テ別ニ定メタルモノヲ除クノ外毎年五月末及十一月ノ兩度ニ之ヲ元本ニ組入ルルモノトス

第五十條　貸付金及貯金ノ利率ハ左ノ制限內ニ於テ理事之ヲ定ム

一、貸付金　年一割以下

二、貯金　年六分以下

第三節　販賣

第五十一條　本組合ニ於テ販賣スル物左ノ如シ

一、米、麥、大豆、繭、魚類

二、藁工品、麥稈眞田
三、其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物

第五十二條　本組合ニ於テ爲ス加工左ノ如シ
精穀、乾繭殺蛹

第五十三條　組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ本組合ニ於テ取扱フ物ヲ他ニ販賣スルコトヲ得ス

第五十四條　理事ハ適宜ノ時期ニ於テ各組合員ノ生產物ニ付報告ヲ徵シ又ハ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第五十五條　組合カ組合員ヨリ其ノ販賣セムトスル物ヲ受取リタルトキハ其ノ品等及數量ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス組合ニ於テ加工ヲ爲シタル場合加工後ノ物ニ付亦同シ

品等査定ノ方法及標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第五十六條　組合員ハ其ノ販賣委託物ニ付代價又ハ販賣ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第五十七條　組合員ハ組合ニ販賣委託物ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ時價ノ十分ノ八以內ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ販賣假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日歩貳錢五厘以內ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコトヲ要ス

第五十八條　組合員ニ配分スヘキ販賣代金ノ計算期ハ每年總會ニ於テ之ヲ定ム

每計算期迄ニ販賣シタル物ノ代金ハ當該計算期每ニ各品等ニ付之ヲ計算シ組合員カ委託シタル物ノ數量ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス

第五十九條　一計算期迄ニ受取リタル物ニシテ當該計算期迄ニ賣却スルコト能ハサリシ物ニ付テハ其ノ後ニ賣却シタル同品等物ノ代金中ヨリ先ツ其ノ代金ヲ配分スルモノトス

第六十條　本組合カ受託物ノ販賣ヲ爲シタルトキハ委託者ヨリ總會ニ於テ定メタル販賣歩合金ヲ徵收スルモノトス

第六十一條　受託物中組合ニ於テ精穀、乾繭、調製、俵裝其ノ他特殊ノ勞費ヲ加ヘタル物ルニ付テハ別ニ手數料ヲ徵收スルモノトス

前項ノ手數料ハ總會ノ決議シタル節圍內ニ於テ理事之ヲ定ム

第六十二條　販賣假渡金竝其ノ利息、販賣歩合金及前條ノ手數料ハ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス

第四節　購買

第六十三條　本組合ニ於テ購買スル物左ノ如シ

一、肥料、家畜、家禽、種苗、蠶種、種卵、漁網、產業用機械、農業用地
二、米、麥、雜穀、味噌、醬油、罐詰、砂糖、酒類、、乾物類、茶、織物類、莫大

小類、糸類、雨具類、履物類、紙類、金物類、文房具類、小間物類、荒物類、薪炭、石炭、家具及其ノ他ノ材料

三、塩、石油、石灰

四、其ノ他總會ノ決議ヲ經タルモノ

第六十四條　本組合ニ於テ爲ス加工又ハ生産左ノ如シ

一、精穀、肥料ノ配合、蠶種ノ催青、稚蠶ノ飼育、製網、味噌又ハ醬油ノ醸造、家具ノ製作

二、家畜、家禽、種卵又ハ種苗ノ生産

第六十五條　理事ハ組合員ノ註文ニ應シ賣却スヘキ物及其ノ材料ヲ買入レ又ハ生産スルモノトス但シ取扱物品ノ種類ニ依リ便宜買入レ又ハ生産スルコトヲ得

第六十六條　組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ本組合ニ於テ取扱フ物ヲ本組合外ヨリ購買スルコトヲ得ス

第六十七條　購買ノ申込多數ノ場合ニ於ケル賣却ノ順位又ハ數量ハ申込人ノ購買必要ノ程度等ヲ參酌シテ理事之ヲ定ム

第六十八條　組合員ニ賣却スルモノ代價ハ市價ヲ標準トシ理事之ヲ定ム

第六十九條　理事ハ必要アリト認ムルトキハ時期ヲ指定シ組合員ヲシテ其ノ註文シタル物ノ見積代金ノ全部又ハ一部ヲ前納セシムルコトヲ得

第七十條　組合員ハ組合ヨリ購買物件引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ一週間内ニ引取リヲ爲ササルトキハ賣却代金ノ十分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收スルモノトス此ノ場合ニ於テハ本組合ニ於テ其ノ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ妨ケス

第七十一條　組合員ハ購買物件ト引換ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ特別ノ事由アルトキハ理事ノ承諾ヲ經テ農業用地及産業用機械ニ付テハ十箇年内ノ割賦支拂其ノ他ノ物件ニ付テハ六箇月内ノ延納ヲ爲スコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ百圓ニ付日歩貳錢五厘以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ徴收スルモノトス

第七十二條　前條第一項但書ノ規定ニ依リ代金ノ割賦支拂又ハ延納ヲ承諾スル場合ニ於テハ第四十三條ノ規定ヲ準用ス

第七十三條　本組合ヨリ購買シタル農業用地ヲ他ニ讓渡セムトスル場合ニハ豫メ理事ニ申出ツルコトヲ要ス

第五節　利用

第七十四條　本組合ニ於テ設備スルモノ左ノ如シ

一、脫穀機、大豆粕粉碎機、發動機、揚水機、倉庫、農業用地、種苗、乾繭裝置

二、水道、浴場、集會場及其ノ附屬設備、理髮設備、冠婚葬祭用具、接待用具、醫療設備、助產婦

三、電氣設備、精穀機、製粉機

第七十五條　第四十三條及第六十七條ノ規定ハ設備利用ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十六條　組合員ハ設備ノ利用ニ對シ利用料ヲ支拂フコトヲ要ス

利用料ハ毎年總會ニ於テ決議シタル範圍內ニ於テ理事之ヲ定ム

利用中設備ヲ損傷シ又ハ之ヲ喪失シタルトキハ理事ノ定ムル辨償金ヲ支拂フコトヲ要ス

第七十七條　前條ノ利用料ハ理事ニ於テ別ニ定メタルモノヲ除ク外一箇月毎ニ之ヲ計算シ其月末日迄ニ辨償金ハ理事ノ請求ヲ爲シタル日ヨリ二週間內ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス

前項ノ支拂ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ支拂フヘキ金額ノ千分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵收スルモノトス

第七十八條　組合ハ設備利用ノ實況ヲ調査シ利用ノ條件ニ反スルモノアリト認ムルトキハ其ノ利用ヲ一時停止シ又ハ其ノ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第七十九條　第一條第二項ノ規定ニ依リ設備ヲ利用セシムル者ハ第六條ノ規定ニ該當セス若ハ出資ノ能力ナキ爲メ組合員タルコトヲ得サル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限ル

一、本組合ノ區域內ニ居住スル者

二、本組合ノ區域內ニ於テ家屋物件ヲ所有シ使用シ又ハ占有シ之カ爲メ設備ヲ利用スル必要アル者

種畜ニ在リテハ前各號ニ該當セサル者ト雖之ヲ利用セシムルコトヲ得

第八十條　第七十五條乃至第七十八條ノ規定ハ第一條第二項ノ規定ニ依リ設備ヲ利用シセシムル場合ニ於ケル利用料ハ實費ノ範圍內ニ於テ理事之ヲ定メ利用ノ順位ハ組合員ノ利用ニ優先スルコトヲ得ス

第六節　農業倉庫業務規程

第八十一條　第一條第七號ノ業務ハ農業倉庫業務規程ノ定ムル所ニ依リテ之ヲ行フ前項ノ規程ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第五章　剩餘金處分竝損失ノ塡補

第八十二條　剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ尙殘餘アルトキハ事業ノ分量ニ對スル配當金、拂込ミタル出資額ニ對スル配當金、特別積立金、農業倉庫減價償却積立金、役員賞與金、職員退職給與積立金又ハ繰越金ト爲スモノトス

第八十三條　事業ノ分量ニ對スル配當ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル事業年度ノ各種事業ノ成績ヲ參酌シ當該年度ニ於ケル貯金若ハ貸付金ノ利息、販賣歩合金、利用料、保管

料又ハ購買物件賣却價額ニ應スルモノトス但シ配當ノ率ハ其ノ計算ノ基礎トナルヘキモノノ種類ニ依リ之ヲ異ニスルコトヲ得

拂込ミタル出資額ニ對スル配當ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合員ノ拂込出資額ニ應シ其ノ率ハ年六分以下トス

前二項ノ配當金ノ計算ニ付テハ圓位未滿ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス

第八十四條　損失ノ塡補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス但シ總會ノ決議ニ依リ特別積立金及準備金ヲ以テ塡補スルコトヲ得

第六章　加入、增口及脫退

第八十五條　新ニ組合員タラムトスル者又ハ出資口數ヲ增加セムトスル者ハ申込書ニ加入金五拾錢又ハ增口金五十錢ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス但シ第一年度ニ於テハ加入金又ハ增口金ヲ徵收セス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込人ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載スルモノトス

加入又ハ增口ノ効力ハ出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス但シ第八十六條第二項、第八十八條及九十條ノ場合ハ加入承諾ノ通知ヲ發シタルトキトス

第八十六條　加入豫約ノ申込アリタルトキハ理事ハ其ノ許否ヲ決シ申込人ニ其ノ旨ヲ通知スルモノトス

前條第一項及第二項ノ規定ハ加入豫約者ヲ組合ニ加入セシムル場合ニ之ヲ準用ス但シ此ノ場合ニ於テハ加入豫約者ノ貯金ハ其ノ全部ヲ出資及加入金ノ拂込ニ充ツルコトヲ要ス

第八十七條　加入豫約者カ第九十一條第六號又ハ第七號ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ豫約ノ解除ヲ爲スモノトス

第八十八條　持分ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルヲコトヲ要ス

持分ヲ讓受ケムトスル者カ組合員ニ非サルトキハ出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外第八十五條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

第八十九條　組合員脫退セムトスルトキハ其ノ事業年度末六箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第九十條　死亡ニ因リ脫退シタル組合員ノ相續人カ直ニ加入セルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サス被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノトス但シ此ノ場合ニ於テハ加入金ヲ徵收セス

第九十一條　組合員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リテ之ヲ除名ス

一、出資ノ拂込、過怠金ノ納付、貸付金ノ辨濟、購買物件賣却代金、利用料、辨償金若ハ利息ノ支拂ヲ怠リ一箇月內ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ

二、自己ノ生產物ニ非サル物ノ販買ヲ委託シタルトキ

三、第五十三條、又ハ第六十六條ノ規定ニ違背シテ物ヲ販賣又ハ購買シタルトキ
四、理事ノ承諾ヲ經スシテ組合ヨリ購買シタル物件ヲ他ニ轉賣シタルトキ
五、組合ノ設備ヲ他人ニ利用セシメタルトキ
六、組合ノ事業ヲ妨クル所爲アリタルトキ
七、犯罪其ノ他信用ヲ失フヘキ所爲アリタルトキ

第九十二條　組合員脫退シタル場合ニ於テ拂戻スヘキ持分ノ額ハ其ノ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス但シ除名ニ因ル場合ニ於テハ其ノ拂込出資額ノ半額ニ止ムルモノトス

第七章　解散

第九十三條　本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ總會ノ決議ニ依リ組合員中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第八章　附則

第九十四條　本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ改選ス

理事　何　某
理事　何　某
理事　何　某

無限責任
有限責任　何々信用販賣購買利用組合定款
保証責任

（用紙ハ美濃紙鼻紙）

理事　何　某
理事　何　某
監事　何　某
監事　何　某
監事　何　某

第一章　總則

第一條　本組合ハ左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス

一、組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二、組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一家ニ在ル者、公共團体又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團体ノ貯金ヲ取扱フコト
三、加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
四、組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
五、組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ

之ヲ生産シテ組合員ニ賣却スルコト

六、組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト

七、農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト

前項第六號ノ設備中電氣設備、水道、浴場、種畜及乾繭裝置ハ組合員ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限リ組合員タルコトヲ得サル者ニモ之ヲ利用セシムルコトヲ得

第二條　本組合ハ無限責任有限責任保証責任何々信用販買購買利用組合ト稱ス

第三條　本組合ノ組織ハ無限責任有限責任保証責任トス

「保証金額ハ出資一口ニ付何圓トス」(「」)内ハ保証責任組合ニ限ル)

第四條　本組合ノ區域内ハ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第五條　本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何ス

第六條　組合員ハ本組合區域内ニ居住シ且獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限ル加入豫約者ノ資格亦同シ

第七條　組合員又ハ加入豫約者ハ本組合ト同一ノ目的ヲ有スル他ノ産業組合ニ加入シ又ハ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス但シ理事ノ承諾ヲ經タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　組合原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ届出「及組合原簿ノ提出」ハ毎年十二月三十一日ニ取纏メテ其ノ後二週間内ニ之ヲ爲ス(「」)内ハ無限責任組合及保証責任組合ニ限ル)

第九條　産業組合法ニ依ル公告ハ本組合ノ掲示場ニ掲示シ且何新聞ニ掲載シテ之ヲ爲ス

第十條　本組合ノ財産ニ對スル組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

一、出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

二、準備金ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ算定ス

三、其ノ他ノ財産ニ對シテハ本組合解散當時ノ組合員ニ限リ持分ヲ有シ其ノ割合ハ平等トス

本組合ニ損失アリ準備金ヲ以テ塡補シタルトキハ之ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス

本組合財産カ出資總額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス

第一項第二號ノ持分計算ニ付テハ圓位未滿ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス

第二章　出資及積立金

第十一條　出資一口ノ金額ハ金何圓トス

第十二條　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金何圓以上トス

第十三條　第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一

口毎ニ毎年一月末及七月末迄ニ金何圓以上宛拂込ムモノトス

第十四條　出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ二千分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收スルモノトス

第十五條　本組合ハ出資總額ト同額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備トシテ積立ツルモノトス

第十六條　加入金、增口金、過怠金及拂戻ヲ爲ササル持分額ハ之ヲ準備金ニ組入ルルモノトス

第十七條　本組合ハ剩餘金ヨリ特別積立金ヲ積立ツルコトヲ得

本組合ハ農業倉庫ノ新築、移築、改築、又ハ買入レノ費用ニ對シ補助金ヲ受ケタルトキハ之ヲ農業倉庫減價償却積立金トシテ積立ツルモノトス

本組合ハ職員退職給與積立金ヲ積立ツルコトヲ得

第十八條　準備金及特別積立金ハ損失ノ塡補ニ充ツモノトス但シ特別積立金ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

農業倉庫減價償却積立金ハ農業倉庫ノ減價償却ニ充ツルモノトス

職員退職給與積立金ハ總會ノ承認ヲ經テ職員ノ退職給與金ニ充ツルモノトス

第三章　機關

第十九條　本組合ニ理事五名、監事三名ヲ置ク

理事ハ組合長一名專務理事一名ヲ互選ス

第二十條　組合長ハ事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス組合長事故アルトキハ專務理事之ニ代リ組合長及專務理事共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ一名之ニ代ル

專務理事ハ組合長ヲ補佐シ組合事務ヲ掌理ス

第二十一條　理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍在任スルモノトス

組合長及專務理事ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補闕選擧ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第二十二條　辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ欠員ヲ生シタルトキハ通常總會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ招集シ補欠選擧ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ決議シタルトキハ同時ニ其ノ補欠選擧ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條　理事及監事ハ名譽職トス但シ專務理事ハ之ヲ有給トス

理事及監事ニハ總會ノ決議ニ依リ報酬手當又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得

第二十四條　通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、理事カ必要ト認メタルトキ
二、監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲メ必要ト認メタルトキ
三、理事ノ缺ケタルトキ
四、總組合員ノ五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的其及招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ組合員ヨリ總會ノ請求アリタルトキ

第二十五條　總會ノ招集ハ會日ヨリ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ各組合員ニ對シテ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス
前項ノ通知書ニハ其ノ會議ノ目的タル事項ヲ記載シ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十六條　總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス
總會ノ決議ハ出席シタル組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ理事若ハ監事ノ選任又ハ解任、定款ノ變更、組合員ノ除名、解散「及組織變更ノ件ハサル合併」ノ決議ハ其ノ四分三以上ノ同意アルコトヲ要ス（無限責任組合ニ在リテハ「」ヲ削除スルコト）

第二十七條　總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル
監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル
總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ムルコトヲ得

第二十八條　組合員ハ何人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第二十九條　總會ニ於テハ決議錄ヲ作リ開會ノ時期、場所、出席者ノ員數及會議ノ顚末ヲ記載スルトコヲ要ス
決議錄ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十條　總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十一條　本組合ニ信用評定委員何名ヲ置キ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス
信用評定委員ノ任期ハ一箇年トス

第三十二條　信用評定委員ハ總會ノ決議ニ依リ何時ニテモ解任スルコトヲ得
信用評定委員ノ選任及解任ニ關シテハ理事及監事ノ例ニ依ル

第三十三條　信用評定委員ハ一月定會ヲ開キ組合員各自ノ信用ヲ評定シ信用程度表ヲ作成ス
信用程度表ハ組合長之ヲ保管ス

第三十四條　第二十三條ノ規定ハ信用評定委員ニ之ヲ準用ス

第三十五條　本組合ニ世話係何名ヲ置キ組合員中ヨリ組合長之ヲ囑託ス
世話係ハ理事ノ指揮ヲ承ケ事業執行上ノ補佐ヲ爲スモノトス

第三十六條　本組合ニ事務員何名ヲ置キ組合長之ヲ任免ス
事務員ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第三十七條　本組合ニ技術員何名ヲ置キ組合長之ヲ任免ス
技術員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ取扱物件ノ檢査其ノ他技術ニ從事ス
第三十八條　組合長ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ技能アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得
協議員ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ組合ノ事業ニ付理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第四章　事業ノ執行

第一節　通則

第三十九條　本組合ノ事業年度ハ曆年ニ依ル
第四十條　本組合ノ餘裕金ハ產業組合中央金庫有限責任何信用組合聯合會、郵便局若ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券、地方債證券、復興貯蓄債券、產業債券、勸業債券、興業債券、北海道拓殖債券若ハ農工債券ヲ買入ルルノ外他ニ之ヲ運用スルコトヲ得ス但シ所有シ得ヘキ有價證券ノ額ハ國債證券及地方債證券ヲ除キ準備金其ノ他ノ積立金ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス
第四十一條　事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第二節　信用

第四十二條　貸付ハ資金ノ用途及信用程度ヲ考查シ其ノ金額及貸付ノ方法ヲ定ムルモノトス
第四十三條　理事貸付ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ保證人ヲ立テシメ又ハ擔保ヲ供セシムルモノトス
第四十四條　貸付金ノ辨濟期限ハ一箇年內ニ於テ之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ三箇年內ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得
土地、倉庫、機械、器具、工場、家屋其ノ他ノ設備ヲ要スル固定資金及舊債償還資金ニ限リ特別ノ事由アルトキハ十箇年內ノ割賦償還ノ方法ニ依リ貸付スルコトヲ得
第四十五條　聯合農業倉庫証券又ハ農業倉庫証券ヲ擔保トスル貸付ハ証券記載物品ノ時價ノ十分ノ八以內トス其ノ貸付期限ハ寄託物ノ保管期限ヲ超ユルコトヲ得ス
第四十六條　貸付金ノ辨濟ニ付テノ遲延利息ハ貸付金ノ利率ニ依ル
第四十七條　理事ハ貸付金使用ノ實況ヲ監查シ貸付ノ目的ニ反スルモノアリト認ムルトキハ期限前ト雖辨濟ヲ爲サムシルコトヲ得
第四十八條　貯金ノ取扱ハ一回金何錢以上トスル加入豫約者ノ貯金ハ一人ニ付出資一口ノ金額及加入金額ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス
第四十九條　貯金ノ利息ハ理事ニ於テ別ニ定メタルモノヲ除クノ外毎年五月末及十一月末ノ兩度ニ之ヲ元本ニ組入ルルモノトス
第五十條　貸付金及貯金ノ利率ハ左ノ制限內ニ於テ理事之ヲ定ム

一、貸付金　年一割以下

二、貯　　金　　年六分以下

第三節　販　　賣

第五十一條　本組合ニ於テ販賣スル者左ノ如シ

一、米、麥、大豆、繭、魚類

二、蠶工品、麥稈眞田

三、其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物

第五十二條　本組合ニ於テ爲ス加工左ノ如シ

精穀、乾繭、蛹殺

第五十三條　組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ本組合ニ於テ取扱フ物ヲ他ニ販賣スルコトヲ得ス

第五十四條　理事ハ適宜ノ時期ニ於テ各組合員ノ生產物ニ付報告ヲ徵シ又ハ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第五十五條　組合カ組合員ヨリ其ノ販賣セムトスル物ヲ受取リタルトキハ其ノ品等及數量ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス組合ニ於テ加工ヲ爲シタル塲合加工後ノ物ニ付亦同シ

品等査定ノ方法及標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第五十六條　組合員ハ其ノ販賣委託物ニ付代價又ハ販賣ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第五十七條　組合員ハ組合ニ販賣委託物ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ販賣假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日歩二錢五厘以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコトヲ要ス

第五十八條　組合員ニ配分スヘキ販賣代金ノ計算期ハ毎年總會ニ於テ之ヲ定ム

毎計算期迄ニ販賣シタル物ノ代金ハ當該計算期毎ニ各品等ニ付之ヲ計算シ組合員カ委託シタル物ノ數量ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス

第五十九條　一計算期迄ニ受取リタル物ニシテ當該計算期迄ニ賣却スルコト能ハサリシ物ニ付テハ其ノ後ニ賣却シタル同品等物ノ代金中ヨリ先ツ其ノ代金ヲ配分スルモノトス

第六十條　本組合カ受託物ノ販賣ヲ爲シタルトキハ委託者ヨリ總會ニ於テ定メタル販賣歩合金ヲ徵收スルモノトス

第六十一條　受託物中組合ニ於テ精穀、乾繭、調製、俵裝其ノ他特殊ノ勞費ヲ加ヘタルモノニ付テハ別ニ手數料ヲ徵收スルモノトス

前項ノ手數料ハ總會ノ決議シタル範圍内ニ於テ理事之ヲ定ム

第六十二條　販賣假渡金竝其ノ利息、販賣歩合金及前條ノ手數料ハ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス

第六十三條　本組合ニ於テ購買スル物左ノ如シ

一、肥料、家畜、家禽、種苗、蠶種、種卵、漁網、產業用機械、農業用地

二、米、麥、雜穀、味噌、醬油、罐詰、砂糖、酒類、乾物類、茶、織物類、莫大小類、糸類、雨具類、履物類、紙類、金物類、文房具類、小間物類、荒物類、薪炭、石灰、家具及其ノ他ノ材料

三、鹽、石油、石灰

四、其ノ他總會ノ決議ヲ經タルモノ

第六十四條　本組合ニ於テ爲ス加工又ハ生產左ノ如シ

一、精穀、肥料ノ配合、蠶種ノ催靑、稚蠶ノ飼育、製網、味噌又ハ醬油ノ釀造、家具ノ製作

二、家畜、家禽、種卵又ハ種苗ノ生產

第六十五條　理事ハ組合員ノ註文ニ應シ賣却スヘキ物及其ノ材料ヲ買入レ又ハ生產スルモノトス但シ取扱物品ノ種類ニ依リ便宜買入レ又ハ生產スルコトヲ得

第六十六條　組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ本組合ニ於テ取扱フ物ヲ本組合外ヨリ購買スルコトヲ得ス

第六十七條　購買ノ申込多數ノ場合ニ於ケル賣却ノ順位又ハ數量ノ申込人ノ購買必要ノ程度等ヲ參酌シテ理事之ヲ定ム

第六十八條　組合員ニ賣却スル物ノ代價ハ市價ヲ標準トシテ理事之ヲ定ム

第六十九條　理事ハ必要アリト認ムルトキハ時期ヲ指定シ組合員ヲシテ其ノ註文シタル物ノ見積代金ノ全部又ハ一部ヲ前納セシムルコトヲ得

第七十條　組合員ハ組合ヨリ購買物件引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ一週間內ニ引取リヲ爲ササルトキハ賣却代金ノ十分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵收スルモノトス此ノ場合ニ於テハ本組合ニ於テ其ノ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ妨ケス

第七十一條　組合員ハ購買物件ト引換ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ特別ノ事由アルトキハ理事ノ承諾ヲ經テ農業用地及產業用機械ニ付テハ十箇年內ノ割賦支拂其ノ他ノ物件ニ付テハ六箇月內ノ延納ヲ爲スコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ百圓ニ付日歩二錢五厘以內ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ徵收スルモノトス

第七十二條　前條第一項但書ノ規定ニ依リ代金ノ割賦支拂又ハ延納ヲ承諾スル場合ニ於テハ第四十三條ノ規定ヲ準用ス

第七十三條　本組合ヨリ購買シタル農業用地ヲ他ニ讓渡セムトスル場合ニハ豫メ理事

ニ申出ツルコトヲ要ス

第五節　利用

第七十四條　本組合ニ於テ設備スルモノ左ノ如シ

一、脫穀機、大豆粕粉碎機、發動機、揚水機、倉庫農業用地、種苗、乾繭裝置

二、水道、浴場、集會場及其ノ附屬設備、理髮設備、冠婚葬祭用具、接待用具、醫療設備、助產婦

三、電氣設備精穀機、製粉機

第七十五條　第四十三條及第六十七條ノ規定ハ設備利用ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十六條　組合員ハ設備ノ利用ニ對シ利用料ヲ支拂フコトヲ要ス

利用料ハ每年總會ニ於テ決議シタル範圍內ニ於テ理事之ヲ定ム

利用中設備ヲ損傷シ又ハ之ヲ喪失シタルトキハ理事ノ定ムル辨償金ヲ支拂フコトヲ要ス

第七十七條　前條ノ利用料ハ理事ニ於テ別ニ定メタルモノヲ除ク外一箇月每ニ之ヲ計算シ其ノ月末日迄ニ辨償金ハ理事ノ請求ヲ爲シタル日ヨリ二週間內ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス

前項ノ支拂ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ支拂フヘキ金額ノ千分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵收スルモノトス

第七十八條　組合ハ設備利用ノ實況ヲ調査シ利用ノ條件ニ反スルモノアリト認ムルトキハ其ノ利用ヲ一時停止シ又ハ其ノ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第七十九條　第一條第二項ノ規定ニ依リ設備ヲ利用セシムル者ハ第六條ノ規定ニ該當セス若ハ出資ノ能力ナキ爲メ組合員タルコトヲ得サル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限ル

一、本組合區域內ニ居住スル者

二、本組合ノ區域內ニ於テ家屋物件ヲ所有シ使用シ又ハ占有シ之カ爲メ設備ヲ利用スル必要アル者

種畜ニ在リテハ前各號ニ該當セサル者ト雖モ之ヲ利用セシムルコトヲ得

第八十條　第七十五條乃至第七十八條ノ規定ハ第一條第二項ノ規定ニ依リ設備ヲ利用セシムル場合ニ之ヲ準用ス但シ此ノ場合ニ於ケル利用料ハ實費ノ範圍內ニ於テ理事之ヲ定メ利用ノ順位ハ組合員ノ利用ニ優先スルコトヲ得ス

第六節　倉庫

第八十一條　第一條第七號ノ業務ハ農業倉庫業務規程ノ定ムル所ニ依リ之ヲ行フ

前項ノ規程ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第五章　剩餘金處分竝損失ノ塡補「及分擔」

「」內ハ無限責任組合及保証責任組合ニ限ル）

第八十二條　剩餘金ヲ以テ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ尚殘餘アルトキハ事業ノ分量ニ對スル配當金拂込ミタル出資額ニ對スル配當金、特別積立金、農業倉庫減價償却積立金、役員賞與金、職員退職給與積立金又ハ繰越金ト爲スモノトス

第八十三條　事業ノ分量ニ對スル配當ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル事業年度ノ各種事業ノ成績ヲ參酌シ當該年度ニ於ケル貯金若ハ貸付金ノ利息、販賣歩合金、利用料、保管料又ハ購買物件賣却價額ニ應スルモノトス但シ配當ノ率ハ其ノ計算ノ基礎トナルヘキモノノ種類ニ依リ之ヲ異ニスルコトヲ得

拂込ミタル出資額ニ對スル配當ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合員ノ拂込濟出資額ニ應シ其ノ率ハ年六分以下トス

第八十四條　損失ノ塡補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス但シ總會ノ決議ニ依リ特別積立金及準備金ヲ以テ塡補スルコトヲ得

前二項ノ配當金ノ計算ニ付テハ圓位未滿ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス

第八十五條　本組合財產ヲ以テ其ノ債務ヲ完濟スルコト能ハサル場合ニ於テ各組合員間ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ「保証金額」ニ應スルモノトス脫退シタル組合員ノ損失分擔ノ割合亦同シ（本規定ハ保証責任組合及無限責任組合ニ限ル但シ無限責任組合ニ在リテハ「」內ヲ「出資額」ト規定スルコト）

第六章　加入、增口及脫退

第八十六條　新ニ組合員タラムトスル者又ハ出資口數ヲ增加セムトスル者ハ申込書ニ加入金何錢又ハ增口金何錢ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス但シ第一年度ニ於キテハ加入金又ハ增口金ヲ徵收セス

「理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込人ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載スルモノトス」

「」內ハ無限責任組合ニ在リテハ「理事前項ノ申込ヲ受ケタルトキハ書面ヲ以テ總組合員ノ同意ヲ求ムルコトヲ要ス總組合員ノ同意アリタルトキハ理事其ノ旨加入者ニ通知シ第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載スルモノトス」ト規定スルコト）

加入又ハ增口ノ効力ハ出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス但シ第八十七條第二項、第八十九條及第九十一條ノ場合ハ加入承諾ノ通知ヲ發シタルトキトス

第八十七條　加入豫約ノ申込アリタルトキハ理事ハ其ノ許否ヲ決シ申込人ニ其ノ旨ヲ通知スルモノトス

前條第一項及第二項ノ規定ハ加入豫約者ヲ組合ニ加入セシムル場合ニ之ヲ準用ス但シ此ノ場合ニ於テハ加入豫約者ノ貯金ハ其ノ全部ヲ出資及加入金ノ拂込ニ充ツルコトヲ要ス

第八十八條　加入豫約者カ第九十二條第六號又ハ第七號ニ該當スルトキハ總會ノ決議

ニ依リ豫約ノ解除ヲ爲スモノトス

第八十九條　持分ヲ譲渡サムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス
持分ヲ譲受ケムトス者カ組合員ニ非サルトキハ出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外第八十六條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

第九十條　組合員脫退セムトスルトキハ其ノ事業年度末六箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第九十一條　死亡ニ因リ脫退シタル組合員ノ相續人カ直ニ加入セルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サス被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノトス但シ此ノ場合ニ於テハ加入金ヲ徵收セス

第九十二條　組合員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リテ之ヲ除名ス

一、出資ノ拂込、過怠金ノ納付、貸付金ノ辨濟、購買物件、賣却代金、利用料、辨償金若ハ利息ノ支拂ヲ怠リ一箇月內ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ
二、自己ノ生產物ニ非サル物ノ販賣ヲ委託シタルトキ
三、第五十三條、又ハ第六十六條ノ規定ニ違背シテ物ヲ販賣又ハ購買シタルトキ
四、理事ノ承諾ヲ經スシテ組合ヨリ購買シタル物件ヲ他ニ轉賣シタルトキ
五、組合ノ設備ヲ他人ニ利用セシメタルトキ
六、組合ノ事業ヲ妨クル所爲アリタルトキ
七、犯罪其ノ他信用ヲ失フヘキ所爲アリタルトキ

第九十三條　組合員脫退シタル場合ニ於テ拂戻スヘキ持分ノ額ハ其ノ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス但シ除名ニ因ル場合ニ於テハ其ノ拂込濟出資額ノ半額ニ止ムルモノトス

第七章　解散

第九十四條　本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ總會ノ決議ニ依リ組合員中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第八章　附則

第九十五條　本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ改選ス

理事	何	某
理事	何	某
理事	何	某
理事	何	某
理事	何	某
監事	何	某

何々責任何々信用販賣組合農業倉庫業務規程

第一條　本組合ノ農業倉庫ニ於テハ左ノ事業ヲ行フモノトス
一　受寄物ノ保管
二　受寄物ノ調製、改装及荷造
三　受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立
四　受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次
五　貸付

前項第一號乃至第四號ノ事業ハ組合員ニ非サル者ノ爲ニモ之ヲ行フ

第二條　本組合ニ於テ寄託ヲ受クル物品ハ當初ノ寄託者カ自ラ生產シタル穀物若ハ繭又ハ小作料トシテ受タケル穀物ニシテ其ノ所有ニ係ルモノニ限ル

穀物ノ品目左ノ如シ
米、粟、大麥、小麥、裸麥、大豆

第三條　本組合ハ前條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限リ前條第一項ノ規定ニ拘ラス前條ニ揭クル物品ノ外左ノ物品ノ寄託ヲ受ク
菜種、紫雲英、藁工品

第四條　寄託ノ申込競合シタルトキハ左ノ順位ニ依リ其ノ引受ヲ爲ス
一　組合員タル生產者ノ寄託
二　組合員ニシテ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ寄託
三　組合員ニ非サル生產者ノ寄託
四　組合員ニ非サル者ニシテ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ寄託
五　其ノ他

前項ノ規定ニ依リ同一順位ニ在ルモノニ付テハ其ノ順位ハ左ノ品目順ニ依ル
米、粟、大麥、小麥、裸麥、大豆、繭、菜種、紫雲英、藁工品

第五條　第二條ノ規定ニ依ル物品ノ保管上必要アルトキハ何時ニテモ相當ノ期間ヲ定メ第三條ノ規定ニ依リ保管スル物品ノ出庫ヲ其ノ寄託者ニ請求スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於ケル請求ノ順位ハ前條ノ規定ニ依リ後順位ニ在ルモノヲ以テ先トス

第六條　受寄物中腐敗、變質等ニ依リ他ノ受寄物ニ損害ヲ及ホス虞アリト認ムル物ニ付テハ何時ニテモ其ノ出庫ヲ寄託者又ハ證券所持人ニ請求スルコトアルヘシ

第七條　種類及品位ノ同一ナル穀物ハ所屬倉庫ノ全部ニ付混合保管ヲ爲スモノトス但シ寄託者ノ請求アリタルトキ又ハ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條　受寄物ニ對シテハ必要ニ應シ二硫化炭素ノ燻蒸ヲ行フ

第九條　保管料ハ一月ニ付左ノ如ク定メ出庫ノ際受取人ヨリ此ヲ徵收ス但シ一月ニ滿タサル日數ニ付テモ一月分ヲ徵收ス

一　米、粟　（混合保管ノ場合）一俵、一叺又ハ一袋ニ付　金二錢
（特定保管ノ場合）一俵、一叺又ハ一袋ニ付　金一錢
一　麥　（混合保管ノ場合）一俵、一叺又ハ一袋ニ付　金二錢
（特定保管ノ場合）一俵、一叺又ハ一袋ニ付　金一錢
一　大豆　（混合保管ノ場合）一俵、一叺又ハ一袋ニ付　金二錢
（特定保管ノ場合）一俵、一叺又ハ一袋ニ付　金一錢
一　繭　一石ニ付　金十錢
一　菜種、紫雲英　一俵、一叺ニ付　金二錢
一　藁工品　十貫ニ付　金二錢五厘

第十條　保管期間ハ特別ノ契約アル場合ヲ除クノ外六月トス但シ第二條ノ寄託物ニ付テハ所有權ノ移轉ナキトキ、第三條ノ寄託物ニ付テハ第二條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキトキニ限リ保管期間更新ノ求ニ應

スルコトアルヘシ

第十一條　受寄物ハ倉庫ノ部合ニ依リ之ヲ左ノ倉庫ニ寄託スルコトアルヘシ

一　何郡何村　何々農會農業倉庫

二　何郡何村　株式會社何々倉庫

第十二條　寄託ノ申込ヲ爲サムトスル者ハ附錄第一號樣式ニ準シ申込書ヲ差出スヘシ

縣又ハ同業組合ニ於テ檢査ヲ施行シタル物品ニ付テハ其ノ等級ヲ申込書ノ相當欄ニ記入スヘシ

第十三條　受寄物ヲ入庫シタルトキハ附錄第二號樣式ノ入庫票ヲ寄託者ニ交付ス

第十四條　寄託物ヲ出庫セムトスル者ハ入庫票又ハ第十八條ノ規定ニ依リ發行シタル農業倉庫證券ヲ呈示シテ之ヲ請求スヘシ

第十五條　混合保管ヲ爲シタル物ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ物ニ付權利ヲ有スル者ノ協議ニ依ラス前條ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ出庫ノ請求アリタルトキハ積込ノ順序ヲ問ハス寄託ノ數量ニ應シ之ヲ引渡スモノトス

第十六條　寄託物ノ出シ入レ及積ミ卸シニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ倉庫係員ノ指圖ヲ受クヘシ

第十七條　保管期間滿了後二週間又ハ第五條若ハ第六條ノ請求ヲ爲シタル後一週間ヲ經過スルモ仍寄託物ヲ受取ラサルトキハ商法第三百八十一條ノ規定ニ依リ之ヲ競賣ニ付スルコトアルヘシ

第十八條　本組合ノ發行スル農業倉庫證券ハ附錄第三號樣式ノ倉荷證券ノ一種トス

證券ハ米又ハ麥ニ限リ寄託者ノ請求アリタルトキハ入庫票ト引換ニ之ヲ發行ス但シ第三條ノ規定ニ依ル受寄物ニ對シテハ之ヲ發行セス

證券ノ發行ニ付テハ手數料トシテ一通ニ付金十錢ヲ徵收ス

第十九條　寄託者又ハ證券所持人第十條ノ規定ニ依リ保管期間ノ更新ヲ求ムルトキハ其ノ入庫票又ハ證券ヲ呈示スヘシ

本組合保管期間ノ更新ヲ承諾シタルトキハ其ノ入庫票又ハ證券ニ更新ノ年月日及期間ヲ記入ス

第二十條　入庫票又ハ證券ヲ滅失シタル所持人カ其ノ再交付ヲ請求スル場合ニ於テ提供スル擔保ハ本組合ノ指定スル物件又ハ二人以上ノ保證人ナルコトヲ要ス

再交付ノ手數料ノ入庫票ニ在リテハ金三錢、證券ニ在リテハ金十五錢トス

第二十一條　本組合ハ寄託ヲ受ケタル穀物及藺ニ付テハ寄託者ノ爲ニ包括火災保險ニ附スルコトアルヘシ

火災保險金額ハ受寄物ノ時價ニ依リ之ヲ定ム

保險料ハ實費トシ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス

第二十二條　受寄物ノ火災保險ニ關スル事項ハ本組合ヲ經由シテ其ノ支拂ヲ受クヘキモノトス

火災保險金ハ必ス本組合ノ受寄物ニ付火災、蟲害、鼠害、雨漏、水濡、窃盜、紛失及繩切等ニ依リ生スル損害ヲ賠償スル責ニ任ス但シ重大ナル過失ニ基カサル火災又ハ不可抗力ニ依ル損害ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　本組合ハ受寄物ニ付火災、蟲害、鼠害、雨漏、水濡、窃盜、紛失及繩切等ニ依リ生スル損害ヲ賠償スル責ニ任ス但シ重大ナル過失ニ基カサル火災又ハ不可抗力ニ依ル損害ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條　受寄物ニ付本組合ノ責ニ任セサル損害アリタルトキ又ハ本組合ト保險者トノ特約ニ依リタルトキハ運滯ナク其ノ旨ヲ公告ス

前項ノ公告ノ方法ハ其ノ損害ノ程度ニ依リ適宜之ヲ定ム

第二十五條　混合物ニ付損害アリタルトキハ其ノ寄託者又ハ證券所持人五名未滿ノ場合ハ全員ノ立會ヲ求メテ損害ヲ調査シ混合物ノ價額ニ應シテ混合物ニ之ヲ分賦ス

第二十六條　混合保管ヲ爲ス受寄物ニ付テハ別ニ定ムル檢查規定ニ依リ之ヲ檢查シ其ノ品位ヲ查定ス

前項ノ檢查ハ縣又ハ同業組合ニ於テ檢查ヲ執行シタル物ニ付テハ之ヲ行ハス但シ必要ト認メタルトキハ縣又ハ同業組合ノ再檢查ヲ受クヘキコトヲ求ムルモノトス

第二十七條　受寄物ノ調製、改裝若ハ荷造又ハ運送ノ仲立若ハ取次ヲ依賴セムトスル者ハ入庫票又ハ證券ヲ交付シタル後ハ之ヲ呈示スルコトヲ要ス

第二十八條　受寄物ニ付調製、改裝若ハ荷造ヲ爲シタルトキハ入庫票又ハ證券ニ其ノ手數料額ヲ記入シ受寄物出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス

手數料ノ額ハ別ニ之ヲ定ム

第二十九條　受寄物ニ付運送ノ仲立又ハ取次ノ依賴ヲ受ケタル場合ニ於テ船車ニ依ルノ必要アルトキハ一定數量ニ達スル迄之ヲ取纏ムルモノトス

運送ノ仲立及取次ノ手數料ハ受寄物ヲ運送人ニ引渡スト共ニ依頼者ヨリ之ヲ徵收ス

第三十條　受寄物ノ販賣ノ仲立又ハ取次ハ共同販賣トシ競爭入札ノ方法ニ依ル但シ必要ニ應シ隨時又ハ特販賣ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第三十一條　本組合ニ於テ發行シタル農業倉庫證券ニ對シテ爲ス貸付ハ時價ノ八割以內日步何錢何厘以內トシ其ノ期限ハ受寄物ノ保管期限ヲ超エサルモノトス

第三十二條　事業年度ハ一年トシ每年一月一日ニ始マリ十二月末日ニ終ル

第三十三條　本組合ハ特別ノ計算ニ依リ倉庫部ノ損益ヲ算出ス

前項ノ計算ニ依リ生シタル利益ノ處分又ハ損失ノ塡補ハ本組合ノ定款ノ規定ニ依ル

（注意）附錄樣式及附屬規程ハ別ニ示サス

聯合農業倉庫業務規程

（大正十五年九月一日官報第四二〇七號登載農務局調査）

第一章　總則

第一條　本會ノ聯合農業倉庫ニ於テハ左ノ事業ヲ行フモノトス

一　受寄物ノ保管

二　受寄物ノ調製、改裝及荷造

三　受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立

四　受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次

五　貸付

前項第一號乃至第四號ノ事業ハ本會ニ所屬セサル組合又ハ聯合會ノ爲ニモ之ヲ行フ

第二條　本會ハ左ノ物品ノ寄託ヲ受クルモノトス

一　農業倉庫業者カ農業倉庫業法第一條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル穀物、砂糖及繭

二　聯合農業倉庫業者カ保管スル前號ノ物品

穀物及砂糖ノ品目左ノ如シ

玄米、精米、籾、大麥、小麥、裸麥、大豆、何々

黑糖、白下糖

第三條　本會ハ前條ノ規定ニ依リ保管ニ支障ナキ場合ニ限リ左ノ物品ノ寄託ヲ受ク

一　農業倉庫業者カ農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品

二　販賣組合又ハ販賣組合聯合會カ賣却スル物品

三　聯合農業倉庫業者カ保管スル前二號ノ物品

前項ノ物品ノ種類左ノ如シ

玄米、精米、籾、大麥、小麥、裸麥、大豆、何々

黑糖、白下糖、繭、何々、藁工品、澱粉、木炭、何々

第四條　寄託ノ申込競合シタルトキハ左ノ順位ニ依リ其ノ引受ヲ爲ス

一　所屬組合若ハ所屬聯合會ノ受寄物ニシテ農業倉庫業法第一條第一項及第二項ニ屬スルモノ

二　本會ニ所屬セサル組合若ハ聯合會ノ受寄物ニシテ農業倉庫業法第一條第一項及第二項ニ屬スルモノ

三　所屬販賣組合若ハ所屬販賣組合聯合會ノ賣却スル穀物、砂糖及繭

四　本會ニ所屬セサル販賣組合若ハ販賣組合聯合會ノ賣却スル穀物、砂糖及繭

五　其ノ他

前項ノ規定ニ依リ同一順位ニ在ルモノニ付テハ其ノ順位ハ左ノ品目順ニ依ル

玄米、精米、籾、大麥、小麥、裸麥、大豆、何々

黑糖、白下糖、繭、何々、藁工品、澱粉、木炭、何々

第五條　第二條ノ規定ニ依ル物品ノ保管上必要アルトキハ何時ニテモ相當ノ期間ヲ定メ第三條ノ規定ニ依リ保管スル物品ノ出庫ヲ其ノ寄託者又ハ證券所持人ニ請求スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於ケル請求ノ順位ハ前條ノ規定ニ依リ後順位ニ在ルモノヲ以テ先トス

第六條　農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ本會ニ寄託シタルトキハ其ノ農業倉庫ノ寄託者又ハ證券所持人ハ本會ノ寄託者トス

聯合農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ本會ニ寄託シタルトキ亦同シ

第七條　本會ノ聯合農業倉庫業ニ關スル公告ハ何々新聞及本會ノ掲示場ニ之ヲ爲ス

第二章　入出庫手續及保管

第八條　寄託ノ申込ヲ爲サムトスル者ハ第一號樣式ニ準スル申込書ヲ差出スヘシ

道府縣、同業組合又ハ農業倉庫ニ於テ檢査ヲ施行シタル物品ニ付テハ其ノ等級ヲ寄託申込書ノ相當欄ニ記入スヘシ

第九條　受寄物ヲ入庫シタルトキハ第二號樣式ノ入庫票ヲ寄託申込者ニ交付ス

第十條　受寄物保管ノ場所及保管方法ハ本會之ヲ定ム

種類及品位ノ同一ナル物品ハ左ノ倉庫ニ於テ混合保管ヲ爲スコトアルヘシ

一　本庫第一號倉庫乃至第何號倉庫

二　何々支庫全部

寄託ノ申込ニ際シ特ニ保管ノ場所又ハ保管ノ方法ヲ指定シ本會之ヲ承諾シタルトキハ前二項ニ依ラサルコトヲ得

第十一條　混合保管ヲ爲ス受寄物ニ付テハ別ニ定ムル檢査規程ニ依リ之ヲ檢査シ其ノ品位等級ヲ査定ス

前項ノ檢査ハ道府縣又ハ同業組合ニ於テ檢査ヲ施行シタル物ニ付テハ之ヲ行ハサルコトアルヘシ但シ必要ト認メタルトキハ道府縣又ハ同業組合ノ再檢査ヲ受ケヘキコトヲ求ムルモノトス

第十二條　受寄物ニ對シテハ必要ニ應シ燻蒸ヲ行フコトアルヘシ

第十三條　受寄物中變質、腐敗其ノ他ノ原因ニ依リ保管ニ適セス又ハ他ノ受寄物若ハ倉庫ニ損傷ヲ及ス虞アリト認ムルトキハ寄託者又ハ證券所持人ニ相當ノ處置ヲ爲スコトヲ請求シ又ハ保管期限前ト雖其ノ受寄物ノ出庫ヲ請求スルコトアルヘシ

前項ノ處置又ハ寄託物ノ引取ヲ怠リタル爲ニ損害ヲ生シタルトキハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ賠償ノ責ニ任スルモノトス

第一項ノ場合ニ於テ緊急ノ必要アリト認ムルトキハ寄託者又ハ證券所持人ノ承諾ノ有無ニ拘ラス其ノ者ノ費用ニ於テ相當ノ處置ヲ爲スコトヲ得ルモノトス因テ生シタル損害ハ本會其ノ責ニ任セス

第十四條　保管期間ハ特別ノ契約アル場合ヲ除クノ外六月トス

第二條ノ規定ニ依ル寄託物ニシテ組合又ハ聯合會ニ於テ保管中其ノ所有權ノ移轉ナキトキ、第三條ノ寄託物ニ付テハ第二條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキトキニ限リ保管期間更新ノ求メニ應スルモノトス

前項ノ更新期間ハ六月ヲ超エサルモノトス

第十五條　寄託物ヲ出庫セムトスル者ハ入庫票又ハ第十九條ノ規定ニ依リ發行シタル倉荷證券ヲ呈示シテ之ヲ請求スヘシ

第十六條　混合保管ヲ爲シタル物ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ物ニ付權利ヲ有スル者ノ協議ニ依ラス前條ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ出庫ノ請求アリタルトキハ積込ノ順序ヲ問ハス寄託ノ數量ニ應シ之ヲ引渡スモノトス

第十七條　寄託物ノ出シ入レ及積ミ卸シ等ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ倉庫掛員ノ指圖ヲ受クヘシ

第十八條　保管期間滿了後二週間又ハ第五條若ハ第十三條ノ請求ヲ爲シタル後一週間ヲ經過スルモ仍寄託物ヲ引取ラサルトキハ商法第三百八十一條ノ規定ニ依リ之ヲ競賣ニ付スルコトアルヘシ

第三章　證券

第十九條　本會ハ寄託者ノ請求アルトキハ第三號樣式ノ倉荷證券ヲ交付ス

第二十條　前條ノ倉荷證券ハ受寄物ニ付組合又ハ聯合會ニ於テ發行シタル倉荷證券ニシテ裏書禁止シタルモノ若ハ倉荷證券發行ナキ旨ノ證明書及本會ニ於テ交付セル入庫票ト引換ヘニ之ヲ交付スルモノトス

但シ第三條第一項第二號ノ物品ノ倉荷證券ハ入庫票ト引換ニ之ヲ交付スルモノトス

第二十一條　前條ノ規定ニ依リ本會ニ於テ受取リタル組合又ハ聯合會發行ノ倉荷證券ハ本會ニ於テ消印シタル上之ヲ本會ニ保存スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ本會ニ保存スル倉荷證券ハ受寄物ヲ出庫シタルトキ之ヲ寄託申込書ニ返戻スルモノトス

第二十二條　第十九條ノ倉荷證券ヲ喪失又ハ滅失シタルトキハ保証人ヲ立テ又ハ擔保ヲ供シテ受寄物ノ出

庫若ハ倉荷証券ノ再交付ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條　倉荷証券ノ分割、書換又ハ再交付ノ請求アリタルトキハ本會ハ所定ノ手數料ヲ申受クヘシ

第四章　損害及保險

第二十四條　本會ハ受寄物ニ付火災、蟲害、雨漏、水濡、窃盜、紛失及細切等ニ依リ生スル損害ヲ賠償スル責ニ任ス但シ天災、事變其ノ他避ケヘカラサル事由ニ基ク損害及保險者カ塡補ノ責任ヲ有スル損害又ハ寄託者ノ申出ニ依リ保險ニ附セサル損害ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條　本會ノ賠償ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ受寄物ニ付生シタル損害額ハ時價ニ據リ之ヲ算出ス

第二十六條　受寄物ニ付本會ノ責ニ任セサル損害アリタルトキ又ハ責ニ任スルモノト雖重大ナル損害アリタルトキハ寄託者又ハ證券所持人ハ運滯ナク其ノ旨ヲ公告ス

第二十七條　混合保管ヲ爲ス受寄物ニ付損害アリタルトキハ寄託者又ハ證券所持人五名以上、寄託者又ハ證券所持人五名未滿ノ場合ハ全員ノ立會ヲ求メテ損害ヲ調査シ混合物ノ數量ニ應シ混合物ニ之ヲ分賦ス

第二十八條　本會ハ寄託者ノ委任ヲ受ケサル場合ト雖其ノ者ノ爲ニ受寄物ヲ火災保險ニ附スルモノトス

火災保險金額ハ受寄物ノ時價ニ依リ之ヲ定ム

寄託者又ハ證券所持人ハ本會ノ承諾ヲ得テ前二項ノ規定ト異ル特約ヲ爲スコトヲ得

保險料ハ實費トシ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス

第二十九條　受寄物ノ火災保險ニ付テハ總テ本會ト保險者トノ契約ニ依ルモノトス

火災保險金ハ本會ヲ經テ授與スヘキモノトス

第三十條　本會ハ必要ト認ムル場合ハ受寄物ヲ運送保險ニ附スルコトアルヘシ

前項ノ場合ハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第三十一條　第四十一條ノ規定ニ依リ寄託ヲ爲ス場合ニ於テ受寄物ヲ倉庫ニ引渡ス迄ニ生シタル損害ニ付テハ第二十四條乃至第二十七條ノ規定ヲ準用ス

第五章　運送及貸付

第三十二條　受寄物ノ調製、倭裝、販賣、運送及運送ノ仲立若ハ取次ヲ依頼セムトスル者ハ入庫票又ハ倉荷証券ヲ呈示スルコトヲ要ス

第三十三條　受寄物ニ付調製、改裝又ハ荷造ヲ爲シタルトキハ入庫票又ハ倉荷証券ニ其ノ料金額ヲ記入シ受寄物ノ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス

第三十四條　受寄物ニ付運送ノ仲立又ハ取次ノ依頼ヲ受ケタル場合ニ於テ必要アルトキハ一定數量ニ達スル迄之ヲ取纏ムルコトアルヘシ

第三十五條　運送ノ仲立及取次ノ手數料ハ受寄物ヲ運送人ニ引渡スト共ニ依頼者ヨリ之ヲ徵收ス

第三十六條　受寄物ノ販賣ノ仲立又ハ取次ハ共同販賣トシ競爭入札ノ方法ニ依ル但シ必要ニ應シ隨意又ハ特約販賣ノ方法ニ依ルコトアルヘシ

販賣ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第三十七條　本會ニ於テ爲ス貸付ハ倉荷証券面記載ノ受寄物ノ時價ノ何割以内日歩何錢何厘以内トシ其ノ期限ハ受寄物ノ保管期限ヲ超エサルモノトス

第六章　保管料其ノ他ノ料金

第三十八條　保管料ハ半月（一月若ハ十日）又ハ半月（一月若ハ十日）ニ滿タサル期間ニ付左ノ如ク定メ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス但シ農業倉庫業者若ハ聯合農業倉庫業者ヨリ寄託ヲ受ケ又ハ聯合農業倉庫業者ニ寄託スル場合ニ於テ半月（一月若ハ十日）ニ滿タサルトキハ日割計算トス

一玄米	〔混合保管	同	一俵又ハ一叭ニ付	金何錢
	〔特定保管	同		金何錢
一麥		同		同
一豆		同		同
一繭		同	一石ニ付	同
一黑糖、白下糖		同	一挺又ハ一樽ニ付	同
一藁工品		特定保管	十貫ニ付	金何錢

一 澱粉　同　同　一俵又ハ一叺ニ付　同

一 木炭　同　同　一俵又ハ一叺ニ付　同

第三十九條　第四十一條ノ規定ニ依リ寄託スル場合ニ在リテハ保管料、保險料、手數料及運賃ハ聯合農業倉庫業者ヨリ受取リタル入庫票又ハ倉荷証券ヲ交付スル際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

第四十條　受寄物ノ販賣、搬出入、看貫、調製、改裝、荷造、見本摘出等ニ關スル料金ハ別ニ之ヲ定ム

第七章　聯合農業倉庫業者ニ對スル寄託

第四十一條　寄託者若ハ証券所持人ノ請求ニ依リ又ハ本會ニ於テ必要ト認メタルトキハ寄託者若ハ証券所持人ノ承諾ヲ得テ其ノ受寄物ヲ左ノ倉庫ニ寄託スルコトアルヘシ

一　何々聯合農業倉庫

前項ノ場合ニ於テ受寄物ノ質權者アルトキハ其ノ承諾ヲ得ルモノトス

第四十二條　前條ノ寄託ヲ爲ス場合ニ於テハ託者又ハ証券所持人ハ第四號樣式ノ請求書又ハ第五號樣式ノ承諾書ニ本會ノ發行シタル入庫票又ハ倉荷証券ヲ添ヘ本會ニ差出スヘシ

前條第二項ノ場合ニ於テハ質權者ノ承諾ヲ証スル書面ヲ添付スヘシ

第四十三條　前條ノ規定ニ依リ本會ノ受取リタル倉荷証券ニハ裏書禁止ヲ爲シ聯合農業倉庫ニ寄託スル旨ヲ記入シ本會ニ於テ之ヲ保管ス

寄託者又ハ証券所持人ノ請求アルトキハ前項ノ証券ヲ返戻ス

第四十四條　第四十一條ノ規定ニ依リ寄託ヲ爲ス場合ニ於テ倉荷証券ノ發行ナキトキハ寄託者ノ請求ニ依リ其ノ旨ノ証明書ヲ交付スヘシ

第四十五條　聯合農業倉庫業者ヨリ受取リタル入庫票ハ本會カ共同販賣ノ委託ヲ受ケサル場合ニ限リ之ヲ寄託者又ハ証券所持人ニ交付ス

第八章　損益計算

第四十六條　本會ハ特別ノ計算ニ依リ倉庫部ノ損益ヲ算出ス

前項ノ計算ニ依リ生シタル利益ノ處分又ハ損失ノ塡補ハ本會ノ定款ノ規定ニ依ル

（注意）樣式及細則ハ之ヲ略ス

産業組合中央會新潟縣支會表彰規程

第一條　本會ハ毎年一回左ノ各號ニ該當スルモノニ對シ表彰ヲ行フ

一、成績優良ニシテ他ノ模範ト爲スニ足ルヘキ産業組合

二、組合又ハ郡市部會ノ役職員ニシテ十年以上勤續シ恪勤勵精克ク職能ヲ盡シ功勞顯著ナル者

三、組合員ニシテ篤實勤勉克ク本分ヲ守リ其ノ善行他ノ儀表ト爲スニ足ルヘキ者

四、其ノ他組合事業ノ發達ニ關シ功勞顯著ナル者ニ限ル

第二條　表彰スヘキ組合ハ左ノ各號ニ該當スル者ニ限ル

一、法令及定款ニ違背ナキコト

二、帳簿書類其ノ他事務上ノ整理行屆キ居ルコト

三、組合ノ區域ハ相當ノ大サヲ有スルコト

四、組合員ハ區域内ノ者ヲ相當包含シ居リ減少ヲ見サルコト

五、事業ノ分量多ク其ノ事業ハ各組合員ニ行渡リ居ルコト

六、收入支出適良ニシテ相當ノ剩餘金アリ積立金增加スルコト

七、組合員ノ事業進歩シ産業ノ地方的改善行ハルヽコト

八、組合員ノ富力增進スルコト

九、組合員ノ德義上進スルコト

十、區域内ニ於ケル共同施設ノ効果擧リ比隣ニ對シ感化力ノ見ルヘキモノアルコト

第三條　表彰セントスル者ハ郡市部會長ノ申告アリタルモノニ就キ支會長ノ指名セル調査委員會ニ於テ審議シ理事會ノ詮考ヲ經テ支會長之レヲ決ス

第四條　表彰ハ左ノ方法ニ依ル

一、感謝狀又ハ表彰狀ヲ贈與スルコト

二、金圓又ハ物品ヲ贈與スルコト

三、廣ク會衆ニ紹介スルコト

第五條　本規程ニ依リ表彰シタル者ニシテ特ニ成績優良ナル者ハ更ニ産業組合中央會ニ申告シ表彰ヲ請フコトアルヘシ

第六條　表彰シタル者ハ之ヲ簿册ニ登錄シ永遠ニ保存スルモノトス

第七條　表彰シタルモノニシテ組合ノ經營當ヲ失シ成績不良ニ陷リタルトキ又ハ信用ヲ失墜スルノ行爲アリタルトキハ表彰ヲ無効トシ且第六條ノ簿册中ヨリ之ヲ抹消ス

前項ノ審議決定ニ就テハ第三條ノ規定ヲ準用ス

第八條　本規程ハ產業組合聯合會又ハ其役職員ヲ表彰スル場合ニモ之ヲ準用ス

附　則

本規程ハ大正十二年四月一日ヨリ施行シ舊規程ハ之ヲ廢止ス

產業組合中央會新潟縣支會
產業組合教育委員設置規程

第一條　本會ハ縣下產業組合長協議會ノ決議ニ基キ所屬產業組合ニ產業組合教育委員ヲ設置スルモノトス

第二條　產業組合教育委員ハ一組合定員五名以內トシ所屬組合長ハ其ノ區域內ニ於テ候補者ヲ選拔シ本會ニ推薦スルモノトス

前項ノ推薦アリタルトキハ審議ノ上會長之ヲ囑託スルモノトス

第三條　產業組合教育委員ハ當該組合長及同役職員ト提携シ產業組合精神ノ普及徹底ヲ圖リ組合員ノ敎化訓育ニ任スルモノトス

第四條　產業組合教育委員ハ名譽職トス

第五條　產業組合教育委員ハ本會長ニ於テ必要ト認メタルトキハ之ヲ解囑スルコトヲ得ルモノトス

第六條　產業組合教育委員其ノ組合區域外ニ轉住シタル場合ハ之ヲ解囑シタルモノト看做ス

前項ノ場合ニ於テハ當該組合長ハ遲滯ナク本會ニ其ノ旨ヲ報告スルモノトス

第七條　本規程ニ依ル推薦又ハ報告ハ凡テ所屬郡市部會ヲ經由スルモノトス

附　則

本規程ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

產業組合中央會新潟縣支會物資斡旋規程

第一條　本會ハ產業組合事業助成ノ爲メ必要ニ應シ物資ノ購入及販賣ノ斡旋ヲナス

第二條　販賣及購買ノ斡旋ノ申込ヲナサムトスルモノハ郡市部會ヲ經由シテ申込書ヲ提出スヘシ

第三條　前條ノ販賣及購買品ノ受渡時期並場所ハ本會ヨリ通知ス

前項ノ期日ニ物品ノ受渡ヲ爲サールカ又ハ申込變更取消等ニ依ル損害及費用ハ總テ申込者ノ負擔トス

第四條　本會ニ斡旋申込ヲナシタルモノニ對シテハ物品ニ依リ代金又ハ費用ノ一部ヲ前納セシムルコトアルヘシ

第五條　斡旋品ノ受渡ヲ完了シタルトキハ直ニ其代金ヲ精算スヘシ

前項ノ指定期間內ニ於テ代金費用ヲ支拂ハサル時ハ百圓ニ付日歩五錢以內ノ延滯利子ヲ徵收ス

第六條　斡旋ニ對シ特別ノ經費ヲ要スルトキハ豫メ之ヲ申込者ニ通知スヘシ

第七條　本事業ニ對シ申込者ヨリ徵收スル斡旋手數料ハ必要ニ應シ取扱金額ノ百分ノ三以內ニ於テ適宜之ヲ定ム

新潟縣產業組合役職員共濟會々則

第一條　本會ハ產業組合ノ本旨ニ基キ會員ノ親睦ト共濟ノ誼ヲ厚クスルヲ以テ目的トス

第二條　本會ハ新潟縣產業組合役職員共濟會ト稱ス

第三條　本會ノ事務所ハ產業組合中央會新潟縣支會內ニ置ク

第四條　本會ハ新潟縣ニ於ケル產業組合、產業組合聯合會、產業組合中央會新潟縣支會各部會ニ勤務スル

役職員ヲ以テ組織ス

第五條　本會々員タラムトスル者ハ其ノ所屬團体長ノ同意ヲ以テ申込ムモノトス

第六條　本會ハ會長一名、評議員若干名、幹事若干名ヲ置ク

會長ハ產業組合中央會新潟縣支會長ヲ推シ評議員ハ產業組合中央會新潟縣支會役員ヲ以テ之ニ充ツ幹事ハ會長之ヲ任免ス

第七條　會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長事故アルトキハ評議員中ヨリ代理者ヲ定ム

評議員ハ會計ヲ監査シ重要ナル會務ニ參與ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ會務ヲ掌理ス

第八條　會員退會シタルトキハ別表ニ依ル退職給與金ヲ支給ス

一、退職者ニハ本人ノ醵出金ヲ限度トス

二、死亡退職者ニ對シテハ本人及團体ノ納付金ヲ合算シ其ノ遺族ニ支給ス

第九條　退職給與金ヲ支辨スル爲退職給與積立金ヲ設ク

第十條　會員及會員ノ所屬團体ハ退職給與積立金ニ充ツル爲左ノ金額ヲ醵出スルモノトス

一、會　員　　毎月金壹圓

一、所屬團体　　其ノ所屬會員一人ニ付毎月金貳圓

前項ノ醵出金ハ所屬團体長ニ於テ之ヲ取纏メ左ノ期日迄ニ本會ニ納付スルモノトス

三　月二十五日

六　月二十五日

九　月二十五日

十二月二十五日

前項納付期日前ニ於テ退職シタル會員ニ對スル醵出金ハ其ノ退職ト同時ニ納付スルモノトス

第十一條　前項ノ醵出金ヲ遲滯シタルトキハ一日ニ付其ノ百分ノ一ニ當ル延滯金ヲ徵收ス

前條ノ醵出金ノ納付ヲ怠リ次期ノ納付期日ニ至ルモ尙其ノ義務ヲ履行セサルモノハ之ヲ除名シ會員ノ醵出シタル金額ノ半額ヲ還付ス

第十二條　退職給與積立金ハ第九條ニ依ルモノノ外左ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

一、積立金ヨリ生スル利息

二、產業組合中央會新潟縣支會ノ交付金

三、延滯金

四、其ノ他ノ收入

第十三條　退職給與積立金ハ產業組合中央金庫又ハ評議員會ノ議決ヲ經タル信用組合若ハ銀行ニ預入レ又ハ之ヲ以テ評議員會ノ議決ヲ經タル債券ヲ買入ルルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

第十四條　會長ハ評議員ニ諮リ退職給與積立金利息及會員並所屬團体ノ醵出金以外ノ收入ヲ左ノ費途ニ使用スルコトヲ得

一、會ノ事務取扱上必要ナル經費

二、會員疾病又ハ不時ノ災厄ニ罹リタルトキノ慰問金

三、會員ノ慰問ニ關スル施設ニ要スル費用

第十五條　在職年數ノ起算ハ其ノ會員加盟ノ月ニ始マリ退職ノ月ニ終ル但シ一年ニ滿タサル端數ハ切捨ツルモノトス此ノ場合ニ於テハ其ノ端數ニ對スル會員ノ醵出金ハ支給額ニ加算ス

第十六條　會員其ノ所屬團体ヨリ他ノ所屬團体ニ轉任シタルトキハ其ノ在職年數ヲ通算ス但シ轉任後ノ所屬團体カ第九條ノ醵出金ヲ負擔セサルトキハ退職シタルモノト看做ス

第十七條　會員在職中死亡シタルトキハ第八條ノ規程ニ準シ弔祭料ヲ其ノ遺族ニ贈ル

第十八條　退職給與金ヲ受クヘキ者其ノ事由ノ發生シタル日ヨリ二年以內ニ請求セサルトキハ之ヲ支給セス

第十九條　本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

會務ノ狀況及收支決算ハ毎年一回之ヲ會員ノ所屬團体ニ報告スルモノトス

第二十條　本會ニ會員及會員所屬團体名簿、財產臺帳、現金出納簿、收支明細簿、退職者名簿、預ケ金臺帳、証憑書類綴ヲ備付クルモノトス

第二十一條　本會解散ノ場合ニ於ケル殘餘財産ノ處分ハ評議員會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條　本則ヲ改正シ又ハ事務施行細則ヲ設ケムトスルトキハ評議員會ノ議決ヲ經ルモノトス

附　則

本會則ハ昭和三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

退職給與金支給額

在職年數	支給額	會員ノ醵出金ニ相等スル金額
二年未滿		
二年	五二圓	
三年	九〇圓	
四年	一五〇圓	
五年	二一〇圓	
六年	二八五圓	
七年	三六〇圓	
八年	四三五圓	
九年	五一〇圓	
十年	五八五圓	
十一年	一年ヲ增ス每ニ九〇圓ヲ加フ	

(五)　雜　件

年賦金算出定率表（一回拂）

	五分四厘	五分五厘	五分六厘	五分七厘
2	.54085 49172	.54161 80048	.54238 13230	.54314 48712
3	.36996 41520	.37065 40747	.37134 44066	.37203 51469
4	.28463 68028	.28529 44850	.28595 27420	.28661 15720
5	.23353 46376	.23417 64364	.23481 89679	.23546 22314
6	.19954 48693	.20017 89475	.20081 39141	.20144 97668
7	.17533 34099	.17596 44178	.17659 64657	.17722 95518
8	.15723 31837	.15786 40118	.15849 60291	.15912 92334
9	.14320 68990	.14383 94585	.14447 33539	.14510 85823
10	.13203 21559	.13266 77688	.13330 48614	.13394 34302
11	.12293 10419	.12357 06531	.12421 18854	.12485 47344
12	.11538 49286	.11602 92312	.11667 52929	.11732 31087
13	.10903 47481	.10968 42587	.11033 56635	.11098 89565
14	.10362 40070	.10427 91154	.10493 62499	.10559 54033
15	.09896 45955	.09962 55976	.10028 87541	.10095 40570
16	.09491 54177	.09558 25380	.09625 19374	.09692 36069
17	.09136 85648	.09204 19723	.09271 77800	.09339 59775
18	.08824 00963	.08891 99162	.08960 22536	.09028 70066
19	.08546 37334	.08615 00560	.08683 90089	.08753 05792
20	.08298 64437	.08367 93300	.08437 49559	.08507 33064
21	.08076 52877	.08146 47754	.08216 71073	.08287 22671
22	.07876 51252	.07947 12319	.08018 02834	.08089 22613
23	.07695 69205	.07766 96471	.07838 54145	.07910 42023
24	.07531 64706	.07603 58037	.07675 82690	.07748 38442
25	.07382 34391	.07454 93530	.07527 84858	.07601 08133
26	.07246 06132	.07319 30712	.07392 88306	.07466 78645
27	.07121 33251	.07195 22817	.07269 46171	.07344 03023
28	.07006 89983	.07081 43996	.07156 32524	.07231 55255
29	.06901 67871	.06976 84946	.07052 38765	.07128 26669
30	.06804 72883	.09880 53897	.06956 70739	.07033 23047

期別 \ 年利率	五分八厘	五分九厘	六　分	六分一厘
2	.54390 86492	.54467 26566	.54543 68932	.54620 13586
3	.37272 62951	.37341 78506	.37410 98128	.37480 21808
4	.28727 09748	.28793 09481	.28859 14924	.28925 26065
5	.23610 62253	.23675 09488	.23739 64002	.23804 25789
6	.20208 65045	.20272 41257	.20336 26279	.20400 20113
7	.17786 36737	.17849 88299	.17913 50176	.17977 22362
8	.15976 36222	.16039 91927	.16103 59424	.16167 38696
9	.14574 51406	.14638 30259	.14702 22348	.14766 27650
10	.13458 34718	.13522 49823	.13586 79580	.13651 23959
11	.12549 91957	.12614 52650	.12679 29380	.12744 22105
12	.11797 26734	.11862 39820	.11927 70292	.11993 18104
13	.11164 41317	.11230 11834	.11296 01052	.11362 08916
14	.10625 65690	.10691 97399	.10758 49089	.10825 20693
15	.10162 14983	.10229 10700	.10296 27638	.10363 65722
16	.09759 75372	.09827 37192	.09895 21435	.09963 28011
17	.09407 65543	.09475 95001	.09544 48041	.09613 24561
18	.09097 44333	.09166 42519	.09235 65405	.09305 12871
19	.08822 47535	.08892 15183	.08962 08603	.09032 27660
20	.08577 43668	.08647 81220	.08718 45569	.08789 36566
21	.08358 02381	.08429 10035	.08500 45466	.08572 08506
22	.08160 71471	.08232 49224	.08304 55685	.08376 90668
23	.07982 59903	.08055 07579	.08127 84846	.08200 91499
24	.07821 25069	.07894 42347	.07967 90075	.08041 67951
25	.07674 63109	.07748 49541	.07822 67182	.07897 15783
26	.07541 01464	.07615 56494	.07690 43466	.07765 62111
27	.07418 93083	.07494 16061	.07569 71663	.07645 59598
28	.07307 11874	.07383 02066	.07459 25515	.07535 81905
29	.07204 49092	.07281 05694	.07357 96135	.07435 20074
30	.07110 10455	.07187 32600	.07264 89115	.07342 79634

期別 \ 年利率	六分二厘	六分三厘	六分四厘	六分五厘
2	.54696 60524	.54773 09743	.54849 61240	.54926 15012
3	.37549 49546	.37618 81331	.37688 17157	.37757 57004
4	.28991 42890	.29057 65395	.29123 93570	.29190 27393
5	.23868 94831	.23933 71118	.23998 54637	.24063 45373
6	.20464 22728	.20528 34111	.20592 54249	.20656 83118
7	.18041 04825	.18104 97548	.18169 00510	.18233 13691
8	.16231 29710	.16295 32444	.16359 46872	.16423 72969
9	.14830 46129	.14894 77755	.14959 22499	.15023 80328
10	.13715 82915	.13780 56416	.13845 44423	.13910 46899
11	.12809 30779	.12874 55358	.12939 95800	.13005 52057
12	.12058 83197	.12124 65523	.12190 65028	.12256 81660
13	.11428 35360	.11494 80324	.11561 43749	.11628 25571
14	.10892 12137	.10959 23352	.11026 54265	.11094 04805
15	.10431 24864	.10499 04984	.10567 06000	.10635 27829
16	.10031 56823	.10100 07778	.10168 80782	.10237 75739
17	.09682 24450	.09751 47602	.09820 93910	.09890 63264
18	.09374 84795	.09444 81057	.09515 01534	.09585 46103
19	.09102 72216	.09173 42136	.09244 37283	.09315 57517
20	.08860 54055	.08931 97885	.09003 67903	.09075 63953
21	.08643 98984	.08716 16730	.08788 61574	.08861 33342
22	.08449 53984	.08522 45445	.08595 64862	.08669 12043
23	.08274 27330	.08347 92129	.08421 85690	.08496 07802
24	.08115 75822	.08190 13436	.08264 80564	.08339 76975
25	.07971 95097	.08047 04873	.08122 44861	.08198 14815
26	.07841 12156	.07916 93332	.07993 05365	.08069 47982
27	.07721 79571	.07798 31288	.07875 14455	.07952 28776
28	.07612 70919	.07689 92239	.07767 45546	.07845 30521
29	.07512 77170	.07590 67080	.07668 89463	.07747 43974
30	.07421 03791	.07499 61219	.07578 51552	.07657 74422

期別 ＼ 年利率	七　分	七分一厘	七分二厘
2	.55309 17874	.55385 85225	.55462 54794
3	.38105 16657	.38174 80607	.38244 48537
4	.29522 81167	.29589 48774	.29956 21971
5	.24389 06939	.24454 40747	.24519 81680
6	.20979 57994	.21044 38961	.21109 28548
7	.18555 32195	.18620 06273	.18684 90425
8	.16746 77623	.16811 73212	.16876 80289
9	.15348 64700	.15414 00403	.15479 48972
10	.14237 75026	.14303 63538	.14369 66255
11	.13335 69047	.13402 19272	.13468 84996
12	.12590 19886	.12657 38171	.12724 73209
13	.11965 08481	.12032 99385	.12101 08247
14	.11434 49386	.11503 16167	.11572 02065
15	.10979 46247	.11048 91195	.11118 56365
16	.10585 76480	.10656 01138	.10726 47076
17	.10242 51930	.10313 57271	.10384 84887
18	.09941 26016	.10013 12540	.10085 22284
19	.09675 30148	.09747 97986	.09820 89930
20	.09439 29257	.09512 78232	.09586 52144
21	.09228 90016	.09303 11699	.09377 75088
22	.09040 57732	.09115 67479	.09191 03644
23	.08871 39262	.08947 28253	.09023 44312
24	.08718 90211	.08795 57467	.08872 52388
25	.08581 05172	.08658 49599	.08736 22220
26	.08456 10279	.08534 30661	.08612 79710
27	.08342 57340	.08421 52372	.08500 76487
28	.08239 19283	.08318 87581	.08398 85318
29	.08144 86518	.08225 26630	.08305 96481
30	.08058 64036	.08139 74454	.08221 14857

說　明

年賦金を算出するには定率表より相當年限相當利率の下にある數字を提出し之れに所要金額を乘すれば年賦金を得らるゝし

例へば元金拾萬圓を年利六分五厘にて借入れ三十ヶ年賦にて償還せんとする場合の年賦金は

.07657744422×100.000＝7,657.74

なり即毎年金七千六百五十七圓七拾四錢宛拂込めば三十ヶ年にして元利皆濟となる

期別 ＼ 年利率	六分六厘	六分七厘	六分八厘	六分九厘
2	.55002 71055	.55079 29366	.55155 89908	.55232 52779
3	.37827 00911	.37896 48827	.37966 00761	.38035 56705
4	.29256 66890	.29323 12019	.29389 62775	.29456 19165
5	.24128 43323	.24193 48466	.24258 60790	.24323 80289
6	.20721 20718	.20785 67020	.20850 22008	.20914 85675
7	.18297 37075	.18361 70637	.18426 14357	.18490 68217
8	.16488 10713	.16552 60075	.16617 21029	.16681 93556
9	.15088 51215	.15153 35127	.15218 32031	.15283 41901
10	.13975 63810	.14040 95115	.14106 40777	.14172 00762
11	.13071 24089	.13137 11849	.13203 15291	.13269 34373
12	.12323 15369	.12389 66098	.12456 33796	.12523 14811
13	.11695 25730	.11762 44163	.11829 80807	.11897 35601
14	.11161 74902	.11229 64480	.11297 73469	.11366 01796
15	.10703 70389	.10772 33594	.10841 17362	.10910 21608
16	.10306 92555	.10376 31133	.10445 91378	.10515 73191
17	.09960 55559	.10030 70682	.10101 08526	.10171 68979
18	.09656 14643	.09727 07028	.09798 23135	.09869 62840
19	.09387 02702	.09458 72697	.09530 67363	.09602 86561
20	.09147 85882	.09220 33533	.09293 06750	.09393 05378
21	.08934 31865	.09007 56967	.09081 08476	.09154 86217
22	.08742 86709	.08816 88938	.08891 18268	.08965 74598
23	.08570 58256	.08645 36840	.08720 43344	.08795 77556
24	.08415 02440	.08490 56727	.08566 39605	.08642 50843
25	.08274 14471	.08350 43590	.08427 01914	.08503 89193
26	.08146 20993	.08223 23882	.08300 56615	.08378 18839
27	.08029 73956	.08107 49698	.08185 55707	.08263 91686
28	.07923 46818	.08001 94206	.08080 72277	.08159 80743
29	.07826 30277	.07905 48023	.07984 96874	.08064 76486
30	.07737 29465	.07817 16312	.07897 34600	.07977 83962

年賦金算出定率表（各二回拂）

期別 ＼ 年利率	五分四厘	五分九厘	六分七厘	六分八厘
1	1.02700 00000	1.02950 00000	1.03350 00000	1.03400 00000
2	.52033 99112	.52223 22000	.52526 29702	.52564 20846
3	.35149 31660	.35310 05644	.35591 19249	.35625 25713
4	.26709 97461	.26870 54548	.27128 23508	.27160 51320
5	.21648 76444	.21804 29387	.22054 13371	.22085 44928
6	.18276 61890	.18429 17013	.18674 45739	.18705 22220
7	.15869 65183	.16020 40327	.16263 02082	.16293 46999
8	.14065 91991	.14215 60752	.14456 73087	.14487 01115
9	.12664 34336	.12813 45716	.13053 86869	.13084 07773
10	.11544 27411	.11693 15654	.11933 40258	.11963 60853
11	.10628 93601	.10777 83548	.11018 31204	.11048 56425
12	.09867 14478	.10016 24701	.10257 24971	.10287 58500
13	.09223 46504	.09372 91225	.09614 66716	.09645 11362
14	.08672 58568	.08822 48901	.09065 17236	.09095 75188
15	.08195 94513	.08346 39284	.08590 14425	.08620 87413
16	.07779 62209	.07930 68528	.08175 61681	.08206 51087
17	.07412 97078	.07564 77037	.07810 90991	.07841 97936
18	.07087 71104	.07240 16866	.07487 71659	.07518 97054
19	.06797 30584	.06960 52398	.07199 47855	.07230 92445
20	.06536 52547	.06690 53705	.06940 94895	.06972 59296
21	.06301 13628	.06455 96890	.06707 88020	.06739 72736
22	.06087 67431	.06243 35118	.06496 79684	.06528 85131
23	.05893 27795	.06049 81861	.06304 82768	.06337 09289
24	.05715 56247	.05872 98342	.06129 57996	.06162 05866
25	.05552 52464	.05710 83976	.05969 04359	.06001 73804
26	.05402 46936	.05561 69031	.05821 51762	.05854 42960
27	.05263 95261	.05424 08913	.05685 55299	.05718 68389
28	.05135 73659	.05296 79678	.05559 90753	.05593 25837
29	.05016 75420	.05178 74471	.05443 51029	.05477 08182
30	.04906 08056	.05069 00676	.05335 43304	.05369 22572
31	.04802 91000	.04966 77623	.05234 86721	.05268 88126
32	.04706 53788	.04871 34722	.05141 10523	.05175 34067
33	.04616 34441	.04782 09930	.05053 52521	.05087 98186
34	.04531 78300	.04698 48501	.04971 57834	.05006 25585
35	.04452 36942	.04620 01940	.04894 77847	.04929 67634
36	.04377 67321	.04546 27135	.04822 69339	.04857 81098
37	.04307 31041	.04476 85632	.04754 93756	.04790 27409
38	.04240 93745	.04411 43019	.04691 16595	.04726 72054
39	.04778 24596	.04349 68410	.04631 06889	.04666 84053
40	.04118 95839	.04291 34005	.04574 36758	.04610 35518

期別 ＼ 年利率	六分九厘	七　分	七分一厘	七分二厘
1	1.03450 00000	1.03500 00000	1.03550 00000	1.03600 00000
2	.52602 12583	.52640 04914	.52677 97838	.52715 91356
3	.35659 33232	.35693 41806	.35727 51434	.35761 62115
4	.27192 80616	.27225 11395	.27257 43655	.27289 77394
5	.22116 78382	.22148 13732	.22179 50975	.22210 90110
6	.18736 01003	.18766 82087	.18797 65469	.18828 51148
7	.16323 94618	.16354 44938	.16384 97955	.16415 53668
8	.14517 32243	.14547 66465	.14578 03781	.14608 44187
9	.13114 32169	.13144 60051	.13174 91418	.13205 26266
10	.11993 85328	.12024 13679	.12054 45901	.12084 81990
11	.11078 85911	.11109 19658	.11139 57661	.11169 99914
12	.10317 96675	.10348 39493	.10378 86946	.10409 39030
13	.09675 61035	.09706 15726	.09736 75431	.09767 40142
14	.09126 38541	.09157 07287	.09187 81419	.09218 60929
15	.08651 66172	.08682 50694	.08713 40970	.08744 36993
16	.08237 46633	.08268 48306	.08299 56099	.08330 70002
17	.07873 11381	.07904 31317	.07935 57733	.07966 90617
18	.07550 29307	.07581 68408	.07613 14344	.07644 67102
19	.07262 44249	.07294 03252	.07325 69441	.07357 42801
20	.07004 31258	.07036 10768	.07067 97808	.07099 92365
21	.06771 65358	.06803 65870	.06835 74252	.06867 90490
22	.06560 98824	.06593 20742	.06625 50867	.06657 89180
23	.06369 44387	.06401 88042	.06434 40234	.06467 00941
24	.06194 62643	.06227 28303	.06260 02822	.06292 86179
25	.06034 52477	.06067 40354	.06100 37408	.06133 43615
26	.05887 43703	.05920 53963	.05953 73713	.05987 02924
27	.05751 91333	.05785 24103	.05818 66668	.05852 18996
28	.05626 71082	.05660 26452	.05693 91917	.05727 67442
29	.05510 75793	.05544 53825	.05578 42243	.05612 41012
30	.05403 12589	.05437 13316	.05471 24715	.05505 46747
31	.05303 00566	.05337 23998	.05371 58380	.05406 03670
32	.05209 68924	.05244 15048	.05278 72394	.05313 40918
33	.05122 55435	.05157 24220	.05192 04493	.05226 96203
34	.05041 05186	.05075 96583	.05110 99725	.05146 14558
35	.04964 69528	.04999 83473	.05035 09413	.05070 47291
36	.04893 05214	.04928 41628	.04963 90279	.04999 51108
37	.04825 73663	.04861 32454	.04897 03718	.04932 87390
38	.04762 40349	.04798 21414	.04834 15178	.04870 21576
39	.04702 74283	.04738 77506	.04774 93650	.04811 22642
40	.04646 47565	.04682 72823	.04719 11213	.04755 62660

期別 \ 年利率	七分三厘	七分四厘	七分五厘	七分六厘
1	1.03650 00000	1.03700 00000	1.03750 00000	1.03800 00000
2	.52753 85465	.52791 80167	.52829 75460	.52867 71344
3	.35795 73849	.35829 86635	.35864 00472	.35898 15359
4	.27322 12613	.27354 49309	.27386 87482	.27419 27130
5	.22242 31137	.22273 74052	.22305 18856	.22336 65545
6	.18859 39122	.18890 29388	.18921 21945	.18952 16791
7	.16446 12074	.16476 73171	.16507 36956	.16538 03427
8	.14638 87680	.14669 34257	.14699 83915	.14730 36651
9	.13235 64590	.13266 06388	.13296 51657	.13327 00392
10	.12115 21943	.12145 65756	.12176 13423	.12206 64942
11	.11200 46414	.11230 97154	.11261 52131	.11292 11340
12	.10439 95739	.10470 57068	.10501 23010	.10531 93560
13	.09798 09853	.09828 84557	.09859 64248	.09890 48920
14	.09249 45810	.09280 36055	.09311 31655	.09342 32604
15	.08775 38753	.08806 43242	.08837 59452	.08868 78374
16	.08361 90004	.08393 16097	.08424 48270	.08455 86513
17	.07998 29958	.08029 75746	.08061 27968	.08092 86616
18	.07676 26671	.07707 93037	.07739 66188	.07771 46112
19	.07389 23319	.07421 10981	.07453 05773	.07485 07681
20	.07131 94422	.07164 03963	.07196 20973	.07228 45437
21	.06900 14564	.06932 46459	.06964 86155	.09997 33637
22	.06690 35661	.06722 90291	.06755 53051	.06788 23922
23	.06499 70142	.06532 47816	.06565 33940	.06598 28494
24	.06325 78348	.06358 79308	.06391 89033	.06425 07501
25	.06166 58948	.06199 83382	.06233 16890	.06266 59447
26	.06020 41568	.06053 89617	.06087 47042	.06121 13815
27	.05885 81059	.05919 52823	.05953 34259	.05987 25335
28	.05761 52993	.05795 48538	.05829 54043	.05863 69472
29	.05646 50094	.05680 69452	.05714 99051	.05749 38853
30	.05539 79372	.05574 22550	.05608 76242	.05643 40407
31	.05440 59827	.05475 26805	.05510 04564	.05544 93058
32	.05348 20571	.05383 11310	.05418 13087	.05453 25855
33	.05261 99301	.05297 13739	.05332 39465	.05367 76430
34	.05181 41031	.05216 79089	.05252 28679	.05287 89748
35	.05105 97050	.05141 58634	.05177 31986	.05213 17047
36	.05035 24053	.05071 09054	.05107 06050	.05143 14978
37	.04968 83406	.05004 91702	.05041 12211	.05077 44868
38	.04906 40537	.04942 71992	.04979 15872	.05015 72107
39	.04847 64409	.04884 18878	.04920 85975	.04957 65626
40	.04792 27087	.04829 04414	.04685 94563	.04902 97457

期別 \ 年利率	七分七厘	七分八厘	八分	八分一厘
1	1.03850 00000	1.03900 00000	1.04000 00000	1.04050 00000
2	.52905 67819	.52943 64885	.53019 60784	.53057 59618
3	.35932 31295	.35966 48280	.36034 85392	.36069 05518
4	.27451 68252	.27484 10848	.27549 00454	.27581 47462
5	.22368 14119	.22399 64577	.22462 71135	.22494 27233
6	.18983 13924	.19014 13342	.19076 19025	.19107 25286
7	.16568 72581	.16599 44416	.16660 96120	.16691 75984
8	.14760 92463	.14791 51347	.14852 78320	.14883 46404
9	.13357 52589	.13388 08247	.13449 29927	.13479 95942
10	.12237 20307	.12267 79515	.12329 09443	.12359 80155
11	.11322 74775	.11353 42433	.11414 90393	.11445 70685
12	.10562 68712	.10593 48462	.10655 21727	.10686 15232
13	.09921 38565	.09952 33178	.10014 37278	.10045 46752
14	.09373 38894	.09404 50516	.09466 89731	.09498 17307
15	.08900 02998	.08931 33317	.08994 11004	.09025 58353
16	.08487 30817	.08518 81171	.08581 99992	.08613 68439
17	.08124 51676	.08156 23138	.08219 85221	.08251 75820
18	.07803 32796	.07835 26228	.07899 33281	.07931 46878
19	.07517 16690	.07549 32787	.07613 86184	.07646 23456
20	.07260 77338	.07293 16660	.07358 17503	.07390 78992
21	.07029 88885	.07062 51883	.07128 01054	.07160 87192
22	.06821 02883	.06853 89915	.06919 88111	.06952 99235
23	.06631 31456	.06664 42804	.06730 90568	.06764 26941
24	.06458 34687	.06491 70568	.06558 68313	.06592 30130
25	.06300 11026	.06333 71600	.06401 19628	.06435 07028
26	.06154 89907	.06188 75289	.06256 73805	.06290 86880
27	.06021 26020	.06055 36281	.06123 85406	.06158 24206
28	.05897 94793	.05932 29969	.06001 29752	.06035 94289
29	.05783 88821	.05818 48916	.05887 99342	.05922 89596
30	.05678 15005	.05712 99996	.05783 00991	.05818 16914
31	.05579 92246	.05615 02082	.05685 53524	.05720 95042
32	.05488 49567	.05523 84177	.05594 85897	.05630 52913
33	.05403 24584	.05438 83875	.05510 35665	.05546 28061
34	.05323 62240	.05359 46102	.05431 47715	.05467 65357
35	.05249 13760	.05285 22066	.05357 73224	.05394 15958
36	.05179 35778	.05215 68386	.05288 68780	.05325 36439
37	.05113 89608	.05150 46363	.05223 95655	.05260 88058
38	.05052 40627	.05089 21362	.05163 19191	.05200 36144
39	.04994 57756	.05031 62291	.05106 08274	.05143 49571
40	.04940 13017	.04977 41162	.05052 34893	.05090 00319

期別 ＼ 年利率	八分二厘	八分三厘	八分五厘	八分七厘
1	1.04100 00000	1.04150 00000	1.04250 00000	1.04350 00000
2	.53095 59040	.53133 59050	.53209 60832	.53285 64962
3	.36103 26689	.36137 48905	.36205 96468	.36274 48200
4	.27613 95938	.27646 45882	.27711 50167	.27776 60308
5	.22525 85207	.22557 45058	.22620 70379	.22684 03183
6	.19138 33825	.19169 44638	.19231 73083	.19294 10606
7	.16722 58520	.16753 43724	.16815 22129	.16877 11182
8	.14914 17549	.14944 91751	.15006 49316	.15068 19077
9	.13510 65403	.13541 38306	.13602 94423	.13664 64265
10	.12390 54692	.12421 33051	.12483 01217	.12544 84620
11	.11476 55181	.11507 43873	.11569 33829	.11631 40513
12	.10717 13310	.10748 15956	.10810 34928	.10872 72102
13	.10076 61167	.10107 80516	.10170 33987	.10233 07111
14	.09529 50185	.09560 88359	.09623 80557	.09686 93841
15	.09057 11362	.09088 70021	.09152 04253	.09215 60978
16	.08645 42895	.08677 23352	.08741 02226	.08805 04978
17	.08283 72774	.08315 76074	.08380 01659	.08444 52483
18	.07963 67170	.07995 94145	.08060 68090	.08125 68608
19	.07678 67757	.07711 19072	.07776 42688	.07841 94185
20	.07423 47838	.07456 24023	.07521 98348	.07588 01833
21	.07193 81006	.07226 82479	.07293 08326	.07359 64586
22	.06986 18350	.07019 45435	.07086 23433	.07153 33065
23	.06797 71610	.06831 24554	.06898 55175	.06966 18620
24	.06626 00542	.06659 79526	.06727 63108	.06795 80675
25	.06469 03316	.06503 08464	.06571 45234	.06640 17114
26	.06325 00127	.06359 40516	.06428 30600	.06497 56889
27	.06192 72453	.06227 30116	.06296 73557	.06366 54264
28	.06070 68541	.06105 52474	.06175 49240	.06245 84299
29	.05957 89825	.05992 99993	.06063 49986	.06134 39263
30	.05853 43064	.05888 79400	.05959 82464	.06031 25768
31	.05756 47030	.05792 09445	.05863 65371	.09535 62458
32	.05666 30634	.05702 19013	.05774 27548	.05846 78126
33	.05582 31389	.05618 45598	.05691 06445	.05764 31182
34	.05503 94147	.05540 34032	.05613 46857	.05687 00383
35	.05430 70050	.05467 35440	.05540 99876	.05615 08786
36	.05392 15656	.05399 06366	.05473 22015	.05547 82872
37	.05297 92210	.05335 08042	.05409 74476	.05484 86818
38	.05237 65027	.05275 05768	.05350 22538	.05425 85874
39	.05181 02972	.05218 68399	.05294 35028	.05370 48848
40	.05127 78012	.05165 67891	.05241 83886	.05318 47656

期別 ＼ 年利率	九分	九分五厘
1	1.04500 00000	1.04750 00000
2	.53399 75550	.53590 04884
3	.36377 33601	.36548 96693
4	.27874 36479	.28037 59246
5	.22779 16395	.22938 08993
6	.19387 83875	.19544 51156
7	.16970 14680	.17125 73467
8	.15160 96533	.15316 19598
9	.13757 44700	.13912 80310
10	.12637 88217	.12793 69909
11	.11724 81817	.11881 33726
12	.10966 61886	.11124 01861
13	.10327 53528	.10485 95042
14	.09782 03160	.09941 56544
15	.09311 38081	.09472 11344
16	.08901 53694	.09063 53090
17	.08541 75833	.08705 06258
18	.08223 68975	.08388 34258
19	.07940 73443	.08106 76559
20	.07687 61443	.07855 04673
21	.07460 05669	.07628 90722
22	.07254 56461	.07424 84572
23	.07068 24230	.07239 96934
24	.06898 70299	.07071 86689
25	.06743 90280	.06918 51257
26	.06602 13674	.06778 19186
27	.06471 94616	.06649 44391
28	.06352 08051	.06531 01623
29	.06241 46147	.06421 82882
30	.06139 15429	.06320 94539
31	.06044 34459	.06227 55025
32	.05956 31962	.06140 92942
33	.05874 45281	.06060 45529
34	.05798 19119	.05985 57388
35	.05727 04478	.05915 79440
36	.05660 57796	.05850 68041
37	.05598 40206	.05789 84255
38	.05540 16920	.05732 93231
39	.05485 56712	.05679 63686
40	.05434 31466	.05629 67454

一、償還元金　第一期（初半年）ノ償還元金ハ當初元金100,000圓ニ對スル半箇年分ノ利金3,650圓ヲ毎期ノ拂込金12,115圓22錢ヨリ減シタル殘額8,465圓22錢ナリ第二期以下ノ償還元金ハ順次前期ノ償還元金ニ(1+.0365)ヲ乘シテシ求ムヘシ

二、利　金　各期殘元金ニ年利率ノ½ヲ乘シタルモノニシテ其期ノ拂込金ヨリ償還元金ヲ減シタル殘額ニ等シ

三、殘元金　各期殘元金ヨリ其期ノ償還元金ヲ減スルトキハ順次其次期ノ殘元金ヲ得ヘシ

用例

元金100,000圓ヲ年利7分3厘ニテ借入レ5箇年賦ニテ之ヲ償還セントス年賦金及年賦償還計算表ヲ求ム但シ償還ハ年二回ニナスモノトス

解　償還年限5ヲ2倍シテ其期數10ヲ求メ本表七分三厘欄10期ノ列ニ於テ定率.12115219437ヲ得　仍テ每期ノ拂込金ハ

.1211521943×100000=1211521943

錢未滿ヲ四捨五入シテ12,115圓22錢トス

年賦金ハ毎期ノ拂込額ヲ2倍シテ2420圓44錢トス

各期ノ償還元金利金ヲ細別スレハ次表ノ如シ

年賦償還計算表

年次	殘元金		毎回償還金内譯 償還元金		利金	
½	100,000	00	8,465	22	3,650	00
1	91,534	78	8,774	20	3,341	02
½	82,760	58	9,094	46	3,020	76
2	73,666	12	9,426	40	2,688	82
½	64,239	72	9,770	47	2,344	75
3	54,469	25	10,127	09	1,988	13
½	44,342	16	10,496	73	1,618	49
4	33,845	43	10,879	86	1,235	36
½	22,965	57	11,276	98	838	24
5	11,688	59	11,688	59	426	63
計			100,000	00	21,152	20

年賦期間	5箇年(10期)	
利率	年7分3厘	
元金	100,000円	00
年賦金	24,230	44
毎回拂込額	12,115	22

日數算定表

本表ハ日歩計算等日ヲ單位トシテ計算スルニ極メテ便利ナルモノナレハ茲ニ掲載セリ

本表ハ右方ノ月ト上方ノ月ノ交叉欄ノ日數ハ右方ノ月ノ初日ヨリ翌年ニ於ケル上方ノ月ノ初日ノ月ノ前日迄ノ日數ヲ算出セルモノナレハ之レヲ基本トシテ之ヨリ初月ノ不算入日數ヲ減シ終月ノ算入日數ヲ加ヘテ算出スヘキモノトス但シ其中間ニ二月ヲ狹ム場合ニ於テ二月カ潤月ナルトキハ一日ヲ加フルモノトス

算定ノ方法、例ヘハ九月十六日ヨリ來年ノ二月二十七日迄ノ日數ヲ知ラント欲セハ先ツ右側ノ九月ヲ見次ニ上方ノ二月ヲ見テ其ノ交ル欄内ノ百五十三日ヲ得ヘシ之レヨリ九月ノ十六日以前ノ不算入日數十五日ヲ減シ之レニ二月ノ算入日數二十七日ヲ加フレハ百六十五日トナル之レ所要ノ日數ナリ又八月十七日ヨリ來年ノ三月二十日迄ノ日數ヲ知ラントセハ前ト同シ方法ニヨリテ二百十二日ヲ得ヘシ之レヨリ八月ノ不算入日數十六日ヲ減シ之レニ三月ノ算入日數二十日ヲ加フレハ二百十六日ヲ得コレ所要ノ日數ナリ

月次	月次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
一月		三六五	三三四	三〇六	二七五	二四五	二一四	一八四	一五三	一二二	九二	六一	三一
二月		三一	三六五	三三七	三〇六	二七六	二四五	二一五	一八四	一五三	一二三	九二	六二
三月		五九	二八	三六五	三三四	三〇四	二七三	二四三	二一二	一八一	一五一	一二〇	九〇
四月		九〇	五九	三一	三六五	三三五	三〇四	二七四	二四二	二一二	一八二	一五一	一二一
五月		一二〇	八九	六一	三〇	三六五	三三四	三〇四	二七三	二四二	二一二	一八一	一五一
六月		一五一	一二〇	九二	六一	三一	三六五	三三五	三〇四	二七三	二四三	二一二	一八二
七月		一八一	一五〇	一二二	九一	六一	三〇	三六五	三三四	三〇三	二七三	二四三	二一二
八月		二一二	一八一	一五三	一二二	九二	六一	三一	三六五	三三四	三〇四	二七三	二四三
九月		二四三	二一二	一八四	一五二	一二三	九二	六二	三一	三六五	三三五	三〇四	二七四

十月	二七三	二四二	二一四	一八三	一五三	一二三	九二	六一	三〇	三六五	三三四	三〇四
十一月	三〇四	二七三	二四五	二一四	一八四	一五三	一二三	九二	六二	三二	三六五	三三五
十二月	三三四	三〇三	二七五	二四四	二一四	一八三	一五三	一二三	九二	六二	三〇	三六五

年利チ日歩ニ換算ノ表

（此表ハ年利、何割何分トイフチ日歩ニ引直シタルモノナリ）

年利割分厘	日歩錢厘毛	年利割分厘	日歩錢厘毛	年利割分厘	日歩錢厘毛	年利割分厘	日歩錢厘毛	年利割分厘	日歩錢厘毛
一〇	二七	一二	三二九	一五	四一	一八	四九三	二一	五七四
一〇	二七	一二	三二九	一五	四一	一八	五〇	二一	五八二
一〇	二七	一二	三三六	一五	四一	一八	五〇	二一	五八二
一〇	二七	一二	三三六	一五	四一	一八	五〇	二一	五八二
一〇	二七	一二	三三六	一五	四一	一八	五〇	二一	五八二
一〇	二七	一二	三四二

公文書用字例

上段ノ如ク用例ヲ定ム

	上段ノ如ク用例ヲ定ム
あ	
アル	充ツル
新ニ	豫メ
當ル	預ラス
改メサル	非サレハ
（出席スルニ非サレハ）	在ラス（此ノ限ニ在ラス）
在リテハ	（官吏ニ在リテハ府縣ニ於テハ）
新タニ	豫
當タル	預カラス
改タメサル	
い	
至リ	謂フ
難	
云フ	難モ
う	
受クル	承クル
内	賣拂フ
承ル	内チ
お	
惟フニ	置ク
終（名詞ノトキハ終）	及
及ホサス	各
同ク	
終ハリ	及ヒ
及サス	各々
同シク	

	上段ノ如ク用例ヲ定ム
違反	以上、以下
二圓以上以下ハ共ニ二圓ヲ含ム	
違背、違犯	
二圓以上以下——未滿	
承ル	内チ

き	
汽關	限リ（名詞ハ限リ）
行政裁判ニ出訴スルコトヲ得	箇
訴訟及訴願ヲ提起シタル場合ニ於テハ	三箇年
瀛關	三箇年三箇月
行政訴訟ヲ提起スル	ケ、ヶ
行政訴訟ヲ爲スコトヲ得	三月
欠	三年三箇年三箇月
檢	
け	
闕	
檢	
こ	
每ニ	構
應ヘ	此
請ヒ	之レヲ
構	超ヘサル
此ノ	異ナリタル
之ヲ	……スル事（ヿ）
超エサル	
異リタル	
コト（…スルコト）	

遷クトモ	遷クモ
於テハ	……ニ在テハ
（府縣ニ於テハ官吏ニ在リテハ）……ノ場合ニ於テハ	……及（又ハ）……
……及（又ハ）…（文體上ノ用例）一及ー竝ー及ー	……ー竝ー及ー竝ー
か	
關ル	係ル
被リ	揭ク
買入ルル	限ニ在ラス
且	代ル
代フル	兼ネシム
掛ラス	
限リニアラス（……非ス）	
且ツ	
代ハル	
兼子シム（兼シム）	
拘ハラス（關ハラス）	

さ	定ムル 避クル 妨ケス 先チ 爲ササル 差出スヘシ 先ニスヘシ	先タチ 爲サヽル
し	出願 屢	願出 屢々
す	据置ク 乃チ 少クトモ 凡テ 總テ	少クモ 総テ、都テ
せ	撰擇	選擇
そ	其ノ 具フル 備置キ	其
た	但シ	但

	直ニ 立會ハシム 爲ニ 爲 ……スル爲 ……補フ爲	直チニ 爲メニ 爲メ ……スルカ爲メ ……補フカ爲メ
つ	ツツ 付テハ 付……スルニ付 就キ…本人ニ就キ	宛 付キテハ
と	閉ツル 停ムル 倶ニ 共ニ トキ、トモ 屆出ツヘシ 屆出テスシテ	片、疋 屆出ヘシ 屆出スシテ
な	ナリ ナシ 爲ス	無シ ナス

	仍 尙 竝	仍ホ 尙ホ 竝ニ、並ニ、幷ニ
れ	願出テサルトキハ	願出サルトキハ
の	述フル ノノ 延ハス ……スルノ權利 ……スルノ必要 ……ヲ除クノ外	ノヽ 延ス ……スル權利 ……スル必要 ……ヲ除ク外
は	初 始ニ 始リ （名詞ノトキハ始）	始メ 始メニ 始マリ
ひ	均シク 久シキ 引續キ	均ク、等シク 久キ 引續
ふ	再ヒ 附 寄附 理由ヲ附ス	再タヒ 寄付 理由ヲ付ス

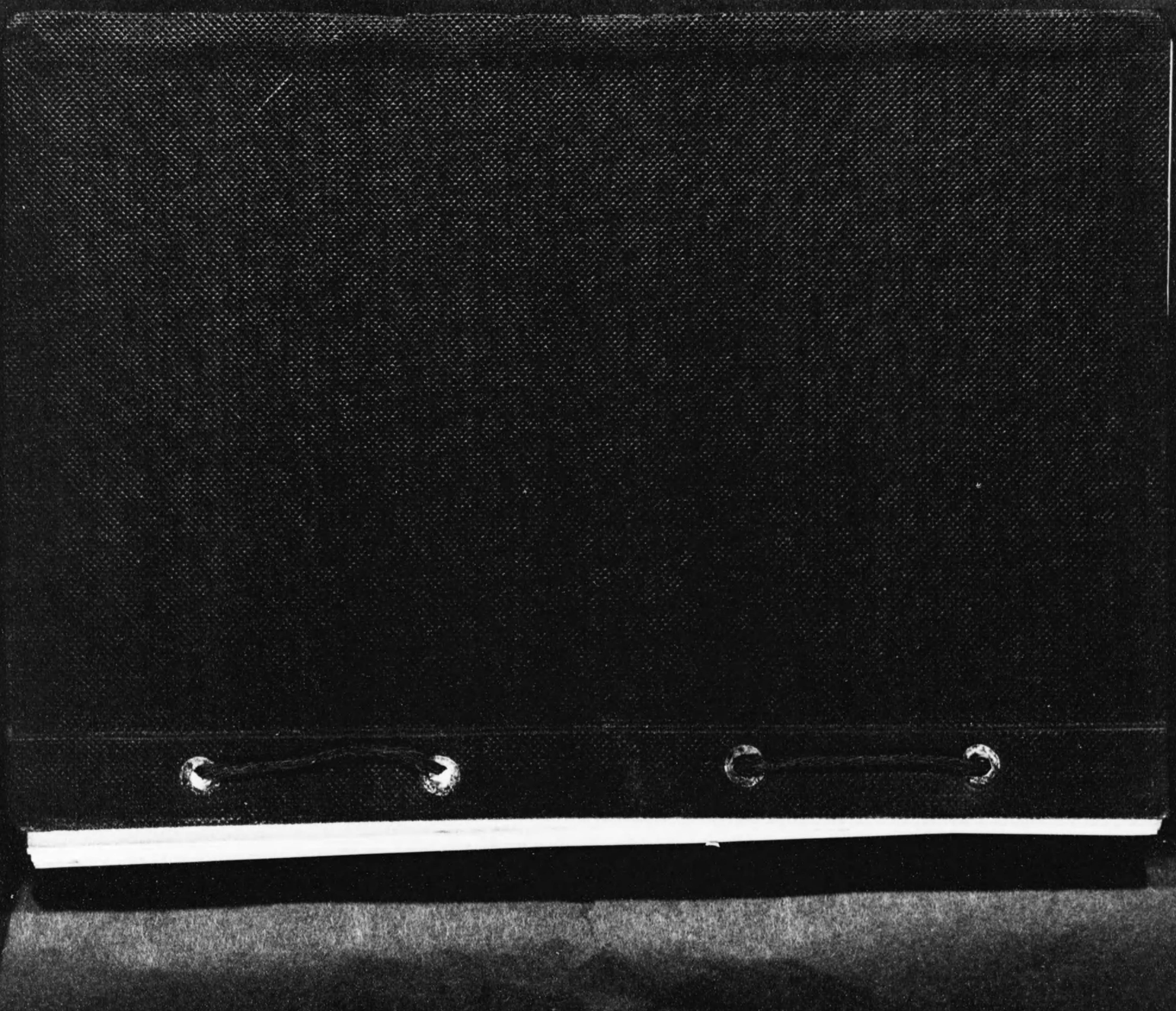
	付 交付 議ニ付ス	交附 議ニ附ス
へ	ヘシ 「ヘシ」ヲ主トス	可シ スヘシ （要件タル場合） スルコトヲ參ス
ほ	本法、本令	此ノ法律、此ノ勅令
ま	儘 迄 亦 益 免ルル	マヽ マテ、迄 モ亦、亦タ 益々 免ル
み	認メラル 自ラ 看做ス	自カラ 見做ス
む	……セムトスルトキ	……セントスルトキ
も	以テ	

戻入ルル	最モ
求ムル	用ユ
求ニ	基ツキ
モノ	基ツケル
者	若シ
申立ツル	若クハ
最	
用キ	
用ウ	
基キ	
基ケル	
若	
若ハ	
「又ハ」ヲ以テ連續シタルモノノ內譯ヲ要スルトキハ	

	「若ハ」ヲ用ウ		
や	已ム		
ゆ	譲渡シ 譲受ケ 譲渡スル		
よ	依リ 由リ 因リ 因リテ	因テ	
る	入ルル	入ルヽ	
わ	分チテ	分テ	
附記	一、二、三、十 萬、圓	壹、貳、參、拾 万、円	

昭和六年六月十五日印刷
昭和六年六月二十日發行

新潟縣內務部

新潟市醫學町通一
印刷人 澁谷喜平

新潟市醫學町通一
印刷所 新潟活版所
電話二〇九五番